

隔地者ニ對スル意思表示

相手方ニ提出スルハ、又對話者間ノ意思表示ト見ルヘカラス、對話者間ノ意思表示ハ、相手方カ之ヲ了知シタル時ニ於テ、其效力ヲ生スルカ故ニ、啞者聾者ニ對スル意思表示、又ハ盲者若クハ文字ナキ者ニ對スル筆談上ノ意思表示ハ、其效力ヲ生スルコト能ハス、然シナカラ相手方カ耳ヲ掩ヒ目ヲ塞ク等ノ手段ニ依リテ、意思表示ハ了知ヲ阻害スルトキハ、其意思表示ハ、表意者カ通常相手方ニ了知セラルルニ適スル方法ヲ盡シタル時ニ於テ、其效力ヲ生スルモノト見サルヘカラス、民法ニ特別ノ明文ナシト雖モ、第九十七條ヲ類推シテ、爾ク決定セサルヘカラスナリ、此ノ如ク解スルニ依リテ、表意者ハ一定ノ期間内ニ於テ爲スヘキ意思表示ニ付キテモ、其期間ヲ空過セシメサルコトヲ得ヘシ、

(二) 隔地者ニ對スル意思表示ハ、其通知カ相手方ニ到達シタル時ニ於テ、其效力ヲ生ス(九七) 隔地者ニ對スル意思表示ハ、特定ノ人

到達

ニ對スル意思表示ニシテ、對話者ニ對スルモノニアラサルモノヲ謂フ、書信電信ニ依ル意思表示ハ、常ニ隔地者ニ對スル意思表示ナリ、使者ヲシテ口頭ニテ表意者ノ意思ヲ傳達セシムル場合ハ、對話者ニ對スル意思表示ナリ、何トナレハ此場合ニ於ケル使者ハ、既ニ完成セル意思表示ヲ傳達スルニアラス、表意者ノ意思表示ヲ完成スルノ人ナルカ故ナリ、使者カ直接ニ相手方又ハ其代理人ニ對シテ、意思ヲ傳達セス、其傳達ヲ家人ニ委託スルトキハ、其家人ハ使者ノ使者トナルヘシ、其意思表示ハ相手方カ家人ヨリ了知シタル時ニ於テ、其效力ヲ生スルモノト見ルヘシ、到達トハ、其意思表示ヲ了知スルト否トカ相手方ノ自由ノ範圍ニ存スル狀況ノ現出シタルコトヲ意味スルニ外ナラス、故ニ相手方ニ向ツテ、其意思表示ヲ發送スルヲ以テ足レリトセス、發信主義又相手方カ其意思表示ヲ了知スルヲ要セス、了知主義到達

ニ因リテ、到達主義一名受信主義トモ云フニ依リテ、意思表示ノ效力ヲ生スル時期ヲ決スルモノトス、故ニ書面カ相手方ニ交付セラレタルトキハ勿論相手方ノ家人ニ交付セラレタルトキ、夜中郵便受函ニ投セラレタルトキハ、タトヒ相手方カ病氣ニテ人事不省ナルト、睡眠中ナルト、又外國旅行中ナルトヲ問ハス、意思表示ハ到達シタリト云フヘシ、發送セラレタル書面カ、配達ノ途上ニ遺失セラレ、相手方カ偶然之ヲ拾得シタルトキモ、亦到達アリ、

到達ニ因リテ、意思表示ノ效力ヲ生スルカ故ニ、(1)相手方カ故意又ハ怠慢ニ依リテ、意思表示ヲ了知セサルカ爲メニ、其效力ノ發生カ遷延セラルルノ弊害ヲ生スルコトナシト雖モ、(2)相手方ノ所在不明ナル場合ニ於テハ、意思表示ハ到底到達スルコト能ハサルカ故ニ、效力ヲ生スルコト能ハス、其不便甚タ大ナリ、吾

特定ノ人ニ對セザルニ對シテハ、其表示行爲完成ノ時ニ於テ、其效力ヲ生ス、

意思表示ニ於ケル取

意思表示ニ於ケル取

民法ハ此場合ニ處スル便宜ノ方法ヲ設ケス、到達主義ノ原則ニ對シテハ、例外ナキニアラス、(一九、五、二六、商法) 乙 特定ノ人ニ對セザル意思表示 ハ、其表示行爲完成ノ時ニ於テ、其效力ヲ生ス、

三 意思表示カ、其法律上ノ效力ヲ生シタルトキハ、法律ニ別段ノ定メタル場合ヲ除ク外、(一)表意者一方ノ欲スルトコロニ從ヒ、其意思表示ヲ取消スルコトヲ得ス、然シナカラ、隔地者ニ對スル意思表示ハ、其完成後ニ於テモ、之ヲ取消スコトヲ得ヘシ、其取消ハ、意思表示ノ效力ヲ生セサラシメントスル意思表示ニシテ、遅クトモ、取消サルヘキ意思表示ト同時ニ、相手方ニ到達スルコトヲ要ス、

四 意思表示ノ效力發生時期ニ關スル原理ハ、之ヲ意思表示ニアラサル心理表示ニ準用スヘキハ當然ナリ、但シ特ニ例外ノ定メアル場合ハ、其定メニ從フ、(五二、五二七、商法三七、一五六、二八六、二八八、等)

受領能力

一 特定ノ相手方ニ對スル意思表示ハ、其ノ了知又ハ到達ニ因リテ効力ヲ生ス、其了知又ハ到達ヲ、其特定ノ相手方ヨリ見テ受領ト稱ス、受領ト稱スル行爲ヲ爲スニハアラス、故ニ受領能力ハ行爲能力ニハアラス、其受領シタル他人ノ意思表示ノ効力ヲ生セシムルニ適スル法律上ノ状態ナリ、

二 行爲能力ヲ有スル者ハ、受領能力アリ、然シナカラ行爲無能力者ハ、受領能力アル者ト、ナキ者トノ二者ニ分タル、準禁治産者及ヒ妻ハ、受領能力ヲ有ス、故ニ之ニ對スル意思表示ハ、其了知又ハ到達ニ因リテ其効力ヲ生ス、反之未成年者及ヒ禁治産者ハ、受領無能力者ナリ、之ニ對スル意思表示ハ、了知又ハ到達ニ因リテ、効力ヲ生セス、然シナカラ、其効力ヲ生スルコト能ハサルニハアラス、其生スルト否トハ、法定代理人カ之ヲ知ルト否トニ懸ルモノトス、(九八)從テ法定代理人カ受領無能力者

受領無能力者ニ對スル意思表示

例外

一時受領能力ヲ有セサル場合

心理表示ニ準用

ニ對スル意思表示ヲ知ルマテハ、意思表示ノ効力ヲ生セス、之ヲ知リタルトキハ、其時ヨリ其効力ヲ生スルモノトス、

三 未成年者ニ對スル營業ノ許可ハ、其營業ニ關シテ、成年者ト同一ノ行爲能力ヲ有セシム、(六)其範圍ニ於テ、未成年者ハ又意思表示ノ受領能力アルモノト見サルヘカラス、未成年者カ、單ニ權利ヲ得又ハ義務ヲ免ルヘキ意思表示ヲ受領スル能力ハ、之ヲ有スルモノト解セサルヘカラス、故ニ未成年者ニ對シテ債務ヲ免除スルトキハ、其意思表示ハ了知又ハ到達ニ因リテ其効力ヲ生スヘシ、(未成年者ニ參照)

四 隔地者ニ對スル意思表示ニ付キテハ、其到達ノ當時、相手方カ、一時意思能力ヲ有セサルカ爲メニ、其効力ヲ妨ケラルコトナシ、反之對話者間ニ於テハ、了知不能ナルカ故ニ、其意思表示ノ効力ヲ生スルコトナシ、

五 意思表示受領能力ニ關スル原理ハ、之ヲ意思表示ニアラサル心理

表示ニ準用スヘシ、

第四款 法律行為

第一項 其意義

一 法律行為ハ、一定ノ私法上ノ效力ノ發生要件タル法律事實ニシテ、其效力ノ發生ヲ欲スル意思表示ヲ要分トスルモノヲ謂フ、(1)故ニ法律事實ニシテ、意思表示ヲ要分トセサルモノハ、法律行為ニアラス、時効所有權ノ拋棄、先占ノ如キハ、法律行為ニアラス、法律行為ヲ表示的、法律行為、意思的、法律行為ニ區別シ、一定ノ私法上ノ效力ノ發生ヲ欲スル意思ヲ必要トスルモノ、其表示行為ヲ必要トセサルモノハ、之ヲ意思的法律行為ト稱シ、所有權ノ拋棄、先占ハ之ニ屬スルモノト主張スル學說ナキニアラスト雖モ、法律行為カ意思表示ヲ要分トスルニ付キテハ、疑ヲ存セス、(2)其意思表示ハ、之ヲ要分トスル法律事實ヨリ生スル、其效力ハ發生ヲ欲スルモノナルコトヲ要ス、法律行為ハ、箇人ノ自治行為ナリ、故

法律行為ノ意義

表示的、法律行為、意思的、法律行為

法律行為上ノ效力

無効ノ法律行為、亦法律行為ナリ

ニ或法律事實カ、意思表示ヲ包含スルモノ、其意思表示ノ欲スル效力ト、其法律事實ノ效力トカ、一致スルニアラサレハ、其法律事實ハ、法律行為ニアラス、其效力ヲ法律行為上ノ效力ト稱セン、他人ノ委託物ヲ讓渡ストキハ、不法行為トナル、其讓渡ハ、意思表示ナリト雖モ、所有權ノ移轉ヲ欲スルニ止マリ、不法行為ニ因リテ生スル損害賠償ノ義務ヲ生セシメント欲スル者ニアラス、故ニ此不法行為ハ、法律行為ニアラス、故ニ意思表示ノ欲スル效力ハ、法律行為上ノ效力ト一致スルコトヲ要ス、然シ其法律行為上ノ效力ハ、結果トシテ、更ニ生スル法律上ノ效力ト一致スルコトハ、毫モ必要ニアラス、賣買ヲ成立セシムル意思表示ハ、財產權ノ移轉代金ノ支拂トニ付テ、債務關係ヲ生セシメント欲スルコトヲ要スルモノ、此債務關係アルカ故ニ更ニ生スル追奪擔保ノ責任等ヲ欲スル事ヲ要セス、又其法律行為上ノ效力カ、實際ニ於テ生スルト否トハ、法律行為ノ觀念ニ關係ヲ有セス、故ニ無効ノ法律行為モ、亦法律行為タルコトヲ

意思表示
ト法律行
爲トノ關
係
要物行爲
ト意思表
示

契約申込
又承諾ハ
法律行爲
ニアラス
法律行爲
ノ成立要
件ノ效力
要件

失ハス、(3)意思表示示リノモノカ、法律行爲ニアラス、意思表示ヲ要分ト
スル法律事實其モノカ、法律行爲ナリ、契約ハ、(イ)内容ヲ同フスル、(ロ)數箇
ノ意思表示ヨリ、成立スル法律行爲ニシテ、意思表示示リノモノニアラス、
又、要物行爲ハ、(イ)意思表示ノ外ニ、(ロ)物ヲ授受スルニ依リテ、成立スル法
律行爲ナリ、質權設定契約ノ如シ、質權設定ノ意思表示ノ外ニ、質物ノ占
有ヲ與フルコトヲ必要トス、其法律行爲カ、意思表示示リノモノニアラサ
ルコト明白ナリ、故ニ法律行爲ハ、意思表示ヲ要分トスル法律事實ナリ、
其法律事實ソノモノカ、法律行爲ニシテ、其成分ハ、法律行爲ニアラス、故
ニ契約ノ申込、又ハ承諾ハ、意思表示ナリト、雖モ、法律行爲ニハアラス、
二、法律行爲ノ成立要件ト、其效力要件トハ、之ヲ區別スルコトヲ要ス、
成立要件ヲ缺クトキハ、法律行爲存在セス、效力要件ハ、成立シタル法律
行爲カ、其效力ヲ生スル必要條件ナリ、之ヲ缺クトキハ、完全ニ法律行爲
ノ效力ヲ生セス、或事項カ、法律行爲ノ成立要件ナルカ、又ハ效力要件ナ

準法律行
爲

訴訟行爲

ルカハ、法律ノ規定ノ解釋ニ依リテ定マル、或物ヲ受取ルコトハ、使用貸
借(五九三)消費貸借(五八七)又ハ寄託契約(六五七)ノ成立要件ニシテ、效力
要件ニアラス、本人ノ追認ハ、代理ニ於ケル、法律行爲ノ效力要件ニシテ、
成立要件ニアラス、(一〇八七)遺言者ノ死亡ハ、遺言ノ效力要件ニシテ、成立
要件ニアラス、(一〇八七)届出ハ、婚姻契約ノ成立要件ニシテ、效力要件ト
見サルヲ正當ト考フ(七七五)

三、意思表示以外ノ心裡表示ヲ要分トスル法律事實ハ、法律行爲ニア
ラス、然シ之ニ準、法律行爲ノ名稱ヲ與ヘントス、出來得ル限りニ於テ、法
律行爲ニ關スル規定ヲ、準用スヘキモノトス、

第二項 法律行爲ト訴訟行爲

一、訴訟行爲トハ、訴訟法上ノ效力發生ノ要件タル行爲ヲ意味ス、裁判
所ノ行爲ナルコトアリ、裁判ノ如シ、當事者ノ行爲ナルコトアリ、訴ノ提
起、訴ノ取下、自白、拋棄、認諾ノ如シ、

二 訴訟行為ハ、即チ法律行為ナリト云フヘカラス、民法第十二條第一項ニ於テ、行為ハ、法律行為ノミヲ意味スルモノト解スルコトヲ得サルカ故ナリ、然シナカラ、訴訟行為ト法律行為トハ相容レサルモノニアラス、別ノ標準ニ依リテ、兩者ノ意義ヲ定ムルカ故ナリ、取消ノ訴、離婚縁ノ訴ヲ提起シ、裁判上ノ相殺ヲ爲スハ、訴訟行為ニシテ同時ニ法律行為ナリ、訴訟行為カ同時ニ法律行為ニアラサル場合ニ於テハ、法律行為ニ關スル規定ハ、訴訟行為ニ適用ナキハ勿論ナリ、

第三項 法律行為ノ種類

一 契約、單獨行為

甲 契約ハ當事者ノ雙方ニ、反對ノ意味ヲ有スル、法律上ノ效力ヲ發生セシメント欲スル數箇ノ意思表示ヲ成立ノ要件トスル法律行為ナリ、(1)契約ニハ、二箇以上ノ意思表示存スルコトヲ要ス、一ハ申込ニシテ、他ハ承諾ナリ、(2)其各意思表示ハ、同一ノ内容ヲ有スルコトヲ要ス、賣買

契約

意思表示ノ合致

ニ於テ賣主ハ、賣ラントスルノ意思表示ヲ爲シ、買主ハ、買ハントスル意思表示ヲ爲スカ故ニ、其兩者ノ内容ハ、異ナルモノト見ルヘカラス、賣主買主共ニ、其賣買上ノ效力ヲ生セシメント欲スルニ在ルカ故ニ、其内容ヲ同一ニス、之ヲ名付ケテ意思表示ノ合致ト稱ス、(3)其意思表示ノ欲スル私法上ノ效力ハ、當事者雙方ニ取リテ、反對ノ意味ヲ有スルコトヲ要ス、當事者ノ一方カ債權者、他ノ一方カ債務者ト爲リ、一方カ權利ノ讓渡人、一方カ讓受人ト爲リ、一方カ質置主ト爲リ、他ノ一方カ質取主ト爲ルカ如シ、吾民法上、契約ハ、唯債權ヲ生セシムルモノノミニ限ラス、如何ナル法律上ノ效力ヲ生セシメントスルモノナルモ可ナリ、故ニ當事者ニ取リテ、皆同一ノ意味ヲ有スル法律上ノ效力ヲ發生セシメントス、數箇ノ意思表示アルモ、契約ニアラス、其意思表示ノ全體ヲ協定行為ト稱ス、或ハ(イ)單獨行為ヲ組織スルコトアリ、總會、親族會ノ決議、數人ノ理事カ共同シテ、法人ノ爲ニ爲ス取消、解除ノ如シ、或ハ(ロ)契約ノ成分ヲ爲

協定行為

スコトアリ、數人ノ理事カ共同シテ、或物ノ賣買ノ申込ヲ爲シ、又ハ其承諾ヲ爲スカ如シ、其申込カ協定行爲ナリ、何レノ場合ヲ問ハス、表意者ニ取リテ、皆同一意味ノ效力ヲ生セシメントスル、數箇ノ意思表示ナリ、從テ又協定行爲ハ、契約、單獨行爲ノ外ニ存シテ、法律行爲ノ特別ノ種類ヲ爲スニアラス、

單獨行爲

乙 單獨行爲ハ、一名之ヲ一方的、法律行爲ト稱ス、當事者一方ノ意思表示ヲ、成立ノ要件トスル法律行爲ナリ、寄附行爲、遺言、取消、解除、債務ノ免除、私生子ノ認知等皆之ニ屬ス、故ニ單獨行爲ハ、相手方ノ承諾ヲ要セスシテ成立シ、其效力ヲ生ス、債務者カ債權者ヨリ、免除ノ通知ヲ受ケルトキハ、如何ニ之ヲ欲セサルモ、詮方ナシ、免除ノ效力ヲ生ス、取消等ノ通知ヲ受ケタルトキモ、亦同一ナリ、

生前行爲

二 生前行爲、死後行爲
甲 生前行爲ハ、生前ニ於テ、其法律行爲上ノ效力ヲ生スル法律行爲ナ

死後行爲

リ、賣買、質貸借ハ生前行爲ナルコトヲ通常トス、取消、解除、皆生前行爲ナリ、生命保險契約ハ、契約ノ締結ト共ニ效力ヲ生シ、唯保險金ノ請求權カ、死亡ニ因リテ辨濟期トナルニ過キス、

死因贈與

乙 死後行爲ハ、當事者一方ノ死亡ニ因リテ、其法律行爲上ノ效力ヲ生スル法律行爲ナリ、遺言ノ如キハ、必要的、死後行爲ナリ、賣買、質貸借等之ヲ死後ノ行爲ト爲スニ妨ケナシ、贈與カ、贈與者ノ死亡ニ因リテ、效力ヲ生スヘモキノト定メラルトキハ、之ヲ死因、贈與ト稱スルヲ例トス、此場合ニ於テハ、其成立及ヒ效力ニ付キテ、總テ遺贈ニ關スル規定ニ從フヘキモノトス、(五五四)

要式行爲
不要式行爲

三 要式行爲、不要式行爲
甲 要式行爲ハ、要式的意思表示ヲ、其成立ノ要件トスル行爲ナリ、
乙 不要式行爲ハ、不要式的意思表示ヨリ成立スル行爲ナリ、
四 債務的行爲、物權的行爲、準物權的行爲

債務的行爲

爲物權的行爲

甲 債務的行爲ハ、債權債務ノ發生ヲ欲スル意思表示ヲ要分トスル法律行爲ナリ、契約ナルコトアリ、賣買、貸借、使用貸借組合、寄託、消費貸借等ノ如シ、或ハ單獨行爲ナルコトアリ、特定名義ノ遺贈ノ如シ、

乙 物權的行爲トハ、直接ニ物權上ノ變動ヲ生セシメント欲スル意思表示ヲ要分トスル法律行爲ナリ、法律行爲ニ因ル物權上ノ變動ハ、物權的行爲ニ因リテ生シ、債務的行爲ハ、唯債務關係ヲ生スル作用アルニ止マリ、物權上ノ變動ヲ生スルノ作用ヲ有セス、兩者之ヲ混同スルコトナキヲ要ス、(1)物權的行爲ハ、債務的行爲ト併存スルコトアリ、特定物ノ賣買ノ場合ノ如シ、賣買ハ、唯目的物ノ所有權ヲ讓渡スヘキ債務ヲ生スルノ效用アルノミ、此場合ニ於ケル、所有權ノ移轉ハ、賣買ト併存スル、所有權ノ讓渡契約ノ作用ナリ、(2)物權的行爲ハ、債務行爲ニ依リテ、先驅セラルルコトアリ、不特定物ノ賣買ノ場合ノ如シ、先ツ其賣買ニ因リテ、或物ヲ讓渡スヘキ債務ヲ生シ、後其債務ノ履行トシテ、或物ノ所有權ヲ

讓渡ス、契約(物權的行爲)アリテ、所有權ノ移轉ヲ生スルモノトス、(3)物權的行爲ハ、債務的行爲ニ關係ナク存在スルコトアリ、或物ノ所有權ヲ讓渡スヘキ債務カ、法律ノ規定ニ因リテ生スル場合ノ如シ、(例ハ、不當利得返還ノ債務トシテ)、又ハ全ク其債務ナクシテ存スルコトアリ、消費貸借ニ於テ、消費物ノ所有權ヲ讓渡シ、買主カ、賣主ニ手附ノ所有權ヲ讓渡スカ如シ、(五五七)吾國ニ於テモ、亦物權的行爲ノ存セサルヘカラサルコトニ付キテハ、最早疑ヲ容ルヘキ餘地ナシ、(一七六)地上權、(二六五)地役權、(二八〇)質權、(三四二)抵當權、(三六九)ノ設定ハ、皆物權的行爲ニ因ルモノトス、或場合ニ於テハ、同一ノ行爲カ、物權的ナルト同時ニ、又債務的ナルコトアリ、永小作權設定契約(二七〇)ノ如シ、直接ニ永小作權ヲ設定シ、同時ニ小作料ヲ支拂フヘキ債務關係ヲ發生セシムル意思表示ヲ要分トスルモノナルカ故ナリ、此意味ニ於テ、此設定行爲ハ、物權的行爲ニシテ、且ツ債務的行爲ナリト云ハントス、

丙、準物權的行爲ハ、直接ニ物權上ノ變動以外ノ、法律上ノ效力ヲ生セシメント欲スル意思表示ヲ、要分トスル法律行爲ナリ、債權ノ讓渡(四六)大著作權ノ讓渡、債務ノ免除(五一九)婚姻、養子縁組ノ如シ、此等ノ行爲ハ、先ツ當事者ノ欲スル、法律上ノ效力ヲ生セシムヘキ債務關係ヲ生スルニアラス、其債務ヲ生セシムルコトナクシテ、直接ニ其法律上ノ效力ヲ生ス、其債務的行爲トノ關係ニ付キテハ、物權的行爲ニ付キテ述ヘタル所ニ依ルヘシ、

五、要因行爲、不要因行爲

甲、要因行爲トハ、財産供與行爲ニシテ其供與ノ原因ヲ其要分トスルモノヲ謂フ、或財産權ヲ他人ニ附著セシムルト云フ觀念ヲ、財産ノ供與ト稱ス、債權又ハ物權ヲ新設シテ他人ヲ債權者又ハ物權者ト爲スモ、既ニ存スル權利ヲ之ニ移轉セシムルモ、皆財産ノ供與ナリ、吾人ハ唯財産ヲ供與センカ爲メニ、之ヲ供與スルニアラス、必ス之ヲ供與スルハ、理

由(目的)アリテ、之ヲ供與ス、其供與ヲ合理的ナラシムル理由ヲ其供與ノ原因ト稱ス、故ニ其原因ハ、供與行爲ノ原因ニアラスシテ、供與ノ原因ナリ、其原因ヲ要分トスル財産供與行爲ヲ、要因行爲ト稱ス、其原因ハ、(1)恩惠ヲ與フルニ存スルコトアリ、(2)法律上ノ利益ヲ獲得セントスルニ存スルコトアリ、(1)恩惠ヲ與フルコトヲ原因要分トスル、財産供與行爲ノ主タルモノハ、贈與(五四九)ナリ、(2)法律上ノ利益ヲ獲得セントスルコトカ、原因ナル場合ニ於テモ、其原因ハ、(イ)財産ノ受者ニ對シテ、債權ヲ獲得セントスルコトニ存スルコトアリ、賣買、貸借、使用貸借ニ於ケルカ如シ、當事者ノ一方ノ財産供與ハ、他方ニ對シテ、債權ヲ獲得セントスルニ在リ、(ロ)自己ノ債務ヲ免レントスルニ存スルコトアリ、債權又ハ所有權ヲ讓渡スヘキ債務者カ、其讓渡ヲ爲スカ如シ、(ハ)猶ホ以上ノ原因ニ屬セサル種々ノ場合アリ、買主カ、賣主ニ手附ノ所有權ヲ供與スル場合ノ如シ、其原因ハ、賣買ノ解除ヲ爲スコトニ存ス(五五七) 債務的行

不要因行爲

爲ハ、多ク要因行爲ナリ、故ニ其原因即チ目的ヲ缺クトキハ、成立スルコト能ハス、代金ヲ支拂フヘキコトヲ約スルコトナクシテ、賣買ハ成立スルコト能ハス、恩惠的ナルノ點ニ付キテノ約束ナケレハ、贈與ハ成立セサルカ如シ、

乙 不要因行爲ハ、原因ヲ財産供與行爲ノ要分トセサルモノヲ謂フ、如何ナル財産供與行爲ト雖モ、其行爲ノ要分タル財産供與ノ意思表示ハ、心理上、其供與ノ目的ト結合シテ、之ヲ分離スルコトヲ得ス、故ニ其意思表示ヨリ成立スル法律行爲モ、心理上、亦原因ト結合シテ、分離スルコト能ハサルハ勿論トス、然レトモ法律ハ法律行爲ト其原因トヲ分離シ、其原因ノ如何ニ拘ハラズ、其法律行爲ニ、效力ヲ附スルコトヲ妨ケス、法律ハ活社會ノ指導者トシテ、實際ノ需用ノ爲メニハ、心理上ノ要求ニ從フコトヲ要セサルカ故ナリ、不要因行爲ノ存スル所以ナリ、物權的又ハ準物權的行爲ハ、不要因的ナルコト多シ、所有權、債權其他ノ權利ノ讓渡ハ、不要因的ナリ、故ニ其權利讓渡ノ債務ヲ履行スルノ目的ヲ以テ、權利ノ讓渡ヲ爲シタルトキハ、實際其債務ナキカ故ニ、其目的カ達セラレサル場合ニ於テモ、其讓渡ハ有效ニシテ、權利ハ讓受人ニ移轉ス、之ニ因リテ讓受人ハ不當ニ利得ヲ爲スノ結果ヲ生ス、讓與人ハ、民法第七百三條ニ依リ、其利得ノ返還ヲ請求スル債權ヲ取得ス、此方法ニ依リテ、民法ハ、原因ト法律行爲トノ連絡ヲ認ムルナリ、此ノ如クシテ、初メテ一方ニ權利ノ圓滑ナル流通ヲ促シ、他方ニ於テ、不正ノ利得ヲ得ルモノナカラシメントス、物權的行爲ト雖モ、亦要因的ナルコトナキニアラス、永小作權ノ設定行爲、有價ニ地上權ヲ設定スル行爲ノ如シ、又債務的行爲ニシテ、不要因的ノモノアリ、手形上ノ行爲ノ如シ、

第四項 法律行爲ノ一般有效要件

第一目 總說

一 法律行爲ノ成立要件ト、其效力要件トノ異ナルコトハ既ニ述ヘタ

法律行爲ノ成立要件ハ何レハ法

法律行為ノ
有效無放
生ノ問題ヲ
セス

法律行為
ノ一般効
力要件

法律行為
ノ内容
ノ目的

リ、法律行為成立ノ要件カ具ハラサルトキハ、法律行為ハ存在セス、從ツテ其有效ナルヤ否ヤノ問題ヲ生セス

二 法律行為ノ有效要件ハ、之ヲ一、一般要件ト、特別要件トニ區別スルコトヲ得、特別要件ハ、各箇ノ法律行為ニ特有ナル要件ナリ、例ハ遺言、又ハ死因贈與ハ遺言者又ハ贈與者カ死亡スルコトヲ其効力發生ノ要件トスルカ如シ、一般要件ハ、一般法律行為ノ効力發生ノ要件ナリ、其要件ハ行為者カ行為能力ヲ有スルコト、法律行為ノ内容カ、(1)可能ナルコト、(2)確定シ得ヘキコト、(3)公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反セサルコト、(4)強行法規ニ反セサルコト、(5)意思表示カ眞意ト一致スルコト、(6)意思表示ニ瑕疵ナキコトノ七ツニ歸ス、行為能力ヲ有セサル者ノ法律行為ハ、有效ニアラサルコト既ニ述ヘタリ、此處ニハ法律行為ノ内容ニ關スル要件ニ付キテ説明スルニ止ム、

三 法律行為ノ内容ハ、行為者ノ欲スル私法上ノ効力即チ法律行為上

法律行為
ノ動機
又ハ緣由

動機ト原因

論理上ノ
意義ニ於
ケル不能

ノ効力ヲ意味ス、第九十條ハ、法律行為ノ目的ト稱ス、法律行為ノ動機即チ緣由ハ、法律行為ノ内容ト爲ラスシテ、行為者ヲシテ其行為ヲ爲スヘク促シタル理由ヲ意味ス、刀劍ノ買入ハ、或ハ人ヲ殺サンカ爲メ、或ハ之ヲ娯マンカ爲メノ動機ニ出ツルカ如シ、法律行為ノ原因ト、混同セサルコトヲ要ス、原因ハ、財產行為ノミニ付キテ存シ、財產ノ供與ヲ合理的ナラシムル理由ナリ、反之動機ハ、法律行為ソノモノヲ爲スノ理由ナリ、法律行為ノ動機ハ、法律之ヲ顧ミサルコトヲ原則トス、(例外)

第二目 内容事項カ可能ナルコト

一 法律行為ノ内容事項カ可能ナルトハ、其法律行為上ノ効力ヲ組織スル事項ノ可能ナルコトヲ意味ス、不能ニアラサルモノハ、可能ナリ、故ニ可能ノ意義ヲ定メテ、消極的ニ可能ノ意義ヲ決スルヲ可トス、不能ノ意義ヲ定ムルニ當リテハ、物理上ノ意義ニ從ヒ、到底生スルコト能ハサルコトヲ意味スルモノト爲スヘカラス、(論理上ノ不能ニ於ケル不能)此意義ニ於

法律上ノ
ケル不能

主觀的不能
客觀的不能

法律的不
能事實的不

テハ不能ニアラサルモ、世間ノ見ルトコロニ從ヒ、生スルコト能ハサルモノトスルヲ適當トスル場合ニ於テ、不能アリトセサルヘカラス、(法律上ノ)ケル不能故ニ大海ノ底ニ沈ミタル船舶ヲ引上クルコトハ、論理上ニ於テハ、決シテハ不能ニアラサルヘシト雖モ、其費用、勞力、危險ノ程度ニ照シ、法律上ニ於テハ不能ト見ルヘキ場合アルヘシ、其不能ハ、唯特別ノ人ニ取リテノミノ不能(主觀的不能)ニアラサルコトヲ要ス、之ヲ客觀的不能ト稱ス、法律上ノ知識ヲ有セサル者カ、法律上ノ質問ニ答フルハ、主觀的不能ニシテ、客觀的不能ニアラス、反之既ニ滅失シタル或物ヲ與フルハ、客觀的不能ナリ、可能トハ、客觀的不能ニアラサルコトヲ意味ス、其不能ニ、法律的不能、事實的不能アリ、甲ハ不能ナルノ理由カ、法律ノ規定ニ存ス、兄弟ノ約束ヲ爲シ、法律ノ認メサル物權ヲ創設セントスルカ如シ、乙ハ其不能ノ理由カ、物理上ノ規則ニ存ス、月世界ニ航行スルカ如シ、

二 客觀的不能ノ事項ヲ以テ、組織セラレタル法律上ノ效力ヲ生セシ

メント欲スルモ、能ハサルコトニ屬ス、故ニ其法律行為ハ無効トス、其不能ナルヤ否ヤハ、法律行為ハ、當時ニ於ケル、吾人ノ知識ニ照シテ、之ヲ決スヘキモノトス、故ニ其時ニ於テ、不能ナルトキハ、後ニ可能トナルモ、法律行為ノ效力ヲ蘇生スル筈ナシ、

第三目 内容事項カ確定シ得ヘキコト、

一 法律行為ノ内容事項カ確定スルニアラサレハ、其法律上ノ效力ヲ、實際ニ實現セシムルコト能ハス、或モノヲ與ヘントスル約束ハ、其或物ノ確定スルニ依リテ、初メテ其效力ヲ實現セシムルコトヲ得ルカ如ク、或法律行為ヲ取消スト云フモ、其取消サルヘキ法律行為カ確定セサレハ、取消ノ效果ヲ收ムルコト能ハサルカ如シ、然ナカラ、法律行為上ノ效力ノ發生ニハ、其效力ヲ組織スル事項カ確定スルコトヲ必要トスルニアラス、確定シ得ヘキモノナルヲ以テ足レリトス、

二 確定シ得ルハ、方法ハ、(1)法律ノ規定ニ依リテ定マルコトアリ、甲

確定シ得
ルノ方法

乙何レカノ一ヲ與フヘシト約シ、(四〇六)給付スヘキ物ヲ種類ノミヲ以テ定メ、(四〇七)數箇ノ債權ヲ有スル者カ、唯相殺ヲ爲スヘキ旨ヲ表示シ、何レノ債權ヲ以テスルコトヲ示サリシ場合ノ如キハ、(五一三、四八九)自ラ法律ノ規定ニ依リテ確定スルカ如シ、(2)當事者カ、特ニ其方法ヲ定ムルコトアリ、當事者ノ一方又ハ第三者ヲ、確定權者ト定ムルカ如シ、此場合ニ於テハ、確定權者ノ合理的ノ確定ニ委スノ趣旨ナルコト勿論ナルカ故ニ、方外ノ確定ヲ爲スコトヲ得ス、(3)慣習其他ノ事情ニ依リテ、確定シ得ヘキコトアリ、

第四目 内容事項カ公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ

反セサルコト、

一 公ノ秩序ニ反スルトハ、社會ノ公安ニ反スルコトヲ意味ス、殺人、盜賊、放火、内亂、賭事ハ勿論、所有權ノ讓渡ヲ禁止スルカ如キモ、亦公ノ秩序ニ反スルモノト云フヘシ、故ニ此等ノ事項ヲ内容トスル法律行為ハ、無

公ノ秩序ニ反スルコト

善良ノ風俗ニ反スルコト

法律ニ反スルコト

公ノ秩序ニ反スルコト

效ナリ(九〇)

二 善良ノ風俗ニ反スルトハ、吾人ノ道德心ヲ不滿ナラシムルコトヲ意味ス、道德ハ人間ノ心美ノ規則ニシテ、人間ニ對スル教訓ナリ、時ト處トニ從ヒテ變化ナキニアラサルモ、吾國ニ於テハ、又吾國現代ニ特有ナル道德アリ、吾人ハ之ヲ尊重スルノ信念ヲ有ス、之ヲ道德心ト稱ス、法律ハ、道德ノ維持ヲ其使命ノ一トス、故ニ法律ニシテ道德ノ規則ヲ加味セサルモノ少ナシ、其加味ノ方法ニニアリ、其一ハ直接加味ニシテ、道德ノ教訓的規則ヲ、法律ノ規則トナスモノナリ、殺人、盜賊ヲ禁シ、借金ノ辨濟ヲ命スルカ如シ、其二ハ間接加味ニシテ、吾人ノ道德心ヲ不滿ナラシム事項ヲ内容トスル法律行為ヲ、無効トナスハ、(九〇)其一ノ場合ナリ、之ニ依リテ、間接ニ道德ノ維持ヲ全フスルコトヲ得ヘシ、

二 公ノ秩序ニ反スル事項ト、善良ノ風俗ニ反スル事項トハ、合一スルコト甚タ多カルヘシ、然シ二者ノ異ナルコトモ、ナキニアラス、所有權ノ

スルトノ
關係

善良ノ風
俗ニ反ス
ル場合

讓渡禁止ハ、公ノ秩序ニ反スルモ、善良ノ風俗ニ反セサルカ如シ、吾民法
カ此二箇ノ事項ヲ區別シ、其何レカ一ノ事項ヲ、内容トスル法律行為ヲ
無効トスル旨ヲ定ムルハ、用意周到ナリト云フヘシ、

三 法律行為ノ内容事項カ、善良ノ風俗ニ反スルハ、三ツノ場合ニ區別
スルコトヲ得ヘシ、(1) 其事項カ、善良ノ風俗ニ反スル給付ヲ爲スヘキ
コトニ存スルコトアリ、殺人、放火ヲ約シ、風俗ヲ紊亂スヘキ所爲ヲ爲ス
ヘキコトヲ約スル場合ノ如シ、(2) 其事項カ、善良ノ風俗ニ反スル法律
上ノ效力ソノモノヲ生セシムルコトニ存スルコトアリ、結婚ヲ爲シ、又
ハ爲ササルコト、改宗ヲ爲シ、又ハ爲ササルコト、手術ヲ受クルコト、藥ヲ
服用スルコト等ハ、其事自體ハ、決シテ善良ノ風俗ニ反スルモノニアラ
ス、然シナカラ、其事ノ義務^{法律上}ヲ生セシムルコトカ、善良ノ風俗ニ反
ス、死體ノ所有權ノ讓渡モ、亦同一ナリ、(3) 其事項ハ、金錢的利益トノ連
絡アルカ爲メニ、善良ノ風俗ニ反スルモノナルコトアリ、惡事ヲ爲ササ

動機カ公
ノ秩序又
ハ善良ノ
風俗ニ反
スル場合

ルコトヲ條件トシ、(一)ニ又ハ其代リニ、金錢其他ノ物ヲ與フヘキコト
ヲ約スルカ如シ、^{後ノ場合ハ双務契約トナル}
四 法律行為ノ内容事項カ、公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スルトキハ、
其法律行為カ無効トナル(九〇)。其法律行為ノ動機カ、公ノ秩序又ハ善
良ノ風俗ニ反スルモ、其法律行為カ無効ナルコトナシ、故ニ人ヲ殺サン
カ爲メニ、刀劍ヲ買入レ、強盜ニ入ランカ爲メニ、懷中電燈ヲ買入ルルモ、
其賣買ハ有效ナルコトヲ妨ケス、風俗壞亂ノ營業ヲ爲サンカ爲メニ、家
屋ヲ買入レ、又ハ借入ルルモ、其賣買貸借ノ有效ナルニ害ナシ、然シ其家
屋ヲ使用スル方法トシテ、其營業ヲ爲スヘキ貸借ハ無効ナルヘシ、
五 當事者カ、公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スルコトヲ知ルト知ラサ
ルトハ、毫モ問フトコロニアラス、又或事項カ、公ノ秩序又ハ善良ノ風俗
ニ反スルヤ否ヤヲ決スルハ、法律問題ニシテ、事實問題ニアラス、故ニ其
點ニ付キテハ、上告ヲ爲スコトヲ得ヘシ、

強行法規
任意法規

強行法規

第五目 内容事項カ、強行法規ニ反セサルコト、
 一 法律ノ規定ヲ分ツテ、強行法規、任意法規トス、強行法規ハ、公ノ秩序ニ關スル規定ナリ、換言スレハ、公安ニ影響ヲ及ホス規定ナリ、任意法規ハ、當事者カ別段ノ定メヲ爲ササル場合ニ向ツテ、補充的ニ存スル規定ナリ、故ニ之ヲ補充法規トモ稱ス、民法中ノ規定ハ、強行法規ヲ原則トスルニモアラス、又任意法規ヲ原則トスルニモアラス、強行任意兩法規ノ集合ナリ、其規定カ其任意法規ナルコト明白ナル場合アリ、民法カ特ニ或意思ヲ表示シタルトキハ、其意思ニ從フト定メ、(一)ニ別段ノ意思表示ナキトキト定メ、(一)六別段ノ定メアルトキト定メ、(三)六、(六)五、又ハ別段ノ契約ヲ爲ササルトキト定ムルカ如シ、(七)九三、然シナカラ、此等ノ文句ナキモノカ、強行法規ナリト速斷スルコトヲ得ス、法規存在ノ理由ヲ索メテ、強行任意何レニ屬スルカヲ決スヘシ、

二 任意法規ニ異ナル内容ノ法律行為ハ、有效ナリ、(九)一、反之強行法規

ニ反スル
法律行為
爲
脱法ノ行

慣習ト任
意法規

ニ異ナル内容ノ法律行為ハ、無効トス、故ニ權利能力ヲ拋棄シ、不法行為ヲ爲スモ損害ヲ賠償セサル旨ヲ約スルトキハ、無効ナリ、法律ノ禁止ヲ潜ル法律行為ト雖モ、其内容カ其法律ノ禁止ニ反スルモノニアラサレハ、無効ニアラス、

三 任意法規ノ適用ヲ排斥セントスルニハ、當事者カ其法規ニ異ナル意思表示ヲ爲スコトヲ要ス、然シナカラ、其法規ニ異ナル慣習アル場合ニ於テ、法律行為ノ當事者カ、其法規ニ依ラスシテ、其慣習ニ依ル意思ヲ有スルモノト認ムヘキ事情ノ存スルトキハ、其任意法規ノ適用ハ排斥セラルヘシ、從ツテ任意法規ノ適用ヲ受ケサラントスルノ趣旨カ、法律行為ノ自體ヨリ顯ハルルコトヲ要セス、其意味ニ於テ、慣習ハ、意思表示ヲ補充スルノ效力ヲ有ス、此慣習ハ、法タルハ、效力ヲ有スル慣習、法例ニニアラサル慣習ナリ、之ヲ事實タル慣習ト稱ス、(1)唯法カ有セサルニ止マリ、其實質ハ、法規ト同様ノモノニシテ、(2)世人カ之ニ從フカ故ニ、吾

人モ亦之ニ從フモノナルコトヲ要ス(九二)

第六目 意思表示カ真意ト一致スルコト、

一 總說

真意ト意
思表示ノ
不合

一 意思表示ハ、表示者ノ真意ニ合スルコトヲ其成立ノ要件ト爲サス、然シ、意思表示カ之ヲ要分トスル法律行為ヲ有效ナラシムルニ適スルモノハタルニハ、表意者ノ真意ニ合スルコトヲ要ス、此原理ハ、吾民法ニ於テ、原則トシテ採用セラレタルコト疑ヲ容レズ、(主観)唯實際上ノ不都合ナル結果ノ生センコトヲ避ケンカ爲メニ、例外ヲ設クルノミ、(表示) (九四、九五)

二 意思表示ト、表意者ノ真意トカ合セサル場合ハ、(1)表意者カ之ヲ知リテ、意思表示ヲ爲シタル場合(故意ノ不合) (九三)ト、(2)之ヲ知ラスシテ、意思表示ヲ爲シタル場合(不慮ノ不合)トニ分ツ、不慮ノ不合ハ、細別シテ(イ)錯誤ニ因ル不合(九五)(ロ)意思傳達者ニ因ル不合トニ分ツ、

心裡留保

二 故意ノ不合(心裡留保、虚)

一 表意者カ、(1)效力意思ヲ有セサルコトヲ、(2)知ルニ拘ハラズ、其意思ノ表示行為ヲナストキハ、其意思表示ヲ心裡留保ト稱ス、(九三)意思表示ナルカ故ニ、表示行為アリ且ツ表示意思アルコトヲ要ス、特定ノ人ニ對スルト、然ラサル意思表示トヲ問ハス、其意思表示ハ(1)他人ヲ欺カンカ爲メニスルコトアリ、害意アルコトアルヘシ、ナキコトアルヘシ、財物ヲ詐取センカ爲メニ、心ニモナキ貸借ノ意思表示ヲ爲シ、又ハ病人ヲ慰メンカ爲メニ、唯其意ヲ迎フル趣旨ノ意思表示ヲ爲スコトアルカ如シ、(2)其他ノ目的ノ爲メニスルコトアリ、諧謔ノ爲メニナシ、又ハ役者カ舞臺ニ於テ演劇ノ爲メ意思表示ヲナスカ如シ、

二 心裡留保ハ有效ナルコトヲ妨ケズ、(九三)但シ特定ノ人ニ對スル意思表示ニ付キテハ、其相手方カ其意思表示ノ、表意者ノ真意ニアラサルコトヲ知ルカ、又ハ知ルコトヲ得ヘカリシトキ、(過失ニ因リテ)ハ其意思

表示ハ無効トス、之ヲ要分トスル法律行為ヲ無効トスルノ意ナリ(九三)蓋シ此場合ニ於テハ、原則ニ從フモ、相手方ヲ害スルノ虞ナキカ、又ハ其ノ損害ハ相手方ノ自ラ招クトコロノモノトシテ、之ヲ保護スルノ必要ナキカ故ナリ、

三 特定ノ人ニ對スル心裡留保ノ意思表示ノ相手方カ其意思表示ノ真意ニ合セサルコトヲ知ル場合ハ、(1)表意者及ヒ其ノ相手方トカ、唯真意ニアラサルコトヲ知ル場合ト、(2)表意者カ、其真意ニ合セサル意思表示ヲ爲スニ付キテ、相手方ト通謀スル場合トニ區別スルコトヲ得第二ノ場合ハ、特ニ之ヲ虛偽ノ意思表示ト稱ス(九四)第一ノ場合ト同シク相手方ニ知ラレタル心裡留保ニ屬ス、唯相手方ト通謀即チ合意上ニテ、真意ニアラサル意思ノ表示ヲ爲ス點ニ於テ、第一ノ場合ト異ナルノミ、

四 然シ其法律上ノ取扱ニ付キテハ、二者大ニ異ナルモノアリ、第一ノ場合ニ於ケル意思表示ハ、絶對ニ無効ナリ、善意ノ第三者ヲ害スルト否

虛偽ノ意思表示

トヲ問ハス(九三)反之虛偽ノ意思表示ハ、相對無効ナリ、即チ表意者及其相手方トノ間ニ於テハ、無効ナリ、善意ノ第三者ニ對スル關係ニ於テハ、無効ニアラス(九四)第三者ニ對抗スルコトヲ得ストハ、第三者ヨリ無効ヲ主張スルコトヲ得ルノ意ナリト解スルヲ通例トス、然シ其解釋ハ、必要ノ程度ヲ超ヘテ、第三者ヲ保護スルノ結果ト爲ルノミナラス、法文上ニ何等ノ根據ヲ有セサルモノナリ、

第三者ハ、表意者其相手方及其一般承繼人以外ノ者ニシテ、虛偽ノ意思表示ノ無効ナルカ故ニ、影響ヲ受クヘキ法律上ノ關係ヲ成立セシメタル者ヲ謂フ、其第三者カ善意ナルハ、其法律上ノ關係ヲ成立セシメタル當時ニ於テ、虛偽ノ意思表示アリシコトヲ知ラサルコトヲ意味ス、相續人ノ放蕩無賴ナルコトヲ慮リ、被相續人甲カ其親族ノ者乙ト協議シ之ニ財産ヲ讓渡シタルカ如ク、裝フトキハ、其讓渡ハ虛偽ノ意思表示ヨリ成ル、乙カ其財産ノ自己ノ名義ニ書キ換ヘラレタルヲ利用シ、更ニ之ヲ丙ニ讓渡シタル場合ニ於テ、丙カ

1 告知
2 告知
3 告知

潜伏行為

信託行為

甲乙間ノ虛偽ノ意思表示ヲ知ラサルトキハ、善意ノ第三者トシテ有效ニ乙ノ承繼人ト爲ル、丙ハ自己ノ利益ノ爲メニ、甲乙間ノ讓渡ノ無効ナルコトヲ主張スルコトヲ得ス、

五 虛偽ノ意思表示ヨリ成ル法律行為ト共ニ、表意者ノ眞意ニ合スル意思表示ヨリ成ル法律行為カ、潜伏スルコトアリ、之ヲ潜伏行為ト稱ス、印紙稅ヲ減センカ爲メニ、賣買ノ代金ヲ減少シテ、證書ニ記載スル場合ノ如シ、其代金ノ賣買ハ、虛偽ノ意思表示ヨリ成ル、然シ正當ノ代金ノ賣買ハ、潜伏行為ナリ、虛偽ノ意思表示ヨリ成ルニハアラス、

六 表意者カ、財産ヲ他人ニ讓渡サント欲スル意思表示ヲ爲シ、而モ經濟上ニ於テハ、之ヲ讓渡ササルト同一ナル結局ノ結果ヲ收メント欲スルコトアリ、其意思表示ヨリ成立スル行為ヲ信託行為ト稱ス、表意者ハ、財産ヲ他人ニ讓渡サント欲シ、其意思ヲ表示スルカ故ニ、虛偽ノ意思表示ヨリ成ルモノニアラス、債權ヲ取立テシムル目的ヲ以テ、債權ヲ取立

者ニ讓渡シ、擔保ノ目的ヲ以テ、所有權又ハ債權ヲ讓渡スカ如キハ、信託行為ナリ、此讓渡ノ原因ハ、恩惠的ニアラスシテ、有價的ナリ、其形式ハ、場合ニ依リテ異ナル、

七 故意ノ不合ニ關スル規定ハ、出來得ル限りニ於テ、意思表示ニアラサル心理表示ニ準用セラルヘシ、

三 不慮ノ不合

一 錯誤ハ事物ノ誤解ヲ意味ス、或事物ト之ニ對スル認識トノ不合ヲ謂フ、其事物ハ、法律ノ規定ナルコトアリ、然ラサルモノナルコトアリ、甲ニ對スル誤解ハ、之ヲ法律ノ錯誤ト稱ス、連帶ト云フハ、保證ノコトヲ意味スルト誤解スルカ如シ、乙ニ對スル誤解ハ、之ヲ事實ノ錯誤ト稱ス、惡人ヲ善人ト誤解シ、銅ヲ金ト誤解スルカ如シ、共ニ意思表示カ、不慮ニ表意思ノ眞意ニ合セサル場合ヲ生セシムヘシ、

二 意思ヲ表示スルニ當リテ生スル錯誤ハ、法律行為ノ内容ニ關セサ

法律ノ錯
誤事實ノ錯

動機ノ錯誤

原因ニ關スル錯誤

法律行為ノ内容ノ錯誤

ルモノナルコトアリ、又ハ其内容ニ關スルモノナルコトアリ、法律行為ノ内容ニ關セサル錯誤ハ、主トシテ法律行為ノ動機ニ關スル錯誤ナリ、米ノ値段ノ騰貴疑ナシト信シテ、米ヲ買入ルルニ如シ、民法ハ動機ノ錯誤ハ、意思表示ノ效力ニ影響ナキモノトス、(九五)此場合ニ於テハ、意思表示ハ眞意ト一致ス、設例ニ於ケル米ノ値段カ騰貴セサルモ、米ノ買入ノ有效ナルコト勿論ナルヘシ、不要因的法律行為ニ於ケル原因ニ關スル錯誤ハ、動機ノ錯誤ト同シク、意思表示ノ效力ニ何等ノ影響ヲ及ボサス、同シク、意思表示ト眞意トハ合一ス、債務ナキニ拘ハラス、有リト誤信シテ、辨濟ヲ爲スカ如シ、辨濟トシテ爲シタル權利ノ讓渡ハ有效ナリ、

法律行為ノ内容ノ錯誤ハ、(1)表意者カ使用シタル表示方法ハ、意義ハ誤解ナル事アリ、連帶債務ト云ヘハ、保證債務ノコトヲ意味スルモノト誤解シ、保證債務ヲ負擔スルノ意思ヲ表示スルニ、連帶債務ヲ負フヘシ

ト爲シ、相續ノ拋棄(三八)ハ、限定相續(二五)ヲ意味スルモノト誤信シ、其意思ヲ表示スルニ相續ヲ拋棄スルト云フカ如シ、自己ノ親族某ノ名ハ甲ナリト誤解シ、之ニ若干圓ヲ與フヘキ遺言ヲナシタルニ、甲ハ他人ニシテ、某ハ乙ナリシ場合モ亦同一ナリ、總テ意思表示ト眞意トノ不合ヲ來ス、(2)表意者カ表示方法ノ意義ヲ知ルニ拘ハラス、其誤用ヲナスコトアリ、誤筆、誤談ノ如シ、甲ノ馬ヲ賣ラント欲シ、誤テ乙ヲ賣ラント約シ、百圓ニテ賣ラント欲シ、十圓ト書キ誤ルカ如シ、表意者ハ、其表示行為ノ誤ナルコトヲ知ラス、適當ニ自己ノ眞意ヲ表示スルニ適スルモノト信ス、此信念ハ誤信ナリ、然シ其表示行為ヲ意思表示タラシムルニ十分ナリ、從テ此場合ニ於テモ、意思表示ノ存スルコトヲ妨ケス、同シク、意思表示ト眞意トノ不合ヲ生ス、

三 法律行為ノ内容ニ關スル錯誤中、法律行為ノ要素ニ關スルモノニアラサレハ、意思表示ノ效力ニ影響ヲ及ボスコトナシ、法律行為ノ要

法律行為ノ要素ノ錯誤

法律行為
ノ性質
ノ目的物
ノ種類品質
ノ錯誤

素トハ、法律行為ノ内容ノ要分ヲ意味ス、法律行為ノ内容ハ、法律行為上ノ効力ニシテ、其要部ハ、其効力ヲ組織スル必要部分ナリ、換言スレハ、其部分ナカリセハ、表意者ハ、効力ヲ生セシムルコトヲ欲セス、又世間モ之ヲ正當ト認ムル其部分ヲ謂フ、故ニ表意者カ主觀的ニ必要ナリトスル部分ニアラサレハ、要素ニアラス、又表意者ノミカ必要トスルヲ以テ足レリトセス、世間モ亦表意者ノ必要トナシタルコトヲ是認スルコトヲ要ス、此標準ニ依レハ、(1)法律行為ノ性質、又ハ(2)其目的物ノ種類品質ニ關スル錯誤ハ、要素ノ錯誤タリ得ヘシ、賣ラント欲シ誤ツテ買ハント表示シ、無償ニテ貸サント欲シ、誤ツテ與ヘン(贈與)ト表示シ、甲ノ土地ヲ賣ラント欲シ、誤ツテ乙ノ土地ヲ賣ラント表示スルカ如シ、但シ甲土地ヲ賣ラント欲シ、或土地ヲ甲土地ト誤信シ、此土地ヲ賣ラント表示スルトキハ、表意者ハ、此土地ヲ賣ラントスルノ意思ヲ有シ、其眞意ヲ表示シタルナリ、其土地ヲ甲土地ト誤信シタルハ、動機ニ於テ錯誤アリタルニ

當事者ノ
人ニ關ス
ル錯誤

表示者ノ
重大ナル
過失ノ効
力

過キス、元信筆ノ山水ナリト誤信シ、或掛物ヲ見テ之ヲ買ハントノ意思ヲ表示シタル場合モ亦同シ、(3)當事者ノ人ハ、法律行為ノ内容ヲ爲ス、然シ其要素トナラサルコトアリ、賣買ノ當事者ノ如シ、又ナルコトアリ、贈與、遺贈、無利息消費貸借ノ當事者ノ如シ、後ノ場合ニ於テハ、當事者ノ人ニ關スル錯誤ハ、要素ノ錯誤タリ得ヘシ、但シ表意者カ或人ヲ見テ、自己ノ親族某ナリト誤信シ、之ニ若干金ヲ贈與スヘキ意思ヲ表示スルトキハ、其人ニ贈與スルノ意思ヲ有シ、之ヲ表示ス、其人ヲ親族某ト信シタルハ、動機ノ錯誤ニ外ナラス、他ハ類推シテ之ヲ考フヘシ、
四 吾民法ニ於テハ、法律行為ノ要素ニ錯誤アル意思表示ヲ無効トスルヲ原則トシ、(九五)其錯誤カ、表意者ノ重大ナル過失ニ基クモノナルトキハ、例外トシテ無効ト爲サス、(九五)重大ナル過失トハ、適當ナル注意ヲ缺クコト、甚ダシキコトヲ意味ス、
五 仲介者カ、表意者ノ意思ヲ傳達シ、其表示行為ヲ完成スル場合ニ於

仲介者ノ
傳達ニ依
ル不合

テハ其仲介者ノ所爲ニ因リテ意思表示ト表意者ノ眞意トノ不慮ノ不
合ヲ來スコトアリ其意思表示ハ無効ナリ吾民法ニ於テハ此場合ニ處
スル特別ノ規定ナキカ故ニ原則ニ依ラサルヲ得サルカ故ナリ、
六 不慮ノ不合ニ關スル規定ハ出來得ル限リニ於テ意思表示ニアラ
サル心裡表示ニ準用セラルヘシ、

第七目 意思表示ニ瑕疵ナキコト、

一 詐欺ニ因ル意思表示

一 詐欺ハ左ノ分子ヨリ成立ス、

詐欺ノ意
義ニ依
ル詐欺
刑法上ノ
詐欺

(一) 詐欺者ニ故意アルコトヲ要ス(詐欺意思) 故意トハ詐欺者カ其示
シタル事項ノ眞實ニアラサル事ヲ知り且ツ相手方カ錯誤ニ陥リ
之ニ因リテ或一定ノ意思表示ヲ爲スニ至ルヘキコトヲ知ルコト
ヲ意味ス刑法上ハ詐欺ノ如ク不法ニ財産上ノ利益ヲ得ント欲ス

欺罔行爲

ルヲ要セス又相手方ニ財産上ノ損害ヲ加ヘント欲スルコトヲ要
セス相手方ノ利益ノ爲メニスル場合ト雖モ猶ホ詐欺ハ成立シ得
ヘシ民法ハ表意者ノ任意ノ動機ヨリ發スル意思表示ヲ瑕疵ナキ
モノトシ之ヲ有效ト爲サントスルカ故ナリ、

(二) 詐欺者カ眞實ナラサル事項ヲ表示スルコトヲ要ス(欺罔行爲) 或
ハ虚偽ノ事實ヲ捏造シテ之ヲ表示スルコトアリ或ハ眞實ナル事
實ヲ隠蔽スルコトアルヘシ或ハ誤リタル意見ヲ陳述スルコトア
ルヘシ此場合ニ於テ其意見ノ誤リナルコトヲ知ラサレハ詐欺ヲ
構成セス詐欺意思ヲ缺クカ爲メナリ沈黙モ亦欺罔行爲タルコ
トヲ得ヘシ世間ノ取扱上積極的ノ欺罔行爲ト同一視セラルヘキ
場合ニ限ル、

(三) 詐罔行爲ニ因リテ相手方カ錯誤ニ陥ルコトヲ要ス故ニ其錯誤
ヲ生スルコトナケレハ詐欺或立セス又詐欺ノ未遂ナルモノナシ

二 詐欺ニ因ル意思表示トハ、詐欺意思ノ目的ト爲リタル一定ノ意思表示ニシテ、詐欺ト因果ノ關係ヲ有スルモノヲ謂フ、或特定ノ掛物ヲ賣ランカ爲メニ、元信ノ筆ナリト詐欺シ、其掛物ヲ買ハシメタルトキハ、相手方ノ其賣買ノ意思表示ハ、詐欺ニ因ルモノナリ、反之其掛物ヲ買ハンカ爲メニ、他人ヨリ借金ヲ爲スハ、詐欺ニ因ル意思表示ニハアラス、又相手方カ其詐欺ナクモ、猶ホ其掛物ヲ買取ルヘカリシトキハ、其意思表示ハ詐欺ト因果ノ關係ナシ(九六)

三 詐欺ノ效果ハ場合ニ依リテ異ナル、(1)詐欺者ニ對スル意思表示ハ、常ニ之ヲ取消スコトヲ得(九六一) (2)或人ニ對スル意思表示ニ付キ、第三者カ詐欺ヲ行ヒタル場合ニ於テハ、其或人カ其事實ヲ知リタルトキニ限り、之ヲ取消スコトヲ得(九六二) 甲カ乙ト相謀リ、乙ノ有スル掛物ハ眞筆ニ相違ナシト詐リ、丙ヲシテ買ハシメタルトキハ、丙カ乙ニ對スル賣買上ノ意思表示ハ、丙ニ於テ之ヲ取消スコトヲ得ルカ如シ、詐欺

ニ因ル錯誤カ、法律行為ノ要素ニ關スルコトアリ、此場合ニ於テハ、其意思表示ハ無効ナリ(九四)故ニ取消ノ問題ヲ生セス、從テ錯誤カ法律行為ノ要素ニ關セサル場合ニ於テノミ、取消ノ問題ヲ生ス、詐欺ニ因ル取消ハ、善意ノ第三者ニ對シテハ其效力ナキモノトス(九六三) 善意ノ第三者ヲ害スヘキ場合ニ於テモ、取消ヲナスハ差支ナシ、故ニ當事者間ニハ取消ノ效果ヲ生ス、唯善意ノ第三者ニ取消ノ效力ヲ及ホスコトナキノミ、

四 詐欺ニ因ル意思表示カ、刑法上ノ詐欺ニ該當スヘキ場合ニ於テハ、民法上及ヒ刑法上ノ效果ヲ生ス、兩者全ク其法律事實ニ對スル效果ヲ異ニスルモノナルカ故ナリ、刑法上ノ效果トシテハ處罰ノ問題ヲ生スヘク、民法上ノ效果ハ取消シ得ヘキコトニ在リ、

五 詐欺ニ因ル意思表示ニ因リテ損害ヲ受クルトキハ、詐欺者ニ對シテ、其賠償ヲ請求スルコトヲ得ヘシ、詐欺者ハ不法行為ヲナスカ故ナリ、

二 強迫ニ因ル意思表示

一 強迫ハ左ノ分子ヨリ成立ス、

- (一) 強迫者ニ故意アルコトヲ要ス、強迫意思、故意トハ、相手方ニ畏怖心ヲ生セシメント欲シ、且ツ之ニ基キテ、一定ノ意思表示ヲ爲サシメント欲スルコトヲ意味ス、刑法上ノ恐喝ノ如ク、財産上ノ利益ヲ收メントスル意思、又ハ財産上ノ損害ヲ生セシメントスル意思ヲ要セス、被強迫者ノ利益ノ爲メニスル場合ニモ、強迫ノ成立スルコトヲ妨ケス、民法ハ表意者ノ任意ノ動機ヨリ、發スル意思ノ表示ヲ瑕疵ナキモノトシ、之ヲ有效ト爲サントスルカ故ナリ、
- (二) 強迫者カ、害惡ヲ加フヘキ旨ヲ表示スルコトヲ要ス、(迫害行爲) 害惡カ如何ナル點ニ於テ生スルヲ問ハス、生命、健康、名譽ニ對スル害惡ナルト、財産ニ對スル害惡ナルトヲ問ハス、其害惡ノ程度ノ大小

強迫ノ意
義強迫意

強迫行爲

強迫ト不
當

ヲ論セス、苟モ被強迫ヲシテ、畏怖ノ状態ニ在ラシムルニ適スルヲ以テ足ル、又強迫カ、其害惡ヲ實現セシムルコトヲ得ルモノナルト否トヲ區別セス、

- (三) 迫害行爲ニ因リテ、相手方ニ畏怖心ヲ生セシムルコトヲ要ス、故ニ既ニ畏怖状態ニ在ル者ヲシテ、畏怖心ヲ永續セシムルモ強迫トナルコトナシ、水ニ溺レントスル者カ救ヲ求メ、一定ノ報酬ヲ約スルモ強迫ノ存セサルハ勿論、高額ノ報酬ヲ要求シ與ヘサレハ救ハスト云ハルルモ、強迫ハ存スルコトナシ、唯之ヲ救フヘキ本來ノ職分ヲ有スル者カ、其報酬ヲ約セシムルトキハ、善良ノ風俗ニ反スル内容ノ行爲トシテ、無効ナルヘシ、

- (四) 迫害行爲ニ因リテ、意思ヲ決定セシムルコトカ、不當ナルコトヲ要ス、即チ迫害行爲カ不法ナルカ、又ハ善良ノ風俗ニ反スルモ強迫トナル、汝既ニ辨濟期ニ在ル債務ヲ辨濟セサレハ、汝ヲ殺スヘシ、又

ハ汝ノ家屋ヲ燒キ拂フヘシト云フカ如シ、又迫害行為ハ不當ニアラサルモ、迫害ニ依リテ意思ヲ決定セシムルコトカ、善良ノ風俗ニ反スルトキハ強迫トナル。若シ家賃ヲ上グルコトヲ承諾セサレハ汝ノ社會主義者ナルコトヲ申告スヘシト云フカ如シ、反之汝辨濟ヲ爲ササレハ、裁判所ニ訴ヘ出ツヘシ、又ハ強制執行ヲ爲スヘシト云フモ強迫トナラス。

二 強迫ニ因ル意思表示トハ、強迫意思ノ目的ト爲リタル一定ノ意思表示ニシテ、強迫ト因果ノ關係ヲ有スルモノヲ謂フ。故ニ若シ若干圓ヲ與ヘサレハ汝ヲ殺スヘシトノ強迫ニ逢ヒ、若干圓ヲ與フル旨ヲ表示スルトキハ、強迫ニ因ル意思表示ナリ、反之其強迫ニ逢ヒ、將來ノ爲メニ護身用ノピストルヲ買入ルルモ、強迫ニ因ル意思表示ニアラス、又被強迫者カ、其強迫ナクモ若干圓ヲ與フヘカリシ場合ニ於テハ其意思表示ト強迫トノ間ニ因果ノ關係ナシ(九六)

強迫ニ因ル意思表示

強迫ノ効果

取消ノ効果

強迫ト不法行為

三 強迫ニ因ル意思表示ハ、取消シ得ヘキモノナリ(九六) 強迫者ニ對スル意思表示ナルト、又第三者ノ強迫ニ因リ或人ニ對シテ爲シタル意思表示ナルトヲ問ハス、取消スコトヲ得、其取消ノ效力ハ、如何ナル人ニモ及ブモノトス、詐欺ノ場合ト異ナルノ點ナリ、然シ強迫ニ因ル意思表示ハ、表意者ノ眞意ト合セサルコトアリ、強盜ニピストルヲ以テ強迫セラレ、若干圓ヲ與フル場合ノ如シ、唯一時ヲ逃ルルカ爲メニ表意者ハ心ニモナキ意思表示ヲ爲スモノナルカ故ナリ、其意思表示ハ無効トス(九三)

四 強迫ニ因リテ被強迫者カ損害ヲ受クルトキハ、強迫者ニ對シ、其賠償ヲ求ムルコトヲ得、不法行為カ成立スルカ故ナリ(七〇九)

五 詐欺強迫ニ關スル規定ハ出來得ル限りニ於テ、意思表示ニアラサル心理表示ニ準用セラルヘシ、

第五項 代理ニ依ル法律行為

代理意思ハ表示ヲ要セサルトコロニ代理ナシ故ニ或人カ代理意思ヲ有スルモ之ヲ表示セスシテ爲シタル意思表示ハ代理上ノ意思表示ニアラス然シ其意思表示ハ自己ノ爲メニ之ヲ爲シタルモノト看做サレ
 (二〇〇)表意者ニ於テ法律行爲上ノ效力ヲ生ス從テ其意思表示ハ表意者ノ眞意ニ合セサルモノトシテ之ニ關スル規定ノ適用ヲ受クルコトナシ但表意者ノ相手方カ本人ノ爲ニスルコトヲ知り又ハ之ヲ知ルコトヲ得ヘカリシトキハ代理ト同一ノ效果ヲ生スルモノトス(但書一〇〇)
 三 法律行爲ハ代理ニ親シムモノナルコトヲ原則トシ唯行爲ノ性質上本人自ラ之ヲ爲スコトヲ要スルモノニ限り代理ヲ許サス親族法ニ特有ナル行爲即チ婚姻養子縁組隠居ノ如キ代理ヲ許サス唯養子縁組ニ付キテハ養子ト爲ル者カ滿十五歳未滿ナルトキハ其家ニ在ル父母カ代理人トシテ縁組ヲ爲スコトヲ得吾國ノ慣例ニ依ルモノナリ(又四三)遺言モ亦代理ヲ許ササルハ論ヲ俟タス

代理セラルベキ行爲

代理ノ效果
法律行爲
上ノ效力
カ直接ニ
本人ニ歸ス

四 代理ノ效果ハ (一)代理ニ於ケル意思表示ノ法律行爲上ノ效力ヲ直接ニ本人ニ歸セシムルコトニ存ス(九九)此效果ノ生スルニハ其意思表示ノ有效ナルコトヲ必要トスルハ勿論ナリ然シ其有效條件トシテ(1)代理人カ能力者タルコトヲ必要トセス(二〇)故ニ未成年者禁治產者準禁治者及妻ハ代理人トシテ獨斷ニテ有效ニ意思表示ヲ爲スコトヲ得當然ノ事理ナリ代理ニ於ケル意思表示ハ本人ニ於テ效力ヲ生セシメントスル意思表示ナルカ故ニ無能力者カ代理ヲ爲スモ之ニ損害ヲ生スル虞ナキカ故ナリ未成年者禁治產者ト雖モ代理ニ於ケル意思表示ノ有效ナル受者タルコトヲ得ルハ當然ナリ(2)意思表示ノ效力カ意思ノ欠缺(四九三、九)詐欺強迫又ハ或事情ヲ知リタルコト若クハ之ヲ知ラサル過失アリタルコトニ因リテ影響ヲ受クヘキ場合(九六、九三、但書九六)ニ於テ其事實ノ有無ハ代理人ニ付キテ之ヲ定ム(一〇一)代理人カ意思表示ヲ爲シ又ハ之ヲ受ケ本人カ之ヲ爲シ又ハ受クルニアラサ

ル當然ノ結果ナリ、但シ(イ)特定ノ法律行為ヲ爲スコトヲ委託セラレタル場合ニ於テ、(ロ)代理人カ本人ノ指圖スルトコロニ從ヒ、其行為ヲ爲シタルトキハ、代理人カ或事情ヲ知ラサルモ、代理人カ知リタルトキハ、原則ニ從フ、本人カ其事情ヲ知リタルトキハ、代理ニ於ケル意思表示ノ效力ハ本人カ其事情ヲ知ルコトニ從ツテ之ヲ定ム、(二〇)甲カ乙ニ對シ、或土地ノ賣買ノ件ニ付キ相談ヲ爲スヘキ旨ヲ申來レリ、乙ハ自己ヲ欺カシカ爲メニ全ク心ニモナキコトヲ云フモノナルコトヲ知ルニ拘ハラズ、其事情ヲ知ラサル丙ヲシテ自己ノ代理人トシテ、其賣買ヲ爲スヘキコトヲ委託シ、且ツ之ヲ買取ルヘキ指圖ヲ爲シタリ、此場合ニ於テハ、甲ノ意思表示ハ無効トナル、(九三)其賣買ハ無効タルヘシ、代理人カ其事情ヲ知ラサル過失ナク、本人ニ於テ其過失アルトキモ、亦意思表示ノ效力ハ本人ノ過失ニ從ツテ之ヲ定ム、(二〇) (二)代理ノ第一ノ效果ハ、其又效果トシテ、代理人ハ本人ト同一視セララルモノトス、何等ノ明文ナシト

代理人ハ

本人ト同一視セラ

雖モ、此原理ヲ認メサルヲ得ス、故ニ代理人カ瑕疵アル意思表示ヲ爲シタルトキハ、其取消權ハ、代理人ニ歸スルニアラス、本人之ヲ有ス、本人カ商人ナルトキハ、代理人カ商人ニアラサルモ、其行為ハ商行為トナルヘシ、但シ此第二ノ效果ハ、第一ノ效果アリ、其結果トシテ、生スルモノナルコトヲ注意セサルヘカラス、

五 代理ノ效果ノ生スル、特別ノ條件トシテ、代理人ニ代理權アルコト常トス、

代理權ハ代理ニ於ケル意思表示ノ法律上ノ效力ヲ、直接ニ本人ニ歸セシムル法律上ノ状態ナリ、權利ニハアラス、代理行為ヲ爲スコトヲ許ス状態ニハアラスカ故ナリ、直接トハ、法律上ノ效力カ代理人ヲ經由セスシテ、本人ニ歸スルコトヲ意味ス、(1)代理權ハ、法律行為ニ因リ、官廳ノ處分ニ因リ、裁判所カ不在者ノ財産管理人ヲ選スルカ如シ、(二五)又ハ直接ニ法律ノ規定ニ因リテ生ス、親權者ノ代理權ノ如シ、(八八)四、代理權

代理權

發生

代理權ノ授與

授與ノ法律行為ハ、吾民法ニ於テハ、委任其他ノ契約ト結合シテ存スル、特別ナル單獨行為ナリ、此單獨行為ハ、唯代理權ヲ授與スルコトヲ職分トスルモノナリ、委任組合等ノ契約ト結合シテ存スルノ外、獨立ニ存在スルモノニアラス、故ニ委任組合カ成立セサル場合ハ、勿論、其無効ナル場合ニ於テモ、代理權授與ノ行為モ、亦無効ナルヘシ、吾民法ニ於テハ、委任ニ因ルニ、アテサレハ、代理權ヲ授與スルコトヲ得サルモノトスルヲ通説トス、然シ仔細ニ之ヲ考フルトキハ、委任契約ニ、此如キ作用ヲ認ムルコトヲ得ス、此契約ハ、當事者間ニ或法律行為ヲ爲スヘキ債務關係ヲ生セシムル作用アルニ止マリ、(六四三)其法律行為ノ效力ヲ直接ニ本人ニ歸セシムル法律狀態ヲ作爲スルニ適スルモノニアラス、(六四三)本人ノ爲ニスルコトヲ示シテ、法律行為ヲ爲ヘキコトヲ委任スルハ、有效ナリ、然シ唯其方法ニ於テ、法律行為ヲ爲ヘキ債務ヲ生スルニ止マリ、其法律行為上ノ效力ヲ直接ニ本人ニ歸セシムルノ效力ヲ生セシムルニ適

通説ハ委任ニ因リテ代理權ヲ生スルモノトス

委任代理權
法定代理
任意代理
人

代理權限

セサルナリ、其代理權ハ、委任ト共ニ結合シテ存スル、別箇ノ法律行為、即チ本人ノ名ニ於テ、法律行為ヲ爲スコトヲ許ス行為ニ因リテ、授與セラレルモノト見ルヲ適當トスヘシ、其法律行為ハ、代理權ヲ受クヘキ者ノ承諾ヲ必要トセス、(2)代理權カ本人ノ授與行為ニ因リ、又ハ其授與ニ因リテ、代理權ヲ得タル者ノ授與行為ニ因リテ、生スルトキハ、其代理ヲ任意代理ト稱ス、他ノ原因ニ因リテ、代理權ヲ生スルトキハ、其代理ヲ法定代理ト稱シ、其代理人ヲ法定代理人ト謂フ、本人カ自然人ナルト、法人ナルトニ依リテ異ナルコトナシ、裁判所カ選任シタル、不在者ノ財産ノ管理人、法人ノ理事、清算人、親權者、後見人ハ、皆法定代理人ナリ、(3)代理權ノ作用ノ及フ範圍ヲ、代理權限ト稱ス、其權限ハ、法定代理ニ付キテハ、法律ノ規定ニ因リ、(二八、五三、七八、二)任意代理ニ付キテハ、授與行為ノ趣旨ヲ解釋スルニ因リテ定マル、代理人カ包括財産ノ管理ニ付キテ、代理權ヲ有スル場合ニ於テ、法律ノ規定又ハ授與行為ニ因リ、其權限カ定

代理權限ノ制限

メラレサルトキハ、民法ニ補充規定アリ、(一〇三)其代理人ハ、下ノ權限ヲ有スルモノトス、(イ)保存行為、財産上ノ損失ヲ豫防スル行為ヲ意味ス、時効ヲ中斷シ、燒失セントスル家屋ヲ救助スルニ適スル法律行為、廢敗シ易キ物品ノ賣却讓渡ノ如シ、(ロ)物又ハ權利ノ性質ヲ變セサル程度ニ於テ、其利用行為利用ハ物又ハ權利ノ、有利的ノ使用ナリ、土地、家屋ノ賃貸借、預金、著作權、狩獵權ヲ有償ニテ使用セシムルカ如キ即チ是ナリ、(ハ)物又ハ權利ノ性質ヲ變セサル程度ニ於ケル、改良行為、保存行為ニハアラサルモ、之ニ近クシテ、財産ノ價格ヲ増進スルニ適スル行為ナリ、家屋ニ相當ノ修繕ヲ爲スニ必要ナル法律行為、所有權ヨリ抵當權ノ制限ヲ除クカ如キ是ナリ、(3)代理權限内ニ屬スヘキ法律行為ニ付テハ、何等ノ制限ナシ、然シナカラ(イ)何人ト雖モ相手方ノ代理人ト爲リテ、自己ト法律行為ヲ爲スノ權限ヲ有スルヲ得ス、(一〇八)(ロ)又當事者雙方ノ代理人トナリテ、法律行為ヲ爲スノ權限ヲ有スルヲ得ス、(一〇八)此權限ヲ與フ

制限違反ノ結果

共同代理ノ復選代理人ノ選任權

ルトキハ、或ハ代理人自身又ハ當事者一方ノ利益ヲ計ルノ虞アルカ故ナリ、此制限ニ違反スルモ、其代理上ノ法律行為カ無効トナルニハアラス、無權代理人ニ關スル規定ノ適用アリ、當事者雙方ノ代理ヲ爲シタル場合ニ於テハ、當事者雙方カ追認ヲ爲ストキハ、代理ノ效力ヲ生スヘシ(二二三)又此規定ハ、公益規定ト見ルコトヲ得ス、任意規定ナルカ故ニ、相手方又ハ雙方ノ當事者カ代理人ニ對シテ此權限ヲ許ストキハ、此規定ノ適用ヲ除クコトヲ得ヘシ、但シ單ニ債務ヲ履行スルコトニ付キテハ代理權限ヲ有スルコトヲ妨ケス、(一〇八)故ニ辨濟期ニアル債務ノ履行ニ付キテハ、代理ノ制限ナシ、反之辨濟期ニアラサル債務ヲ履行スルニ付キテハ、代理權限ヲ有スルコトヲ得ス、(4)代理人カ共同シテ代理ヲ爲スコトヲ必要トスルトキハ、之ヲ共同代理ト稱ス、此場合ニ於テハ、各自カ代理權ヲ有スルモ、共同シテ代理スルニアラサレハ代理ノ效力ヲ生セサルナリ、(5)代理人ハ、複代理人ヲ選任スルノ權利ヲ有スル

コトアリ、其權利ハ、複代理人選任ノ代理權ニアラスシテ、代理人ナルカ故ニ有スル、其固有ノ權利ナリ、複代理人ハ、自己ヲ選任シタル代理人ノ權限内ニ屬スル法律行為ニ付キテ、直接ニ本人ヲ代理スルモノナリ、(二〇七)故ニ本人ノ名ニ於テ法律行為ヲ爲シ、代理人ノ名ニ於テスルニアラス、其效果ハ直接ニ本人ニ歸シ、代理人ニ歸スルニアラス、代理人ヨリ其ノ權限ノ全部、又ハ一部ヲ讓受ケタルニハアラス、故ニ其委任セラレタル權限ニ付キテハ、代理人ト竝ンテ、各々代理權ヲ有スルモノトス、
 複代理人ノ代理權ハ、代理人ノ授權行為ニ因リテ生ス、代理人カ任意代理人ナルトキハ、複代理人モ亦任意代理人ナリ、代理人カ法定代理人ナルトキハ、複代理人モ亦法定代理人ナリ、(二〇八)代理、人ト複代理人トハ、關係ハ、委任關係ナリ、本人ト複代理人トノ間ニハ、何等ノ關係ナシ、然シ民法ニ從ヘハ、其關係ニ付キテハ、複代理人ト同一視セラルヘキモノトス、(七二〇)故ニ代理人ト本人トノ間カ委任關係ナルトキハ、委任ノ規定ニ

複代理人ノ本人ト關係

任意代理人ノ選任權

依リテ律セラルヘク、又代理人ト本人トノ間カ、後見人ト被後見人トノ關係ナルトキハ、後見ニ關スル規定カ適用セラルヘシ、複代理人ト第三者トハ、關係カ、代理人ト同一ナルハ、(七二〇)論ヲ俟タス、複代理人ハ、又複代理人ヲ選任スルコトヲ得ルコト勿論ナリ、複代理人選任權ハ、發生ハ、任意代理人ナルト法定代理人タルトニ依リテ異ナル、(甲)任意代理人ハ、原則トシテ選任權ヲ有セス、其選任權ハ、(イ)本人ノ許諾ヲ得タルトキ、(ロ)又ハ疾病、旅行其他已ムヲ得サル事由アル場合ニ生ス、(二〇四)民法ニハ、唯委任ニ因ル代理人ニ付キテノミ、規定アルモ、其規定ハ、授權行為カ委任以外ノ契約ト結合スル場合ニ、準用セラルヘシ、此場合ニ於テ、代理人ハ、複代理人ノ選任及監督ニ付キ、本人ニ對シテ責任ヲ有ス、(五二〇)故ニ選任又ハ監督ニ付キテ不注意ナキトキハ、複代理人カ代理ニ依リ、本人ニ加ヘタル損害ニ付キ、代理人ハ賠償ノ債務ヲ負擔スルニ至ルコトナシ、若シ代理人カ、本人ノ指名スルトコロニ從ヒ、複代理人ヲ選任ス

法定代理人ノ選任

ルトキハ、選任及ヒ監督ニ付テ責任ヲ負フコトナク、唯其不適任又ハ不誠實ナルコトヲ知リテ之ヲ本人ニ通知セサルカ又ハ之ヲ解任スルコトヲ怠リタル場合ニ限り、本人ニ對シテ責任ヲ負フニ止マル、(五二〇)(乙) 法定代理人ハ、無條件ニテ選任權ヲ有ス、(二〇六)故ニ又其責任モ絕對ナリ、即チ複代理人カ代理ニ依リ、本人ニ加ヘタル損害ハ、代理人之ヲ賠償スヘキ地位ニ在ルモノトス、但シ已ム事ヲ得サル事由ニ因リテ、複代理人ヲ選任シタルトキハ、其責任ヲ絕對ナラシムル理由ナシ、此場合ニハ唯選任及監督ニ付キテ、其責ニ任スルノミ、(二〇〇六但書)(6)代理權ハ法定代理タルト任意代理タルトヲ問ハス、(イ)本人及代理人ノ死亡ニ因リ、(ロ)代理人カ禁治產又ハ破産ノ宣告ヲ受クルニ因リテ消滅ス、(一一二)猶ホ委任ニ因ル代理權ハ、委任ノ終了(六五三)ニ因リテ消滅ス、委任ニアラサル他ノ契約ニ因ル代理權ハ、其契約上ノ效力ノ消滅ト共ニ消滅ス、法定代理人ニハ特別ナル消滅原因アリ、法人ノ解散清算ノ終了、親權ヲ

代理權ノ消滅

代理權ノ消滅ト第三

代理權ノ消滅ト代理ノ效果ヲ生スル場合

代理權アルト同一視セラルヘキ場合

脱スル等枚擧ニ違アラス、代理權ノ消滅ハ、其事實ヲ知ラサル、第三者ニ對シテ、其效力ヲ及ボサス、但シ第三者カ過失ニ因リテ、其事實ヲ知ラサリシトキハ、此限ニアラス、故ニ代理權ノ消滅ハ、相對的ナリ、善意ニシテ過失ナキ第三者トノ關係ニ於テハ、代理權ハ存續スルモノナリ、(一一二) 六 代理人ニ代理權ナクモ、尙ホ代理ノ效果ヲ生スルコトナキニアラス、(1)代理權アルト同一視セラルヘキ場合、(2)追認ニ因リテ代理ノ效果ヲ生スル場合之ニ屬ス、 七 代理權アルト同一視セラルヘキ場合左ノ如シ、 (一)或人カ第三者ニ對シテ、他人ニ代理權ヲ與ヘタル旨ヲ表示シタル場合(二〇九)ニ於テハ、其他ハ、代理權ヲ有スルニハ、アラス、然シ其所謂代理權ヲ有スル範圍内ニ於テ、其他ハ、代理人トシテ、第三者トノ間ニ、爲シタル法律行為ハ、直接ニ本人ニ對シテ、其效力ヲ生

ス、第九條ニ於ケル「責ニ任ス」ト云フハ其行爲ニ拘束セラレ、恰モ代理權アルト同等ノ效果ヲ生スルコトヲ意味スルニ外ナラス、只其效果ヲ生セシムルノ債務アルコトヲ謂フニアラス、此場合ニ於テ第三者ハ他人ニ代理權アリト信スルヲ常トスルカ故ニ、代理權アルト同一ノ效果ヲ生セシムルコトカ、第三者保護ノ目的ヲ達スルニ適當ナルヘシ、此效果ノ生スルニハ第三者ニ對シ、他人ニ代理權ヲ與ヘタル旨ヲ表示セサルヘカラス、之ヲ與フル旨ヲ表示スルヲ以テ足レリトセス、

(二) 代理人カ其權限外ノ行爲ヲ爲シタル場合ニ於テ、第三者カ其權限アリト信スヘキ正當ノ理由ヲ有セシトキ(一〇〇)ハ、其行爲ニ付キテ、代理權アルト同一ノ效果ヲ生ス、(一〇九)此結果ノ生スルニハ(イ) 代理人カ、代理權ヲ有シ、其權限ヲ踰越シタル場合ニ限ル、全ク何等ノ代理權ヲ有セサル場合ニハ、此效果ヲ生セス、(ロ) 第三者カ其權

代理人カ其權限外ノ行爲ヲ爲シタル場合ニ於テ、第三者カ其權限アリト信スヘキ正當ノ理由ヲ有セシトキ

無權代理ト追認

無權代理人ノ契約

限アリト信スルヲ要ス、故ニ權限ナキコトヲ知リタルトキハ、此效果ヲ生セス、又第三者カ之ヲ信スルニ至リタル理由カ、正當ナルコトヲ要ス、換言スレハ其理由カ其信仰ヲ生スルニ適當ナルモノナルコトヲ要ス、第三者ニ過失ナキコトヲ要スルニアラス、委任狀ニ示サレタル權限ヨリ狭小ナル代理權ヲ與ヘタル場合ノ如キハ本問ノ場合ニ入ルヘシ、

八 代理人カ、代理權ヲ有セスシテ代理ヲ爲シ、(全ク代理權ヲ有セサルト別セ)而モ之ヲ有スルト同一視スヘカラサル場合ハ、之ヲ無權代理ト稱ス、其代理カ契約ヲ爲スコトニ存スルト、又ハ單獨行爲ナルトニ依リテ、其效力ヲ異ニス、

九 代理權ヲ有セサル者カ、他人ノ代理人トシテ契約ヲ爲シタルトキハ、其契約ハ無効ニハアラス、效力ヲ生スルヤ否ヤ未定ノ状態ニ在リ、而シテ其效力ハ本人ハ追認ハ有無ニ依リテ決定セラル、本人ハ此契約ヲ

追認シ又ハ其追認ヲ拒絕スル權利ヲ有ス(一三) (一)此追認ハ其契約上ノ效力ヲ生セシメント欲スル意思表示ナリ之ニ因リテ其契約上ノ效力ハ直接ニ本人ニ於テ生ス然シナカラ追認ハ事後ニ於ケル代理權授與ノ行爲ニアラス、法律上ノ理論ニ放任スルトキハ追認ノ效力ハ追認ノ時ヨリ將來ニ向ツテ生スヘク契約ノ時ニ遡ルモノニアラス然シ民法ハ追認カ遡及ノ效力ヲ有スル事ヲ原則トシ此原則ヲ破ラントスルニハ別段ノ意思表示ヲ要スルモノトス(一六)其效力ノ遡及スル場合ニ於テ第三者ノ權利ハ追認ニ因リテ害セラルル事ナシ甲カ乙ノ代理人トシテ其不動産ヲ丙ニ渡讓ス乙之ヲ追認スルモ其時マテニ乙カ其不動産上ニ設定シタル抵當權ハ依然トシテ存續スルカ如シ、追認カ其效力ヲ生スルニハ其效力發生ノ當時本人カ存在シ追認セラレタル契約上ノ權利ヲ享有スル能力ヲ具フルコトヲ必要トシ且ツ十分トス、追認ハ契約ノ相手方ニ對シテ有效ニ之ヲ爲スコトヲ得(三二)然

シ吾民法ニ於テハ無權代理人ニ對スル追認モ全々無効ニハアラス相手方カ其追認ヲ知リタルトキハ追認ノ效力ヲ生シ知ラサル間ハ之ニ對シテ追認ノ效力ヲ生セサルモノトス此場合ニ於テモ追認ハ本人ヲ拘束ス其ノ結果トシテ本人ハ最早追認ヲ拒絕スルコトヲ得サルヘシ(二)本人ハ此契約ハ追認ヲ拒絕スルノ權利ヲ有ス(三二) 此拒絕ハ追認權ヲ拋棄スル意思表示ナリ故ニ拒絕後ニ於テハ最早追認ヲ爲ス事ヲ得ス拒絕ハ契約ノ相手方ニ對シテ有效ニ之ヲ爲ス事ヲ得然シ代理人ニ對スル拒絕モ無効ニハアラス唯相手方カ其拒絕ヲ知ラサル間ハ之ニ對シテ效ナキモノトス(三一) (三)無權代理人ノ相手方ハ本人ニ對シテ追認ヲ爲スヤ否ヤヲ確答スヘキ旨ヲ催告スル權利ヲ有ス(一四) 相手方ハ本人ノ追認又ハ拒絕ノ何レカニ決スルニ因リテ早ク其地位ヲ確定セシムルニ付キ正當ノ希望ヲ有スルカ故ナリ其催告ヲ爲スニハ本人カ確答ヲ爲スニ相當ノ期間ヲ定メサルヘカラス(一四)本人ニ對

考ノ期間ヲ與フルコトヲ必要トスルカ故ナリ、其指定期間内ニ、確答カ相手方ニ到達セサルトキハ、其契約ノ追認ヲ拒絶シタルモノト看做サレ其以後ニ於テ追認ヲ爲スコトヲ得サルノ結果トナル、(一四) (四)相手方ハ、契約ノ取消權ヲ有ス、(一五) 相手方カ催告權ヲ行フ場合ハ、契約上ノ效力ヲ欲セサルニアラサル場合ナリ、取消權ヲ行フ場合ハ、其契約上ノ效力ヲ欲セサル場合ナルヘシ、取消ノ效果ハ、其契約ナカリシト同等ノ状態ヲ生セシム、故ニ契約上ノ效力ヲ生スルコト能ハス、固ヨリ追認ヲ爲スコトヲ得ス、但シ此取消權ハ、(1) 契約ノ當時、相手方カ代理權ナキコトヲ知リタルトキハ發生セス、(2) 又本人ノ追認アリタルトキハ消滅ス、(一五) 本人カ追認ヲ拒絶シタルトキハ、取消ノ必要ナク又取消スヘキ物體ナシ、(五) 代理人カ其代理權ヲ證明スルコト能ハク、且ツ本人ノ追認ヲ得サルトキハ、追認ヲ拒絶セラレ、又ハ拒絶セラレタルモノト看做サレタルトキハ、其契約ハ爲効トナル、代理人ト相手方トノ契約

トシテ、有效ニ變スル理由ナシ、本人ニ於テ效力ヲ生セシメント欲スル意思表示ヨリ成立スルカ故ナリ、然シナカラ、此場合ニ於テ相手方ハ代理人ニ對シ、契約ノ履行又ハ損害賠償何レカノ一ヲ請求スルコトヲ得而シテ其選擇權ハ相手方ニ屬ス、(一七) 此選擇權アル請求權ハ、第一百十七條ノ特別ノ規定アルカ故ニ、生スル法定ノ請求權ナリ、此規定ハ代理權アリト信シタル相手方ノ損害ヲ免レシメンカ爲ニ、適當ナルカ故ニ設ケラル、故ニ此請求權ハ、(1) 相手方カ契約ノ當時代理權ナキ事ヲ知ルカ、又ハ過失ニ因リテ之ヲ知ラサリシトキハ生スルコトナシ、(2) 代理人トシテ契約ヲ爲シタルモノカ、其能力ヲ有セサルトキ亦同シ、無能力者保護ノ趣旨ヲ一貫センカ爲メナルヘシ、然シナカラ法定代理人カ契約ヲ爲スコトニ同意スルモ、此責任ヲ負ハシムルノ力ヲ有セス、此請求權ハ、法定ノ選擇債權ナリ、相手方カ契約ノ履行ヲ請求スルトキハ、最早損害賠償ヲ求ムルコトヲ得ス、契約ノ履行ハ、無權代理人カ締結シタル

契約カ、無權代理人トノ間ニ有效ト變スルト假、定セ、ハ、請求シ得ヘキ其履行ヲ意味ス、本人ヲシテ其契約ヲ更、ニ、締結セシムヘキコトヲ、盡力スルコトヲ意味スルニアラス、其履行ヲ請求シタルトキハ、相手方ハ自己カ爲スヘキ反對給付ヲ爲ササルヘカラサルハ論ヲ俟タス、又本條ハ履行ノ請求ヲ許スカ故ニ、本人自身ニアラサレハ履行スルコト能ハサル場合、及其契約カ債務的ニアラサルトキハ、其適用ナキコト當然ナリ、此場合ニ於テハ、只損害賠償ヲ請求シ得ルノミト解セサルヘカラス、相手方カ請求シ得ヘキ賠償額ハ、契約カ本人ノ追認拒絕ニ因リテ、其效力ヲ生スルコト能ハサルカ故ニ、生シタル損害ニ依リテ、之ヲ定ムヘク、契約カ有效ナルコトヲ信賴シタルカ故ニ、生シタル損害ノミニ止ムルニアラス、故ニ契約ノ目的物カ騰貴シタルニ因リテ、受クヘカリシ利益ヲモ賠償セシムルコトヲ得ヘシ、

一〇 代理權ヲ有セサル者ニ付キテ、生シタル單獨行爲ノ效力ハ、(1)

無權代理人ト單獨行爲ヲ爲シタル場合

無權代理人カ爲シタル單獨行爲ト、(2)之ニ對シテ爲サレタル單獨行爲トニ依リテ異ナル、(一)無權代理人カ單獨行爲ヲ爲シタルトキハ、其行爲カ特定ノ人ニ對セサル意思表示ヨリ成立スルトキハ、全々無効ナリ、反之特定ノ人ニ對スル意思表示ヨリ成立スルトキハ、其行爲ハ相手方カ、(1)代理權ナクシテ之ヲ爲ス事ニ同意スルカ、(2)又ハ相手方カ意思表示ヲ受ケタル時、遲滯ナク其代理權ナキ事ヲ主張セサル場合ニ限リ其行爲ノ效力ハ、本人ノ追認ニ因リテ決定セラル、(一)此場合ニ於テハ、本人ノ追認ニ因リテ、效力ヲ生スルモノトスルモ、相手方ニ迷惑ヲ及ホスコトナキカ故ナリ、但シ其何レノ場合ヲ問ハス、無權代理人カ、自己ニ代理權アリト稱スルコトヲ必要トス、(一)猶ホ此行爲ノ相手方ハ、本人ニ對シテ追認ヲ爲スヤ否ヤヲ催告スルノ權利ヲ有シ、其催告ヲ爲スモ指定ノ期間内ニ確答ナキトキハ、其追認ヲ拒絕シタルモノト看做サル、(二)相手方カ代理權ナクシテ爲スコトニ同意シタルトキ

單獨行為
ノ相手方
ト爲リ
タル場合

ハ、取消權ヲ有セス、(一一八)又損害賠償ヲ求ムル權利ヲ有セス、(一一七)
(二)無權代理人ニ對シテ爲サレタル意思表示ヨリ、成立スル單獨行為ハ、
無權代理人ノ同意ヲ得テ、之ヲ爲シタル場合ニ限り、其行為ハ本人ノ追
認ニ因リテ效力ヲ生ス、(一一八)又表意者ハ、本人ニ對シテ追認スルヤ
否ヤヲ催告スル權利ヲ有スルモノトス、(一一四)其立法上ノ理由ハ不明
ナリ、

一一 代理ニ關スル規定ハ出來得ル限りニ於テ、意思表示ニアラサル
心裡表示ニ準用セラルヘシ、

第六項 條件附法律行為

條件ノ意

一 條件トハ、表意者カ其意思表示ニ附加シタル、任意的ノ制限ニシテ、
其意思表示ヨリ生スル法律行為上ノ效力ノ發生又ハ消滅ヲ、客觀的ニ
不確定ナル、未來ノ事實ノ成否ニ繫ラシムルモノヲ謂フ、凡ソ吾人カ
自己ノ意思表示ニ因リテ、法律上ノ關係ヲ定メントスルニ當リ、無制限

ニ法律上ノ效力ヲ生セシメント欲セバ、將來ニ於テ生スルコトアルヘ
キ事情ヲ考ヘ、之ニ應センカ爲メニ、或制限ノ下ニ、法律上ノ效力ヲ發生
ス可キコトヲ欲スル場合アリ、余カ汝ノ地面ヲ買フ可シト約スルハ、無
條件ノ賣買ナリ、余ノ授爵ノ囑ニシテ眞ナリトセハ、余ハ地面ヲ買フ可
シ、又ハ汝ノ地面ヲ買フ可シ、但シ余ノ授爵ノ囑ニシテ不實ナラハ、買ハ
サルコトト爲ス可シト約スル場合ニ於テハ、條件附賣買アリ、(1)故ニ
條件ハ、意思表示ニ之ヲ附加シ、其意思表示上ノ效力ヲ制限スルモノナ
リ、條件附法律行為ト云フモ、其行為ノ要分タル意思表示ニ條件ノ附セ
ラレタル事ヲ云フニ外ナラス、又附加ト云フモ、無條件ノ意思表示アリ、
而シテ之ニ條件カ附加セラルルノ謂ニアラス、條件附、意思表示ト稱ス
ル單一ノ意思表示アル事ヲ意味ス、條件附賣買ニ於ケル條件ハ、賣買上
ノ效力ヲ制限スルモノナリ、條件附賣買ハ、此制限アル賣買ニシテ、之ト
異ナル別種ノ行為賣買以外ト見ルハ、誤ナリ、(2)此制限ハ當事者ノ

條件事實

任意ニ基クモノナル事ヲ要ス、法律上又ハ事物ノ性質上當然ニ存スル制限ハ所謂法的條件ニシテ眞ノ條件ニアラス、遺贈ノ效力ハ法律上當然ニ遺贈者カ受遺者ヨリ先キニ死亡スルコトヲ要件トシテ生ス、故ニ遺贈ノ效力ハ此要件ニ依リテ其發生ヲ制限セラルト雖モ此制限ハ條件トナラス、未來ニ生スル果實ノ讓渡ハ未來ニ生スコトヲ條件トスルモノニアラス、此讓渡ノ効力ノ發生ハ事物ノ性質上未來ニ於テ其果實ノ生スルコトノ制限ヲ受クルモノナルカ故ナリ、若シ當事者カ、特ニ此等ノ制限ヲ此等ノ意思表示ニ附加スルモ、餘計ノコトヲ爲シタルニ過キス、之カ爲メニ條件ト爲ルコトナシ、(3)條件トナルヘキ事實條件事實ハ未來ニ生スルコトアルヘキ事實ナルコトヲ要ス、現在及ヒ過去ハ事實ヲ條件中ニ入ルルコトヲ得ス、現在橫濱ニ何々船カ入港シ居ルナラハ、又ハ其船カ昨日出港セシナラハ云々ト約スルモ、條件ハ存セス其實無條件ナリ、蓋シ條件附加ハ目的ハ意思表示ノ效力ヲ未定ナラシ

條件種類
停止條件

解除條件

ムルコトニ存スルカ故ナリ、又條件事實ハ未來ニ生スルコト不確定ナル事實ナルコトヲ要ス、固ヨリ意思表示ノ當時ニ於ケル吾人ノ知識ニ照シテ不確定ナルノ意ナリ、當事者丈ニ不確定ノモノナルモ不可ナリ

二 條件ニ二種アリ、停止條件、解除條件是ナリ、停止條件ハ意思表示ヨリ生スル法律行為上ノ效力ノ發生ヲ不確定ナラシムル條件ナリ、若シ何女ト結婚ヲ爲サハ、若干圓ヲ與ヘント約スル場合ノ如シ、贈與ノ效力ハ婚姻スルヤ否ヤニ依リテ決定セラル、此場合ニ於テ當事者ハ、二方面ニ意思表示ノ效力ヲ制限ス、其一方面ハ條件成就ノ場合ニ於テ其效力ヲ生セシメントスルコトニ存シ、其他方面ハ條件カ成就セサル場合ニ於テハ其效力ヲ生スルコト能ハサラシムルコトニ存ス、

解除條件ハ、意思表示ヨリ生スル法律行為上ノ效力ノ消滅ヲ不確定ナラシムル條件ナリ、君ニ若干圓ヲ與フヘシ、然シ後日君若シ某女ヲ離婚スルカ如キコトアラハ、之ヲ與エサルコトト爲ス可シト約スル場合ノ

條件ヲ附
セラルヘ
キ法律行
爲

如シ、贈與ノ效力ハ既ニ生スルモ、其效力ヲ失フヤ否ヤハ、離婚スルヤ否
 ヤニ依リテ決定セラル、此場合ニ於テ當事者ハ、意思表示ノ效力ヲ、無制
 限ニ生セシメントスルニアラス、又、自ラ、二方面ノ制限ヲ爲ス、條件成就
 ノ場合ニ於テハ、效力ヲ失ハシメ、其成就セサル場合ニ於テハ、其效力ヲ
 永續セシメントスルモノナリ、停止條件附意思表示ト同シク、單一ナル
 意思表示ナリ、無條件ノ意思表示ノ外ニ、其效力ヲ消滅セシメントスル、
 停止條件附意思表示カ別ニ存スルモノト解セサルコトヲ正當トス、
 三 法律行爲ハ、條件ニ親シムモノト然ラサルモノトアリ、親族法ニ特
 有ナル法律行爲養子縁組婚姻、離縁離婚、私生兒ノ認知等ハ、條件ニ親マ
 サルモノトス、之ニ條件ヲ附シ、其法律上ノ效果ヲ不明ナラシムル事カ、
 善良ノ風俗ニ反スルカ故ナリ、財産法上ハ、法律行爲ニ付キテハ、契約ト
 單、獨、行、爲、トヲ區別ス可シ、契約ハ、條件ニ親シム行爲ナリ、反之、單獨行爲
 ハ、條件ニ親マサルモノナルコトヲ原則トス、此行爲ハ、行爲者一方ノ意

條件事實
ノ種類
偶成條件

思表示ニ依リテ成立シ、之ニ因リテ法律上ノ影響ヲ受クヘキ者ト雖モ、
 何等ノ異議ヲ唱フルノ餘地ナキモノナリ、故ニ此意思表示ニ條件ヲ附
 スルコトヲ許シ、法律上ノ效果ヲ未定ナラシムルコトヲ許サハ、表意者
 一方ノ都合ノ爲メニハ、例ハ相手方ノ迷惑ヲ顧ミサルモノト爲リ、道義
 ノ觀念ニ背馳スルモノナリ、相殺ニ條件ヲ附スルコトヲ許サル特別ノ
 明文アルハ、(五〇六)此理由ニ基ク、故ニ又相手方カ條件ヲ附スルコトニ
 同意スルカ又ハ單獨行爲カ相手方ニ何等ノ損失ヲ生セシメサルモノ
 ナルトキハ、之ニ條件ヲ附スルコトヲ妨ケス、免除(五一九)遺贈ニ條件ヲ
 附スルコトヲ妨サルカ如シ(六、〇九)

四 條件事實ハ、其成否カ、當事者ノ意思ニ依リ左右セラレサルモノナ
 ルカ、又ハ少クトモ其一方ノ意思ニ依リテ、左右セラレサルモノナルコ
 トアリ、之ヲ偶成條件ト稱ス、或ハ全ク人意ニ左右セラレサル、外界ノ
 出來事ナルコトアリ、例ハ雨降ラハ、云々ト約スル場合ノ如シ、或ハ又第

三者ノ意思ニ左右セラルルモノナルコトアリ、何某カ承知セハ、云々ト約スル場合ノ如シ、或ハ又當事者一方ノ意思ト、第三者ノ意思トニ依リテ左右セラルルコトアリ、汝カ何某ト結婚ヲ爲サハ、云々ト約スル場合ノ如シ、

隨意條件

條件事實ハ、其成否カ當事者ノ意思ニ依リテ、左右セラルルモノナルコトアリ、之ヲ隨意條件ト稱ス、當事者雙方ノ意思ニ依リテ、左右セラルルコトアリ、若シ汝カ余ニ若干圓ヲ貸與セハ、云々ス可シト約スル場合ノ如シ、當事者一方ノ意思ニ依リテ、左右セラルルコトアリ、當事者一方ノ隨意條件ハ、純隨意條件ト隨意條件トニ細別スヘシ、純隨意條件ハ、當事者ノ一方カ、何等ノ顧慮ヲ要セス、一ニ其意思ノミニ依リテ、成否ヲ決定シ得ル條件ナリ、余ノ氣ニ入ラハ、貰ハント約スル場合ノ如シ、隨意條件トハ、當事者ノ一方カ其意思ニ依リテ成否ヲ決定セントスルニ當リ、種々ノ事情ヲ顧慮セサル可ラサル場合ニ存ス、汝若シ何

純隨意條件

純隨意條件
行爲ノ效力

某ト結婚スルコトヲ欲セハ、若シ余ノ爲メニ京都ニ旅行スル事ヲ辭セサレハ、汝ニ若干圓ヲ與フ可シト約スル場合ノ如シ、吾民法ノ解釋トシテ、隨意條件ハ、意思表示ノ效力ヲ制限スルニ適ス、純隨意條件ト雖モ、債權者ト爲ルヘキ者ノ意思ニ依リテ、成否ノ決定セララルモノハ、有效ニ意思表示ノ效力ヲ制限スルニ適スルモノトス、汝ノ欲スル場合ニ於テ、若干圓ヲ汝ニ與ヘント約スル場合ノ如シ、反之、債務者ト爲ルヘキ者ノ意思ニ依リテ、成否ノ決定セララルモノニ付キテハ、之ヲ(1)解除條件ト爲シタル場合ニ於テハ、其條件附法律行爲ハ、有效タルコトヲ妨ケス、(2)之ヲ停止條件ト爲シタル場合ニ於テハ、其條件附法律行爲ハ、無効トス、(三)汝ニ若干圓ヲ贈與スルモ、余ノ都合ニテ、後日之ヲ與ヘサルコトトナス事アルヘシト約スルハ、有效ナルモ、余ノ都合ニテ、後日若干圓ヲ汝ニ與フ可シト約スルハ、無効ナリトスルナリ、蓋シ甲ノ場合ニ於テハ、法律行爲ニ效力ヲ與フルコトヲ得ル丈ニ、其行爲ハ、捕捉シ得可シ、贈

與者カ其都合ヲ云ハサル以前ニ於テ死亡スルトキハ其效力ハ絕對ニ確定スレハナリ、反之乙ノ場合ニ於テハ、到底其效力ヲ認ムルニ適スル丈ニ其行爲ハ捕捉シ得ラレサルモノナリ、殆ント雲ヲツカムカ如キ状態ニ在ルモノナルカ故ナリ、

條件ノ成
否未定中
ノ効力

債務者カ同時ニ債權者トナルヘキ場合ニ於テハ、其純隨意停止條件附法律行爲ハ有效タル事ヲ妨ケストスルヲ通説トス、此場合ニ於テハ純隨意條件ナキモノト解スヘキカ、一見ノ上余ノ氣ニ入ラハ、汝ノ家屋ヲ借用ス可シト約スル場合ノ如シ、故ニ其約束ニ付キテ證書ヲ作製スレハ、氣ニ入りタル場合ニ於テ、更ニ證文ヲ差入ルルニ及ハス、又氣ニ入ルヤ否ヤ未定ノ間ニ於テハ、家主ハ其家屋ヲ他人ニ貸與スルコトヲ得ス、
五 條件ハ成否未定中ニ於テハ、法律行爲ハ其效力ヲ生スル事ナシ、生スルヤ否ヤ未定ノ状態ニ在リ、然シカラ (1) 所謂期待權及ヒ責務ナル法律上ノ状態ヲ生ス、期待權ハ現在ニ於テ存スル状態ニシテ、將來條件

條件附權
利ノ處分
相續等

成就セハ生スヘキ權利ヲ吸收スルコトヲ本分トス、責務モ亦現存スル法律上ノ状態ニシテ、將來條件成就セハ生スヘキ責務ヲ吸收スルコトヲ本分トス、權利ニアラス又義務ニアラス一種ノ法律上ノ状態ナリ、或ハ之ヲ條件附權利義務ト稱スルモノアルモ、余ハ之レニ贊セス、條件附權利義務ハ、條件ハ成就ニ因リテ生ス可キ權利又ハ義務ヲ總稱ス、未來ハ權利義務ナリ例ヘハ、債權債務ナルコトアルヘク、又物權ナルコトアルヘシ、此未來ノ權利義務ハ、現存スル權利義務ニアラサルモ、之ト同一ノ規定ニ從ヒテ、處分相續保存又ハ擔保スルコトヲ得ルハ當然ナリ、
一(二九) 未來ノ債權ヲ今日讓渡ス、コトヲ得可ク(此場合ニ於テ期待權ハ讓渡セラルルニアラス、讓渡人ニ存ス、故ニ其ノ債權成立セハ讓渡人ヲ經由シテ讓受人ニ移轉ス)而シテ其讓渡ハ、之ヲ債務者ト爲ルヘキ者ニ通知スヘシ(處分其未來ノ債權ハ、條件成就ノ場合ニ於テハ相續人ニ於テ生ス(相續質權、抵當權又ハ保證人ニ依リテ擔保セララルコトヲ得、

不動產物權上ノ未來ノ請求權ニ付キテハ、假登記ヲ爲スコトヲ得ヘシ、
 (保存登記法二) (2) 條件附法律行為ノ各當事者カ、條件ノ成否未定中ニ
 於テ、條件ノ成就ニ因リ其行為ヨリ生スヘキ相手方ノ利益ヲ害スル法
 律行為債務的行為ハ、侵害行為トナラスヲ爲シタルトキハ其侵害ノ範
 圍内ニ於テハ無効トス、事實上ノ侵害行為ヲ爲シタルトキハ、相手方
 ニ對シ其損害ヲ賠償セサルヘカラス、(一ニ八) 例ヘハ停止條件附ニテ所
 有權ヲ讓渡シタル者カ、更ニ之ヲ第三者ニ讓渡ストキハ、其第三者ニ對
 スル讓渡ハ、條件成就ノ場合ニ於テハ、無効トナルヘシ、又其所有權ノ目
 的物ヲ破壊シタルトキハ、條件成就ノ場合ニ於テ、相手方ニ對シテ損害
 賠償ノ債務ヲ負擔スヘシ、此賠償ノ債務ハ、第二百二十八條カ各當事者ニ
 負ハシメタル、相手方ノ利益不可侵害ノ債務ヲ履行セサル結果ト見ル
 ヘシ、但シ同條ノ規定ハ唯此場合ノミヲ定メタル規定ト解ス可ラス、侵
 害的法律行為ヲ無効トスルコトヲモ定ムルモノナリ、本條ハ所謂期待

條件ノ成
否ノ決定

權ヲ全フセシムルコトヲ其目的トスルカ故ナリ、

六、條件ノ成就トハ、條件事實カ實現スルコトヲ謂フ、汝某ト結婚ヲ爲
 サハ、云々ト約シタル場合ニ於テ、某女ト結婚ヲ爲シタルカ如シ、條件
 ノ不成就トハ、條件事實カ實現セサルコト確定スルコトヲ意味ス、前例
 ニ於テ某女ト結婚ヲ爲サルコトニ確定スルカ如シ、要スルニ、條件ノ
 成否ハ、條件事實ヲ合理的ニ解釋スルニ依リテ定マル、然シナカラ、條
 件ノ成就ニ因リテ不利益ヲ受クヘキ當事者カ、故意ニ其ノ條件ノ成就
 ヲ妨ケタルトキハ、相手方ハ、其ノ條件ヲ成就シタルモノト看做スコト
 ヲ得、(一三〇) 故意トハ、自己ノ所爲カ、條件ノ成就ヲ妨クル結果ト爲ルヘ
 キコトヲ知り、且ツ之ヲ可トスルコトヲ謂フ、其妨害カ不誠實ナルト否
 トハ之レヲ問ハス、例ハ甲ニ對シ汝某女ト結婚セハ、云々ト約シタル場
 合ニ於テ、某女カ他ノ人ト結婚スルコトニ運動ヲ爲シ、其功ヲ奏シタル
 場合ニ於テハ、其妨害カ如何ナル理由ニ出タルヲ問ハス、甲ハ某ト結婚

シタルト同一ノ結果ヲ生セシムルコトヲ得ヘシ、當然ニ條件成就ノ結果ヲ生スルニアラス、甲カ其結果ヲ欲スル旨ヲ表示スルコトヲ必要トス、

條件成就ノ效力

條件カ成就スルトキハ、(1)停止條件附法律行為ハ其效力ヲ生ス、(2)停止條件附債務行為ニアリテハ債權ヲ生シ停止條件附物權的法律行為ニアリテハ物權上ノ變動ヲ生スヘシ、(2)解除條件附法律行為ハ其ノ效力ヲ失フ(一七)故ニ或場合ニ於テハ當然ノ原狀回復ヲ生ス、解除條件附貸借ニ於テハ貸借ノ效力ハ消滅スヘク、解除條件附讓渡ニ於テハ讓渡サレタル權利ハ當然ニ讓渡人ニ復歸ス然シナカラ其權利ニ付キテ讓渡人ハ讓受人ノ承繼人トナラス、(3)法律行為上ノ效力ノ發生又ハ消滅ハ條件成就ノ時ヨリ將來ニ向ッテ生ス(一七)但シ當事者カ條件成就ノ效果ヲ其成就以前如何ナル時ニテモ可ナリニ遡ラシムル意思表示ヲ爲シタルトキハ之ヲ有效トス(一七、二)故ニ此

條件不成就ノ效力

意思表示ハ準物權的ノ效力ヲ有ス、當然ニ條件成就ノ效果ヲ一定ノ時ニ遡ラシム、之ヲ遡ラシメタルト同一ノ結果ヲ作ルヘキ債務ヲ生スルニハアラス、

條件カ成就セサルトキハ、停止條件附法律行為カ其效力ヲ生スルコトナシ、解除條件附法律行為ハ其效力ヲ失ハス、其效力ハ依然トシテ存續ス、故ニ當事者ノ一方カ條件ノ成否未定中ニ於テ爲シタル相手方ノ利益條件ノ成就ニ因リテ生スルヲ侵害スル行為ハ無効トナルコトナク、又賠償ノ義務ヲ生スルコトナシ、

假裝條件

七 條件ノ外見ヲ呈シ、而モ條件ニアラサルモノヲ假裝條件ト稱ス、現在條件過去條件不法條件不能條件是ナリ、其民法上ノ取扱左ノ如シ、

現在條件過去條件

(1)現在條件ハ現在ノ事實ヲ以テ條件事實ト爲スモノナリ、過去條件ハ過去ノ事實ヲ以テ條件事實ト爲スモノナリ、故ニ行為ノ當時ニ於テ其條件ノ成否ハ既ニ確定ス、(イ)既ニ成就セル場合ニ於テ其條件カ停止條

件のナルトキハ其法律行為ハ無條件トシ無制限ニ其效力ヲ生シ解除條件のナルトキハ其法律行為ハ無効トナルハ當然ナリ(一三三)(ロ)反之不成就カ確定セル場合ニ於テ其條件カ停止條件のナルトキハ其法律行為ハ無効トナリ解除條件のナルトキハ無條件ノ法律行為トナルモ當然ナリ(二三一)(イ)ノ場合ニ於テ當事者カ條件ノ成就又ハ不成就ヲ知ラサル間ハ第二百二十八條及ヒ第二百二十九條ノ規定ヲ準用スルモノト爲スハ其當ヲ得タルモノニアラス(2)不法條件ハ條件事實カ法律行為ヲ不法ナラシムルモノナリ汝惡事ヲ爲スコトアラハ制裁トシテ若干圖ヲ余ニ與フ可シト約スルトキハ條件事實ハ不法ナリ然シ不法條件ニハアラス其法律行為ハ有效ナリ不法ハ法律違反ヲ意味ス不法條件附法律行為ハ停止條件附ナルト解除條件附ナルト問ハス無効ナリ不法ノ行為ヲ爲ササルヲ以テ條件事實ト爲ス場合モ亦同一ナリ(二三三)(3)不能條件ハ條件事實ノ成就カ客觀的ニ不能ナルモノナリ

不法條件

不能條件

故ニ條件ノ不成就カ確定セル場合トハ異ナル法律行為ノ當時ニ於ケル知識ニ照シテ能不能ヲ決ス可シ不能條件ハ停止條件ナルトキハ法律行為ヲ無効ナラシメ解除條件ナルトキハ法律行為ヲ無條件トシ無制限ニ效力ヲ生セシム(二三三)

八 條件ニ關スル規定ハ意思表示ニアラサル心理表示ニ準用セラルヘキ餘地ナシ、

第七項 期限附法律行為

一 期限ハ表意者カ其意思表示ニ附加シタル任意的ノ制限ニシテ其意思表示上ノ債務ノ履行又ハ意思表示上ノ效力ノ消滅ヲ將來ニ生スルコト確實ナル事實ノ到來ニ繫ラシムルモノナリ、吾人カ自己ノ意思表示ニ因リテ法律上ノ關係ヲ定メントスルニ當リ無制限ニ法律上ノ效力ヲ生セシムルコトヲ欲セス將來ニ於ケル或時期ヲ見計ラヒテ法律關係ヲ定メント欲スル場合アリ今日約束シタル賣買ヲ本年末日

期限ノ意

期限附法律行為

ニ履行スヘシト約シ本年末日マテ所有權ヲ讓渡シ置クヘシト約スルカ如シ此場合ニ於テ期限附賣買讓渡アリ、(1)期限ハ意思表示ニ之ヲ附加シ其意思表示上ノ效力又ハ其結果ヲ制限スルモノナリ期限附法律行為ト云フモ其實意表示ニ期限ノ附加セラレタルニ外ナラス又附加ト云フモ無期限ノ意思表示アリ同時ニ期限ノ制限アルニハアラス此制限アル意思表示ナリ故ニ期限附賣買ハ期限ノ制限アル賣買ニシテ期限附賣買ト稱スル別種ノ行為賣買以外ノト見ルハ誤ナリ、(2)此制限ハ當事者ノ任意ニ出ツルモノナルコトヲ要ス法律上又ハ事物ノ性質上當然ニ存スル制限(參照二七八、三)及ヒ裁判所ノ裁判ニ依リテ定マルモノハ(六、九)此處ニ謂フ所ノ期限ニハアラス、吾民法ハ債務履行ノ時期モ亦之ヲ期限ト稱ス(四、二)然シ履行ノ時期ハ必スシモ此處ニ謂フ所ノ期限ニアラサルハ當然ナリ、(3)又期限ト爲ルヘキ事實期限事實ハ未來ニ生スルコト確實ナルモノナルコトヲ要ス條件ト異ナル唯

債務履行ノ時期ト期限

期限ノ種類
始期

終期

一ノ點ナリ、
二 期限ニ二種アリ始期終期是ナリ、
始期ハ意思表示上ノ債務ノ履行ヲ停止スルモノナリ吾民法上始期ハ只債務的法律行為ノミニ之ヲ附スルコトヲ得ヘシ理由ナキ規定ナルモ、モ、法文ノ明示スルトコロナルカ故ニ已ムヲ得サルナリ然シ吾民法ニ於テモ當事者カ法律行為ノ效力ノ發生ヲ未來ニ生スルコト確定セル事實ニ繫ラシムルコトヲ許ササルニアラサルヘシ本年末日ニ於テ所有權ヲ讓渡スヘキ旨ヲ本日約スルカ如シ此場合ニ於ケル其制限ハ吾民法上始期ト云フコトヲ得サルヘク此點ニ關スル規定ヲ缺クモノナリ始期及ヒ停止條件ニ關スル規定ヲ準用スヘシ(尙本第百六十六條第二項參照)
終期ハ意思表示上ノ效力ノ消滅ヲ停止スルモノナリ本年末日マテ所有權ヲ讓渡シ置クヘシト約スルハ終期附讓渡ナリ吾民法上終期ハ如何ナル法律行為ニ付キテモ之ヲ附スルコトヲ得ルモノトス始期ト對

期限ノ附
セラルル
法律行為

照シテ奇異ノ感ナクハアラス、

三 法律行為ハ期限ニ親シムモノト然ラサルモノトアリ、法律上ノ效力カ期限附ノモノト爲ルコトカ善良ノ風俗ニ反スル場合ニ於テハ、其法律行為ハ期限ニ親シマス、婚姻、養子縁組ニ期限ヲ附スルコトヲ得サルカ如シ、單獨行為ニ期限ヲ附スルコトヲ許ササルモ亦同シ、之ヲ許スハ行為者ノ一方ノ都合ノ爲メニハ、相手方ノ利益ヲ顧ミサルモノト爲リ、道義ノ觀念ニ反スルカ故ナリ、從テ此觀念ニ反セサル場合ニ於テハ期限ヲ附スルコトヲ妨ケス、免除ニ期限ヲ附スルコトヲ得ルカ如シ、

四 期限事實ハ、一定ノ期日ニ依リテ定メラルルコトアリ、何年何月何日ニ云々ト約スルカ如シ、一定ノ期間ニ依リテ定メラルルコトアリ、本日ヨリ何日間、何週間ニ云々ト定ムルカ如シ、此等ノ場合ニ於テ、期限ノ到來ス可キ時期ハ、豫メ確定ス其期限ヲ確定期限ト稱ス、到來スルコトハ確實ナルモ、何時ニ於テ到來スルカ不確定ナル事實ニ依リテ、期限カ

確定期限

期限事實

不確定期
限ノ未
到來

定メラルルコトアリ、何某カ死亡シタル時ニ於テ云々ト約スル場合ノ如シ、此期限ヲ不確定期限ト稱ス、

五 期限カ到來セサル間ハ、(1)始期附行為ニ於テハ債權ハ發生スルモ其履行ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス、當事者カ行為ノ效力ノ發生ヲ期限ニ繫ラシメタルトキハ、吾民法上、期限ト稱セサルモ、便宜上此名稱ヲ用ウ、期限到來前ニ於テハ、行為ノ效力ヲ生セス、(2)終期附行為ニ於テハ效力ノ消滅ヲ來サス、其何レノ場合ヲ問ハス、始期附債務的の行為ハ別ナリ、期待權ヲ生スルコトハ條件ノ場合ト異ナラス、期待權ハ現在ニ於テ存スル一種ノ法律上ノ状態ニシテ、必然ニ生スヘキ未來ノ權利ヲ吸收スルコトヲ職分トス、期限附法律行為ノ各當事者カ、此未來ノ權利ヲ害スヘキ行為ヲ爲シタルトキハ、期限到來ノ時ニ於テ、其行為ハ無効ナルカ又ハ損害ヲ賠償セサルヘカラス、此未來ノ權利ハ、之ヲ相續、處分、保存擔保スルコトヲ得ルハ、條件附權利ト異ナル理由ナシ、

期限ノ到
來

六 期限ノ到來トハ、期限事實カ實現スルコトヲ意味ス、始期附法律行為ハ、其時ニ於テ履行ノ請求ヲ爲スコトヲ得ルニ到リ、始期附法律行為ハ、其時ヨリ其效力ヲ失フ(一三五)條件ノ場合ト異ナリ、期限到來ノ效果ヲ既往ニ遡ラシムルコトヲ得ス、

期限ノ利
益

七 民法第三百三十六條、第三百七條ハ、債務的法律行為ニ始期ヲ附シタル場合ニ於テ、其期限ノ利益ノ推定、及ヒ其利益ノ拋棄ニ關スル規定ナルベシ、此等ノ規定ハ、一般ニ債務履行ノ時期ニ關スル規定トシテ、債權編ニ收ムルヲ適當トス、吾民法ニ於テハ、給付ノ時期ヲ期限ト稱スル事アリ、(1)期限ハ、債務者ノ利益ニ定メラルル事アリ、此場合ニ於テハ、債權者ハ、其時期ノ到來スルマテ請求ヲ爲スコトヲ得ス、第三百三十五條第一項ハ、此場合ニ關ス、(2)期限ハ、債權者ノ利益ニ定メラルルコトアリ、此場合ニ於テハ、債務者ハ、其到來前ニ履行ヲ爲スコトヲ得ス、此場合ハ、第三百三十五條ノ期限ニアラス、(3)期限ハ、債權者、債務者雙方ノ

期限ノ利
益ノ拋棄

利益ニ定メラレルルコトアリ、此場合ニ於テハ、其期限ノ到來スルマテ債務者ハ履行ヲ爲スコトヲ得ス、又債權者モ履行ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス、例ハ利息附消費貸借、又ハ預金ノ場合ニ於テ、返還ノ時期ヲ定メタルカ如シ、然シ此場合ハ、又、第三百三十五條ノ期限ニアラス、以上何レノ意味ニ於テ、期限カ定メラレタルカハ、當事者ノ意思表示ノ解釋、又ハ法律ノ規定ニ因リテ定マル、其不明ナル場合ニ於テ、期限ハ、債務者ノ利益ハ、爲メニ定メラレタルモノト推定セラル(一三六)、期限ノ利益期限ヨリ生スル法律上ノ利益ヲ有スル者ハ、之ヲ拋棄スルコトヲ得(一三三)其始期ナルト終期ナルトヲ問ハサルモノトス、法律行為ノ效力ノ發生ヲ制限スル場合ハ、期限ニアラサルコト前述ノ如シト雖モ、亦此ノ規定ノ準用セラルヘキハ當然ナリ、本年末日マテ所有權ヲ留保スル制限ヲ附シテ所有權ヲ讓渡シタル場合ニ於テ、其期限ノ利益ヲ拋棄シ、本年末日前ニ所有權ヲ移轉アルモノトスルコトヲ得ルカ如シ、其拋棄ハ、期限ノ

利益ヲ失フヘキ旨ノ單、獨、行、爲、ナリ、相手方ノ承諾ヲ要セス、但シ此拋棄アルモ相手方ハ利益ヲ害スルコトヲ得ス、(一三六)故ニ利息附消費貸借ノ場合ニ於テ、債務者カ其期限ノ利益ヲ拋棄シ期限前ニ辨濟ヲ爲シ、又債權者カ其期限ノ利益ヲ拋棄シテ其辨濟ヲ受クルモ、債務者ハ其期限到來マテハ利息ヲ支拂フヘキモノトス、(但シ債權者カ其權利ヲ拋棄セサルコトヲ要ス)

債務者カ期限ノ利益ヲ有スル場合ニ於テ、當然其利益ヲ失フコトアリ、左ノ場合ノ何レカニ該當スル場合ニ生ス、(一三七)

- (1) 債務者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ、
 - (2) 債務者カ擔保ヲ毀滅シ、又ハ之ヲ減少シタルトキ、
 - (3) 債務者カ擔保ヲ供スル義務ヲ負フ場合ニ於テ、之ヲ供セサル時
- 八 期限ニ關スル規定ハ意思表示ニアラサル心理表示ニ準用ナシ、

第八項 法律行爲ノ效力

有效

無效

法律行爲
ノ無効ト
ハ不成立ト
別スヘシ

一 法律行爲ト其效力トノ關係ハ、四ノ形式ニ於テ現ハル、有效、無效、取消シ得ヘキコト、效力未定是ナリ、

二 法律行爲ノ有效トハ、法律行爲上ノ效力カ確的ニ生シタル状態ヲ云フ、法律行爲カ成立スルモ、未タ其效力ヲ生セサルトキハ、其法律行爲ハ有效ニアラス、條件成就前ニ於ケル停止條件附法律行爲、遺言者ノ死亡前ニ於ケル遺言ノ如シ、法律行爲上ノ效力ヲ生スルモ、其效力カ滅却セラルヘキ運命ヲ有スルモノナルトキハ、有效ナリト云フ可ラス、

三 法律行爲ノ無効トハ到底法律行爲上ノ效力ヲ生スルコト能ハサル状態ヲ云フ、故ニ法律行爲カ單ニ其效力ヲ生セサルコトト異ナル、法律行爲ノ不成立トモ區別スヘシ、法律行爲ノ成立ハ一定ノ法律行爲ハ觀念ニ相當スル事實カ完成シタルコトヲ云ヒ、不成立ハ此事實カ現實セサルコトヲ云フ、故ニ成立シタル法律行爲ニ付キテ、初メテ其無効ナルヤ否ヤノ問題ヲ生スヘシ、未タ賣買ノ申込ヲモ爲ササルニ、賣買ハ無

絕對無效
相對無效

效ナリト云フ可ラス、其申込ノミアリテ承諾ナキニカカハラス、賣買ハ無効ナリト云フ可ラス、賣買ハ不成立ナルニ外ナラス、無効ハ之ヲ絕對無効、相對無効ニ區別セサルヘカラス、前者ハ總テノ關係ニ於テ無効ナルモ、後者ハ或關係ニ於テハ無効ニシテ、他ノ關係ニ於テハ無効ニアラサルモノヲ云フ、民法第九十四條第二項破産法第九百九十條ノ無効ハ後者ニ屬ス、

當初ノ無効
事後ノ無効

法律行為ノ無効ハ法律行為ノ效力發生ノ要件カ具ハルコト能ハサルニ基因ス、其不能ナルコトカ法律行為ノ當時ニ於テ確定スルコトアリ、(當初ノ無効)又法律行為成立ノ後ニ於テ確定スルコトアリ、(事後ノ無効)停止條件附法律行為ニ於テ條件カ成就セサルコト確定スル場合ノ如シ、無効ノ法律行為ハ其性質上到底其效力ヲ生セシムル事能ハス、故ニ當事者カ無効ノ法律行為ヨリ、其效力ヲ引出サントスルモ能ハサルトコロナリ、然シ當事者カ法律行為ノ無効ナルコトヲ知リ、且ツ其效力ヲ生セシ

無効ノ法律行為
追認

取消シ得
ヘキコト

メントスル意思表示ヲ爲ストキハ、(無効ノ行為ノ追認)更ニ別箇ノ法律行為ヲ爲シ、其内容ヲ定ムルニ無効タリシ行為ノ内容ニ依リタルモノト解釋セラル、(但書)錯誤アリシ、賣買契約ノ無効ナルコトヲ知リナカラ、各當事者カ其契約ヲ履行スヘキコトヲ約シタル場合ノ如シ、
四 法律行為ノ取消シ得ヘキトハ、其效力ノ發生ヲ否認スルコトヲ得ヘキ状態ヲ云フ、吾民法上ノ取消ナル用語ハ、其意味一定セス、法律行為以外ノ事項ノ取消(二七五、三)ヲ別トシ、法律行為ノ取消モ、唯效力ノ廢止ヲ意味スルニ止マルコトアリ、營業許可ノ取消(六、二)婚姻、養子縁組ノ取消(七八七)ノ如シ、唯將來ニ向ツテ、效力ヲ消滅セシムルニ過キス、故ニ廢止シ得ヘキ法律行為ナル一種ノ状態ヲ認ムルコトヲ正確トス、
法律行為若クハ意思表示ノ取消ハ、其效力ノ發生ヲ否認スルノ意ニ外ナラス、既ニ發生シタル效力ニ付キテハ、其發生セサリシト同一ノ結果ヲ生セシメ、未タ發生セサルモ發生スルコトアルヘキ效力ニ付キテ

ハ、之ヲ發生スルコト能ハサラシムルモノトスルコトヲ意味ス、故ニ條件ノ成就セサル前ニ於テモ、條件附法律行為ヲ取消スコトヲ得ヘシ、取消シ得ヘキ法律行為ハ、此意味ニ於ケル取消ヲ爲スハ、權利（取消權）ヲ伴フモノヲ云フ、故ニ無効ノ法律行為ニアラス、有效ノ法律行為ニアラス、

取消權ノ原因

取消權發生ノ原因ハ、一々法律ノ規定ニ依リテ定メラル、（四二、九一、二、三、一五、五三〇、五五〇、七九二、）取消權者モ、一々法律ノ規定ニ依リテ定メラル、（法前示）無能力ヲ原因トシテ生スル取消權ハ、無能力者之ヲ有ス、（二二〇）妻ノ爲シタル法律行為ニ付キテハ、二箇ノ取消權ヲ生シ其一ハ妻之ヲ有シ他ノ一ハ夫之レヲ有スルモノトス、但シ此取消權ハ他ノ無能力者ノソレト異ナリ、親族權ニ屬スヘシ、從テ夫妻ハ身分ノ消滅ト共ニ消滅ス、意思表示ノ瑕疵詐欺強迫ヲ原因トスル取消權ハ、被詐欺者被強迫者ニ屬ス、（二二〇）但シ瑕疵アル意思表示ヲ爲シタル場合ニ於テハ、取消權

取消

取消ノ效果

ハ、代理人ニ屬セス、反テ本人ニ歸スルモノトス、又無能力者瑕疵アル意思表示者ノ承繼人モ、亦取消權ヲ承繼ス、（二二〇）但シ取消シ得可キ運命ノ效力ニシテ、取消權者ニ歸シタル全部ヲ承繼シタル場合ニ限ルモノト解スヘキハ、理ノ當然ナリ、故ニ無能力者カ賣買ニ因リテ得タル代金ノ請求權ヲ讓受ケタル者ハ、如何ナル場合ニ於テモ、無能力者ノ賣買ヲ取消スコトヲ得ス、夫妻ノ取消權ニハ承繼ヲ生セス、取消權ノ行使ハ效力ノ發生ヲ否認スル旨ノ意思表示ヲ爲スコトニ存ス、取消シ得ヘキ行為ノ相手方カ確定スル場合ニ於テハ、其ノ特定ノ相手方ニ對シテ之ヲ爲ス、其相手方ナキ場合ニ於テハ、取消モ亦特定ノ相手方ナキ意思表示ナリ、（二二三）代理人ニ依リテ取消サシムルコトヲ得、（二二〇）取消權者及ビ相手方カ數人ナルトキハ、全員ヨリ全員ニ對シテ取消ヲ爲ササルヘカラス、取消權ノ效果ハ、發生シタル效力ヲ法律行為ノ當時ニ遡リテ消滅セシメ、若シクハ未ダ發生セサル效力ヲ發生スルコト能ハサラシム

ルニ在リ、故ニ取消サレタル法律行為ハ、初メヨリ無効ナリシモノト同
 視セラルヘシ、(一ニ)其故果ハ第三者ノ權利ヲ害スルコトヲ妨ケス、但
 シ取消權カ詐欺ニ基クトキハ、相對無効ト爲ル、(九六三)無効ナルカ故
 ニ當事者間ニ生スル結果ハ、種々ノ法律ノ規定ニ依リテ、整理セラル、(八
 七、七〇三、七〇九等)但シ無能力者ハ其行為ニ因リテ、現ニ利益ヲ受クル
 限度ニ於テ、償還ノ債務ヲ負擔スル者トス、(但書)此債務ハ本條ニ依リ
 テ定メラレタル特別ノ債務ナリ、不當利得ノ適用ニ基ク(七〇三)債務ト
 見ルヘカラス、故ニ無能力者ハ、時効又ハ即時取得(一九二)ニ因リテ得タ
 ル權利トイヘトモ、亦之ヲ返還移轉セサルヘカラス、取消權ハ之ヲ行
 フニ因リ、追認ニ因リ、又ハ時効ニ因リテ消滅ス、取消シ得ヘキ法律行
 爲ハ、追認ハ其取消權ヲ拋棄スル旨ノ意思表示ナリ、故ニ取消權ヲ有ス
 ル者ニアラサレハ爲ス事ヲ得ス、但シ代理人ヲシテ爲サシムル事ヲ得
 ルハ勿論ナリ、(一ニ二)故ニ其性質上將來ニ向ツテ其行為ハ取消シ得ヘ

取消權ノ
 稍減
 追認

カラサルモノトナルヘシ、然シナカラ民法ハ、追認ニ遡及ノ效力ヲ與ヘ、
 其行為ハ初メヨリ取消シ得ヘカラサリシモノトス、(一ニ二)猶ホ之カ爲
 メニ第三者ノ權利ヲ害スルコトヲ得サル旨ヲ定ム、(一ニ二)其理由ヲ見
 出シ其例ヲ求ムルニ苦シム、取消シ得ヘキ行為ノ相手方カ確定スル
 場合ニ於テハ、其特定人ニ對シテ之ヲ爲スコトヲ要ス、然ラサル場合ニ
 於テハ、特定ノ人ニ對セサル意思表示ナリ、(一ニ三)取消シ得ヘキ行為
 ハ、同時ニ追認シ得ヘキ行為ナリト雖モ、取消權者カ獨斷ニテ有效ニ追
 認ヲ爲スニハ、取消ノ原因タル狀況、(無能力者中)ノ止ミタル後ニ於テ、
 之ヲ爲スコトヲ要シ、禁治產者ニ付キテハ、其能力ヲ回復シ、且ツ其ノ行
 爲ヲ了知シタル後ニ於テ之レヲ爲スコトヲ要ス、然ラサレハ無効ナリ、
 (一ニ四)其ノ以前ノ追認ハ無能力者カ同意權者ノ同意ヲ得テ爲シタル
 トキハ、有效ト見サルヘカラス、(一九)又未成年者、禁治產者ノ行為ニ付
 キテハ、其法定代理人、妻ノ行為ニ付キテハ、其夫ハ、何時ニテモ有效ニ追

法定ノ追

認ヲ爲スコトヲ得ルニ妨ケナシ(一四三) 追認ヲ爲シタルニハアラサル
モ、(默示ノ追)之ヲ爲シタルト同シク、取消權消滅ノ原因トナル場合ア
リ、(一二五)取消權者カ獨斷ニテ有效ニ追認ヲ爲スコトヲ得ル時、法定代
理人及ヒ夫ニ付キテハ、取消シ得ヘキ法律行為ノ時ヨリ、取消シ得ヘキ
法律行為ニ付キテ、

- (1) 全部又ハ一部ノ履行、
- (2) 履行ノ請求、
- (3) 更改、
- (4) 擔保ノ供與、
- (5) 取消シ得ヘキ行為ニ因リテ、取得シタル權利ノ全部又ハ一
部ノ讓渡、
- (6) 強制執行、

ノ何レカ一ノ事實アルトキハ、特ニ取消ヲ留保スルニアラサル限(一四三) 異

取消權ノ
時効

ヲ留メ)追認ヲ爲シタルト同一ノ結果ヲ生ス、默示ノ追認ト異ナルハ右
ノ行為ヲ爲ス者カ、取消權ノ存スルコトヲ知ルト否トヲ問ハサルノ點
ニアリ、(2)取消權ノ時効ハ夫ノ取消權ヲ除クノ外ハ、取消ヲ爲スコト
ヲ得ル時ヨリ進行スルニアラス、取消權者カ、單獨ニテ、有效ニ追認ヲ爲
スコトヲ得ル時ヨリ進行ス(一二六) 而シテ其時効期間ハ五箇年トス
早ク取消權ヲ行ハシメ、以テ法律行為ノ不確定ナル状態ヲ、早ク確定セ
シメントスルニ基ク、此理由ニ依リ、取消權ハ行為ノ時ヨリ二十年ヲ經
過スルトキハ消滅スルモノトス(一二六) 五年ノ時効ハ、追認ヲ爲スコト
ヲ得ル時ヨリ進行ヲ始ムルヲ以テ、行為ノ時ヨリ數十年ニ亘ルモ、猶ホ
時効ノ進行ナキニ至リ未定ノ状態繼續スヘキカ故ナリ、此理由ヨリ推
ストキハ、二十年ノ期間ハ時効期間ト見サルヲ正當トス、
五、法律行為ノ效力未定トハ法律行為カ其效力ヲ生スルヤ否ヤ未定
ナルモノヲ云フ、故ニ取消シ得ヘキ状態トハ異ナル、後者ハ無効又ハ

效力未定

有效ノ何レカーツト同一ノ結果ト爲ルコトアルヘシト雖モ其法律行爲ノ效力ノ發生スルヤ否ヤカ未定ナルニハアラス條件ノ成否未定中ノ停止條件附法律行爲主務官廳ノ許可ノ未定中ニ於ケル寄附行爲追認ナキ間ノ無權代理ノ行爲遺言ノ如キハ效力未定ノ法律行爲ナリ、

六 取消ニ關スル規定ハ意思表示ニアラサル心裡表示ニ準用セラルヘシ、

第三款 時效

第一項 總說

時效制度ノ基礎目的

一 時效ノ制度ハ何等ノ故障ナクシテ永續セル事實上ノ狀態ヲ尊重スルノ必要ニ其基礎ヲ有シ吾人生活ノ安固ヲ保障スルコトヲ目的トス故障ナク永續セル事實上ノ狀態ハ人之ヲ眞實ナリト信スルハ當然ナリ從テ之ヲ基礎トシテ其上ニ種々ノ法律關係ノ建設セラルヘキコトモ當然ノ事ニ屬ス然ルニ後ニ至リ反證ヲ舉ケテ其基礎事實ノ誤リ

時效ノ本質

ナルコトヲ明ニセハ其上ニ建設セラレタル種々ノ法律關係モ亦瓦解スルコトヲ得ヘシト爲サハ得テ吾人生活ノ安全強固ヲ望ムヘカラス、此結果ヲ防止セントセハ此歴史上ノ事實ハ其起原ニ於テ誤リアルモ猶ホ且ツ之ヲ尊重セサルヘカラス時效ノ制度ヲ生セサルヲ得サルナリ吾民法ハ時效制度モ亦此基礎此目的ニ於テ存スルモノナリ、此制度ノ結果トシテ弊害ノ之ニ伴フコトナキヲ保セス即チ善良ナル者權利ヲ失ヒ狡猾ナル者反テ利益ヲ得ルニ至ルコトナシトセス弊害タルニ相違ナキカ故ニ可成之ヲ防止スルコトヲ力メサルヘカラス(五〇八)然シ公益ノ爲メニハ箇々ノ弊害ハ已ムヲ得サルモノトシテ顧ミルコトヲ得サルナリ、此基礎ノ上ニ建テラレタル時效制度ニ於テ其歴史上ノ事實ヲ尊重スル方法ハ種々ニ之ヲ考フルコトヲ得ヘシ此處ニハ吾民法ノ採用シタル方法ニ付キテ説明スルニ止ム、

二 時效ハ占有若シクハ準占有又ハ權利ノ不行使カ一定ノ期間繼續

セル事實ヲ謂フ、之ニ因リテ、權利ノ條、件的、取得又ハ消滅ヲ來ス、(一六三、一四五) 故ニ吾民法ニ於テハ、占有又ハ權利ノ不行使ナル事實ヲ尊重スル方法ハ、一種ノ權利ノ取得又ハ消滅ヲ來サシムルコトニ存ス、一定ノ期間、占有ヲ爲ス事實ヲ、取得時、効ト稱ス、權利取得ノ原因ト爲ルカ故ナリ、一定ノ期間、權利ヲ行ハサル事實ヲ、消滅時、効ト謂フ、權利消滅ノ原因ト爲ルカ故ナリ、其一定ノ期間ヲ、時、効、期間ト稱ス、此期間ナキ場合ニ時、効ナシ、故ニ占有ノ事實ニ因リテ、即時ニ權利ヲ取得スル場合(一九三)ハ、時、効ニアラサルヤ論ヲ俟タス、今日ニ於テ此ノ場合ヲ即時、時、効ト云フモノナシ、吾民法上、時、効ハ、權利ノ絶對的、取得又ハ消滅ノ原因ニアラス、一應、權利ノ取得又ハ消滅ヲ來サシムルモ、若シ時、効ニ因リテ利益ヲ受ケタル當事者カ、之ヲ援用セサル場合ニ於テハ、當然其取得又ハ消滅ナカリシモノト爲ルヘキ法律上ノ運命ニ於テ、權利ノ取得又ハ消滅ヲ來サシムルモノト考フ、故ニ時、効ニ因ル權利ノ取得又ハ消滅ハ

當事者カ時、効ヲ援用セサルコトヲ解除條件而モ其成就ハ遑及効ヲ有スルトスル、權利ノ取得又ハ消滅ト同様ノモノト見ルナリ、蓋シ吾民法上、時、効ニ因リテ、角一應、權利ノ取得又ハ消滅ヲ來スコトハ明カナリ、(一六三、一六六) 而カモ猶ホ他方ニ於テ、裁判所ハ、當事者カ時、効ヲ援用スルニアラサレハ、時、効ニ因リテ裁判ヲ爲スコトヲ得ス、(一四五) 故ニ此兩方面ヲ綜合シテ之ヲ考フルトキハ、其權利ノ取得又ハ消滅カ、絶對的ニアラサルコトヲ主張セサルヲ得ス、若シ然ラストセハ、裁判所ハ、取得シタル權利、消滅シタル權利ヲ、取得セス又消滅セサルモノトシテ、裁判ヲ爲ササルヘカラサルノ矛盾ヲ生スルカ故ナリ、然ラハ時、効ニ因リテ權利ヲ取得ス、又ハ權利ハ消滅スルト云フハ、何ノ意味タルヤヲ解スルコト能ハス、其之ヲ調和センカ爲メニ、時、効ハ權利ノ取得又ハ消滅ノ原因ナリ、取得又ハ消滅ニ絶對ト然ラサルトノ區別ナシ、第四百四十五條ハ、只裁判所ヲ抑制スルノ規定ナリト説明スル者アラハ、其説明ハ何等ノ説

用時効ノ援

明トナラサルナルヤ論ナカラシ、之ヲ調和説明スルハ方法ハ只吾輩ノ如ク考フルハ一途アルハミ、此ノ如クスルトキハ當事者カ時効ヲ援用セサル場合ニ於テハ其ノ瞬間ニ於テ權利ノ取得又ハ消滅ハ逆轉シテ、取得又ハ消滅ナキコトト爲リ、裁判所ハ其後ヲ追ヒ、取得又ハ消滅セザリシコトヲ基礎トシテ、裁判ヲ爲スヘキコトト爲ルヘシ、故ニ民法ニ於テ時効ニ因リ、權利ヲ取得ス又ハ權利ハ消滅スト云フハ、一應ノ取得又ハ消滅ヲ意味スルモノトセサルヲ得ス、權利ノ取得又ハ消滅ニ付キテ此ノ如キ變態ヲ考フル事ヲ得サルモノト非難スヘカラス、取消シ得ヘキ法律行爲ニ因ル權利ノ取得又ハ消滅ハ、常ニ此變態ニ在ル者ナリ、時効ノ援用ハ裁判所ニ於テ之ヲ爲スト否トヲ問ハス、第一審ノ口頭辯論ノ終結マテニ之ヲ爲スコトヲ要シ、其時ニ於テ援用セサルトキハ時効ノ效果ヲ生セザリシモノトナルヘシ、第一審ニ於テ援用ヲ爲ストキハ、其上級審ニ於テ援用ヲ爲スコトヲ必要トセス、時効ハ援用ハ、時効

果時効ノ效

ニ因リテ權利ヲ取得シ又ハ權利カ消滅シタリトノ主張ヲ意味ス、權利ノ取得又ハ消滅ヲ確定セシムル旨ノ意思表示ト見ルヘシ、時効ハ效果ヲ收ムルハ不徳ナリ、故ニ其效果ヲ收メントスルヤ否ヤハ、全ク之ヲ當事者ノ良心ニ一任セシムルコトヲ可トシ、第四百四十五條ノ規定ヲ設ケタルナランモ、吾民法カ歷史上ノ事實ヲ尊重スルニ採用シタル方法ト、兩立セサルモノト云フヘシ、

事時効ノ當

三 時効ノ當事者ハ、時効ニ因リテ第一次ニ利益ヲ得タル者時効ノ利益ヲ受クル者、一五五及ヒ之ヲ失ヒタル者ヲ謂フ、取得時効ニアリテハ、權利ヲ取得シタル者及ヒ之ヲ失ヒタル者、消滅時効ニアリテハ、權利ヲ失ヒタル者及ヒ其權利ノ制限ヲ免レタル者ヲ當事者トス、人タルト法人タルトヲ問ハス、時効ノ當事者ト爲ルコトヲ得ルハ勿論ナリ、

時効ノ拋棄

四 時効ノ利益ハ、豫メ之ヲ拋棄スルコトヲ得ス、二四六、時効ハ利益ハ、時効ニ因リテ權利ヲ取得シ又ハ權利ノ制限ヲ免ルルコトヲ得ルコ

時効完成後ニ於ケル拋棄

時効ノ效力ノ遡及

トヲ意味ス、取得シタル權利、自體ヲ謂フニアラス、故ニ時効ノ利益ヲ豫メ拋棄スルトハ、時効ノ效果ヲ生セザラシムル意思表示ヲ謂フ、其意思表示ハ無効トス、時効ノ制度ハ公益ヲ目的トスルカ故ナリ、民法ハ時効完成後ニ於テ、其拋棄ヲ許スカ如シ、然シナカラ、時効制度ノ目的ニ照ラシ、完成後ニ於テ、モ、之ヲ許ササルモノハ、ト解スルコトヲ正當トスヘキニアラスヤ、時効ノ效果ハ、只當事者ノ利益ノ爲メノミニ生セシムルニアラサルカ故ナリ、從テ時効完成後ニ於ケル時効ノ拋棄ハ、時効ノ效果ヲ生セサルモノト爲スニハアラス、其生シタル效果ニ付キテ、或他ノ行為ヲ爲スモノト解スヘシ、其行為ハ時効ニ因リテ得タル權利ノ讓渡ナルコトアルヘシ、或ハ債權ノ新設贈與ナルコトアルカ如シ、

五 時効ノ效力ハ其起算日ニ遡ル(二四四) 時効ノ效力ハ其進行ヲ始メタル時ニ遡ルモノトスルハ、當然ノ事理ナリ、若シ時効完成ノ時ヨリ、將來ニ向ツテ、其效力アルモノトスレハ、時効制度ノ目的ト合セサルナ

時効ノ進行中斷

中斷ノ一般原因

リ、時効カ遡及ノ效力ヲ有スルカ故ニ當事者ハ、時効進行ノ時ヨリ權利ヲ取得シ又ハ權利ヲ失ヒタルモノト爲ル、從テ其時効完成迄ノ間ニ於テ、其權利ニ付キテ生シタル法律上ノ關係ニ、何等ノ影響ヲ及ボスコトナシ、

六 時効期間カ其終了ニ近クコトヲ、時効ノ進行ト謂フ、進行シタル時効期間カ、無益ト爲ルコトヲ、時効ハ中斷ト稱ス、故ニ中斷セラルルマテニ經過シタル期間ハ、時効期間ニ算人セラレス、時効ハ新ニ進行ヲ始ムルコトト爲ル、時効ニ中斷ヲ生スル理由ハ、時効制度ノ基礎ニ存ス、繼續セル歴史的事實ニ、反對ノ證據アルトキハ、其事實ヲ尊重スルコト能ハサルカ故ナリ、故ニ中斷ノ原因タルヘキ事項ハ、事實上ノ狀態ニ反對ナルモノナラサルヘカラス、吾民法上中斷ノ原因ヲ分ツテ、一般中斷事由、特別中斷事由トス、甲ハ各種ノ時効ニ共通ナル原因ニシテ乙ハ各時効ニ特別ナル原因ナリ、共通ノ原因左ノ如シ(二四七)

裁判上ノ
請求

(一) 請求、此處ニ謂フ所ハ請求ハ、裁判所ニ對シ又ハ私人ニ對シテ、權利ヲ主張スルコトヲ意味ス、故ニ請求權ノ行使タル請求ハ勿論、訴ニ依リテ裁判所ノ裁判ヲ求ムルコトモ亦之ヲ包含ス(裁判上ノ請求、給付ノ訴ナルト、確認ノ訴ナルト、又創設的ノ訴(例ハ取捨ノ訴)タルト、問ハサルモノトス、猶ホ支拂命令ノ申立和解ノ爲メニスル呼出、任意出頭ヲ包含ス、一四七、一四九) (1) 裁判上ノ請求ハ、訴ノ提起ヲ意味ス、訴狀ヲ裁判所ニ提起スルニ因リテ、中斷ノ效ヲ生ス、其訴狀ヲ相手方ニ送達スルニ因リテ、其效力ヲ生スルニアラス、請求ソノモノカ時効中斷ノ效力ヲ生スルカ故ナリ、二四七、然シ此場合ニ於テ、其訴ヲ取下ルカ、民事訴訟法一八九八、又ハ其訴カ却下セラレタルトキハ、初ヨリ中斷ノ效力ヲ生セサリシコトト爲ル、一四九、訴ノ却下ハ、訴カ其手續上ノ要件ヲ具ヘサルカ爲メニ、又ハ實質上ノ理由ヲ有セサルカ爲ニ、却下セラレタル場合ヲ包含ス、手續上ノ要件ヲ具ヘテ、更ニ訴ヲ

支拂命令
ノ申請

訴ヲ却下
セラレタ
ルトキハ
如何

提起スルトキハ、其時ニ於テ中斷ノ效力ヲ生スルモノトス、(2) 支拂命令ハ、申請ハ、中斷ノ效力ヲ生ス、裁判所カ支拂命令ヲ發シ、又ハ送達スルコトカ、中斷ノ效アルニアラス、二四七、支拂命令ハ、一定ノ金額ノ支拂其他代替物若クハ有價證券ノ一定ノ數量ノ給付ヲ目的トスル請求ニ付キテ、普通ノ訴訟手續ニ依ラス、只督促手續ニ依リテ、債務者ニ支拂フヘキ旨ヲ命スルモノナリ、民事訴訟法三八二、債務者ノ異議アルトキハ、其效力ヲ失フモノナルカ故ニ、民事訴訟法三八九、支拂ノ點ニ付キテハ、效力薄弱ナルモ、時効中斷ノ效アルカ故ニ、實益アリ、然シ支拂命令カ、其權利拘束ヲ失フトキハ、始メヨリ中斷ノ效ナカリシモノト爲ル、一五〇、支拂命令ハ、裁判所カ之ヲ債務者ニ送達シタル時ニ權利拘束ヲ生シ、債務者カ異議ヲ唱フルモ、猶ホ權利拘束ノ效力ハ存續ス、此場合ニ於テ、其訴カ區裁判所ノ管轄ニ屬スヘキモノナルトキハ、其訴ハ支拂命令ノ送達ト同時ニ、區裁判所ニ提起セ

和解ノ爲
メニスル
呼出ノ申
請

任意出頭

ラレタルモノト看做サル、其訴カ地方裁判所ノ管轄ニ屬スヘキモノナル場合ニ於テ、債權者カ異議ノ申立アリタル通知ヲ受ケタル日ヨリ、一箇月内ニ管轄裁判所ニ訴ヲ提起セサルトキハ、權利拘束ノ效力ヲ失フ、故ニ此場合ニ於テ、支拂命令ノ申請カ、中斷ノ效力ヲ生セサリシコトト爲ルヘシ(民事訴訟法三八七之三)(3)和解ノ爲メニスル呼出ノ申立ハ、時效中斷ノ效力ヲ生ス(一五〇)裁判所ノ和解ノ爲メニスル呼出カ、中斷ノ效力ヲ生スルニハアラス、請求カ中斷ノ效力ヲ有スルカ故ナリ(一四七)此場合ニ於テ、相手方カ裁判所ニ出頭セス、又ハ和解ノ調ハサルトキハ、一箇月ニ訴ヲ提起スルニアラサレハ、呼出ノ申立ハ初ヨリ中斷ノ效力ヲ生セサリシコトト爲ルヘシ(一五〇)(4)當事者カ任意ニ裁判所ニ出頭スルモ(民事訴訟法三七八)亦請求ノ一種トシテ、中斷ノ效力ヲ生ス(一五一)此場合ニ於テモ、和解ノ調ハサルトキハ、一箇月内ニ訴ヲ提起スルニアラサレハ、初ヨ

破産手續
参加

催告

差押、假
處分、假

リ中斷ノ效力ヲ生セサリシモノト爲ル(一五〇)(5)破産手續参加ハ、破産財團ノ配當ニ加入スルノ申出ヲ謂フ、請求ノ一種トシテ、中斷ノ效力ヲ生ス(一五二)然シナカラ、債權者カ其申出ヲ取消シ、又ハ其請求カ却下セラレタルトキハ、初ヨリ中斷ノ效力ヲ生セサリシコトト爲ル(一五三)(6)催告ハ、債權者カ債務者ニ對スル履行ノ請求ニシテ、時效中斷ノ效力ヲ生ス、此場合ニ於テ、其中斷ノ效力ヲ存續セシメントセハ、六箇月内ニ裁判上ノ請求、和解ノ爲メニスル呼出、若クハ任意出頭、破産手續参加、差押、假處分ヲ爲スコトヲ要ス、其何レカ一ヲ爲ササルトキハ、初ヨリ中斷ノ效力ナキコトト爲ルヘシ(一五三)以上(1)乃至(6)ニ該當セサル請求ハ中斷ノ效ナキモノトス、

(二)差押、假差押、又ハ假處分(一五四)差押ハ、一切ノ債權ニ基キテ之ヲ爲シ、假差押ハ、金錢債權又ハ少クトモ金錢債權ニ推移スヘキ債權

ニ基キ、動産又ハ不動産ニ對スル強制執行ヲ保全スルカ爲メニ之ヲ爲ス(民事訴訟法三七)假處分ハ、現状ノ變更ニ依リ、特定ノ給付自體ノ強制執行ヲ爲スコト能ハサルカ、又ハ之ヲ爲スコトヲ著シク困難ナラシムル場合ニ於テ、係争物(訴訟中ナルコトヲ要セス)ニ付キテ之ヲ爲シ、又ハ争アル權利關係ニ付キ、假ノ地位ヲ定ムル爲ニモ之ヲ爲スコトヲ得ルモノトス(民事訴訟法七五、七六〇)其處分ノ方法ハ、裁判所ノ意見ニ依リテ之ヲ定ム(民事訴訟法七八)差押、假差押、假處分ノ申請ハ、中斷ノ效力ヲ生セス(差押、假差押及ヒ假處分ハ、時効ノ利益ヲ受クル者ニ對シテ之ヲ爲ササルトキハ、之ヲ其者ニ通知シタル後ニアラサレハ、中斷ノ効ナシ)
一五五

承認

(三)承認、承認ハ、相手方ニ權利ノ存在ヲ是認スルコトヲ意味シ、中斷ノ效力ヲ生ス(一四七)時効中斷ノ效力ヲ生セシムルコトヲ欲スル意思表示ニアラス、又相手方ニ權利ヲ與フル旨ハ、意思表示ニアラス、只意思表示ニアラサル心裡表示ニ過キス、從テ相手方ノ權利ニ

自然中斷
中斷ノ効力

付キテ處分ノ能力又ハ權限(相手方ニ存在スルモノト認メラルル其權利ヲ相手方ニ附與スルノ能力又ハ權限)ヲ要セサルハ當然ノ事理ニシテ、別段ノ規定ヲ爲スマテモナシ(一五六)明ニ相手方ノ權利ヲ認ムル旨ヲ表示スル場合ハ、勿論利息ヲ支拂ヒ辨濟ノ猶豫ヲ乞フカ如キモ亦承認ト爲ルヘシ、
特別中斷事由ハ、第六十四條第六十五條ニ定メラル、之ヲ自然中斷ト稱スルヲ通例トス、中斷ノ効力ハ、中斷事由ノ生シタル時マテニ、進行シタル時効期間ノ一部ヲ無益ニ了ラシメ、其時効ヲ更ニ進行セシムルニ在リ(一五七)其時効ハ、新ナル時効ニアラス、從テ時効ノ全要件ハ時効カ新ニ進行スル時ニ於テ、有スルコトヲ要セス、既ニ無益ニ了リタル時効期間ノ一部カ其進行ヲ始ムル時ニ於テ、存在スルヲ以テ足レリトス、中斷セラレタル時効カ、新ニ進行ヲ始ムル時ハ、中斷事由ノ終了シタル時ヲ以テ之ヲ定ム(一五七)裁判上ハ、請求ニ因リテ、中斷セラレタル時効ハ、裁判ノ確定シタル時ヨリ、更ニ進行ヲ始ム(七五)故ニ訴ノ提起ノ

時効ノ停止

時ヨリ、裁判確定ノ時マテ中斷ノ效力カ存續スヘシ、一般中斷事由ニ因ル中斷ノ效力ハ相對的ナリ、即チ其中斷ヲ引起シタル者(當事者)及ヒ其承繼人ノ間ニ於テノミ其效力ヲ有シ、其他ノ者ニ及ハス、(二九六)特例四例ハ所有物ヲ不法ニ占有スル乙ニ對シ、所有物取戻ノ訴ヲ提起スルトキハ、之ニ因リテ乙ノ取得時効ハ中斷セラル、其效力ハ甲ノ相續人及ヒ甲ノ所有權ヲ讓受ケタル者ニ及ヒテ其利益ト爲リ、又乙ノ相續人及ヒ乙ヨリ其占有ヲ承繼シタル者ニ及ンテ其不利益ト爲ル、然シナカラ其物ノ共有者ノ一人タル丙ニ對シテハ、中斷ノ効ナシ、故ニ時効ハ間斷ナク進行スヘシ、又不法占有者ノ一人タル丁ニ對シテモ、中斷ノ効ナシ、故ニ丁ノ取得時効ハ甲ニ對シテ間斷ナク進行スヘシ、自然中斷ノ効カハ絕對的ナリ、何人ニモ中斷ノ効アルハ當然ナリ、

七 吾民法ニ於テ、時効ハ其進行中ニ於テ其進行ヲ中止セラルルコトナシ、唯時効カ完成セントスル間際ニ於テ、一時其完成ヲ見合ハスコト

時効ノ原因

アルノミ、之ヲ時効ノ停止ト稱セン、其停止ヲ生スル理由ハ、時効ヲ中斷スルコト能ハサル事情アルニ拘ハラズ、猶ホ時効ヲ完成セシムルハ、時効ニ因リテ不利益ヲ受クヘキ者ニ酷ナルカ故ナリ、故ニ時効ノ停止ノ原因ハ、中斷ヲ爲スコトヲ得サル事情ナラサルヘカラス、吾民法ニ於ケル停止ハ、四ツノ場合ニ於テ生ス、一ハ未成年者又ハ禁治産者ノ利益ノ爲メニスル停止、二ハ一般無能力者ノ利益ノ爲メニスル停止、三ハ相續財産ノ利益ノ爲メニスル停止、四ハ避クヘカラサル事變ニ因ル停止ナリ、(1)時効ノ期間滿了前六箇月内ニ於テ未成年者又ハ禁治産者カ、法定代理人ヲ有セサルトキハ、時効ハ依然トシテ進行スルト雖モ將ニ完成セントスルニ至リ、其完成ヲ停止シ、其者カ能力者ト爲ルカ、又ハ法定代理人カ就職シタル時ヨリ、六箇月内ハ其完成ヲ見合ハス、(二五八)故ニ停止時期六箇月内ハ、何時ニテモ中斷ヲ爲スコトヲ得、中斷ヲ爲ササルトキハ、六箇月ノ經過ニ因リテ時効完成ス、時効期間ノ滿了前六箇月

内ニ一日タリトモ法定代理人アリタルトキハ其時ニ於テ中斷ヲ爲スコトヲ得ヘカリシカ故ニ時効停止ノ必要ナシトス又妻ハ勿論準禁治者ノ爲メニハ時効ノ停止ヲ認メス(2)無能力者カ其財産ヲ管理スル父母(親権者トシテ管理ス)又ハ後見人ニ對シテ有スル權利(唯請求權ニ限ル從テ只其消滅時効ノ)ニ付キテハ時効ハ進行スルコトヲ妨ケサルモ其者カ能力者ト爲リ又ハ後任ノ法定代理人カ就職シタル時ヨリ六箇月内ハ其完成ヲ停止ス(一五九)妻カ夫ニ對シテ有スル權利ニ付キテハ婚姻解消ノ時ヨリ六箇月内ハ時効ノ完成ヲ停止セラル(九二五)(3)相續財産ニ關スル權利ニ付キテハ相續財産中ニ屬スルモノト又之ニ負擔ヲ負ハシムル他人ノ權利ナルトヲ問ハス相續人カ確定シ管理人カ選任セラレ又ハ破産ノ宣告アリタル時ヨリ六箇月内ハ時効完成セス(一六〇)相續人ノ確定ハ相續人カ其ノ相續ヲ拋棄スルコト能ハサル事ヲ意味ス故ニ法定ノ推定家督相續人カ相續ヲ爲シタルトキ相續人カ相續ヲ承認

シタルトキ(又ハ之ト同一視セラ)ハ相續人確定ス相續人カ相續ヲ拋棄スルトキハ全ク相續人ト爲ラザリシト同一視セラルルカ故ニ(三九)相續人ノ確定前ニ相續人カ又ハ相續人ニ對シテ爲シタル中斷ハ何等ノ效力ヲ生セザリシコトト爲ルヘシ故ニ有效ニ中斷ヲ爲スコトヲ得ル時マテ停止セラルルハ當然ナリ管理人ノ選定ハ相續人ノ有無不明ナル場合ニ生シタルト(五二)又相續人カ不確定ナル場合ニ生シタルトヲ問ハス(一〇四)破産ノ宣告ハ相續財産ニ對スル破産ヲ謂フ(4)時効ノ期間滿了ノ時ニ當タリ天災其他避クヘカテサル事變ノ爲メ時効ヲ中斷スルコト能ハサルトキハ其妨碍ノ止ミタル時ヨリ二週間内ハ時効ノ完成カ停止セラル(一六一)天災ハ天變地異カ吾人ニ及ホス影響ヲ謂フ大風大雨大雷地震洪水ニ因リテ生スル不利益ナル影響ノ如シ避クヘカテサル事變ハ外部ヨリ吾人ニ襲來スル出來事ニシテ世人カ之ヲ妨止スルコトヲ得サルモノト取扱フモノヲ謂フ戰爭又ハ

流行病ノ爲メニ生スル交通廢止ハ其適例ナリ、戰爭地又ハ惡疫流行ノ地ヲ通行スルハ、吾人ノ生命ニ關スルカ故ニ、其交通廢止ハ之ヲ妨止スルコトヲ得サルモノトシテ取扱ハサルヘカラス、裁判所ノ火災ニ因リテ、裁判ヲ爲スコトヲ得サルコト、自働車ニ輓カレテ病人トナリタルコトハ、又避クヘカラサル事變ナリ、反之過失ニヨルト否トヲ問ハス、自ラ病ヲ得タルコトハ避クヘカラサル事變ニアラス、中斷スルコト能ハストハ、世間ノ取扱上、然ルコトヲ意味スルモノニシテ、中斷カ物理上不能ナルコトヲ云フニアラサルハ論ヲ俟タス、

八、時効期間ハ、當事者間ノ特約ニ因リテ、之ヲ伸長スルコトヲ得ス又之ヲ短縮スルコトヲ許サス、其特約ヲ許スニハ特別ノ明文ヲ要スヘシ、

第二項 各種ノ時効

第一目 取得時効

一、所有權ノ取得時効

所有權ノ取得時効

一、所有權ノ取得時効ハ、一定ノ期間、所有ノ意思ヲ以テ、平穩且公然ニ、他人ノ所有物ヲ占有スル事實ヲ謂フ、之ニ因リテ所有權ノ取得ヲ來スキテ、時効ノ存スル理由ナシ、占有ハ自己ノ爲メニスル意思ヲ以テ、物ヲ所持スル事實ヲ謂フ(一八〇)。(2)其占有ハ所有ノ意思ヲ以テスルモノナルコトヲ要ス(一八六)或物ニ對スル自己ノ支配ニ付テハ他ノ優等ナル權利ヲ認メサルノ意思ヲ謂フ、實際他ノ優等ナル權利カ存在セサルモノト信ス(信念)ルヤ否ヤヲ問ハス、故ニ所有者ニアラサル者ヨリ所有權ヲ讓受ケタル者ハ勿論、盜者モ亦所有ノ意思ヲ以テスル占有ヲ有ス、此占有ヲ爲ス者ハ少クトモ他人ニ對シ所有者ナリトノ外見ヲ呈スルカ故ニ、所有權ノ取得ヲ來サシム、(3)其占有ハ平穩ノ占有ナルコトヲ要ス(一八六)此占有ハ強暴ノ占有ニアラサルモノヲ意味シ、暴行強迫ニ依リテ取得シ、又ハ保持スル占有ニアラサルモノヲ謂フ、此要件ヲ必

要トスルハ、暴行、強迫者ニ時効ノ利益カ歸スルコトヲ妨ケントスルニ在ルヘシ、從テ正當防衛ニ基ク場合ニ於テハ(七二〇)時効ノ利益ヲ得ルニ差支ナキハ當然ナリ、(4)其占有ハ公然ノモノナルコトヲ要ス(一八六)此占有ハ、隱秘ノ占有ニアラサルモノヲ意味シ、特別ナル方法ニ於テ、其占有ヲ隱秘スル占有ニアラサルモノヲ謂フ、故ニ占有物ヲ地中ニ埋メ、天井裏ニ匿ス如キハ、公然ノ占有ニアラサルモ、箆笥ノ内ニ收ムルハ、公然ノ占有ナリ、普通ノ占有方法ナルカ故ナリ、此要件モ、亦不當ニ占有ヲ秘密ニシ、時効ヲ中斷スルコトヲ得サラシムル者ヲ利セシメサルニ出ツルモノナリ、從テ内亂中、掠奪セラルルノ虞アルカ故ニ、穩秘スルモ差支ナシ、(5)以上ノ占有カ、一定ノ期間繼續スルコトヲ要ス(六二八)其期間ハ場合ニ依リテ、長短ノ區別アリ(イ)不動産ノ占有者カ、其占有ノ始善意(念ヲ有シ)ニシテ且ツ過失ナカリシトキ(所有ノ信念ヲ有スルニ至ルトキ)ハ、其期間ハ十年ナリ(二六)動産ニ付キテハ、此短期時効ナシ、第百

時効ノ效

所有權以外ノ財產ノ取得時効

九十二條アルカ故ナリ、(ロ)占有ノ始メニ於テ、惡意ナルカ、又ハ善意ナルモ過失アルトキハ、其期間ハ二十年トス、(二一六)動産タルト不動産タルトニ問ハス、此長期時効ノ適用アリ、時効ニ因リテ所有權ノ取得ヲ生ス、其效果ハ、時効ノ起算日ニ遡ル、故ニ其時以後ニ於テ其物ニ付キテ生セシ、制限物權ハ消滅スルコトアルヘシ、然シナカラ其時以前ニ於テ存セシ、制限物權ニハ何等ノ影響ナシ(但シ三九七、三六六)占有者カ、任意ニ其占有ヲ中止スルトキハ、其占有意思又ハ所持ヲ拋棄スルト、(二〇三)隱秘又ハ強暴ノ占有ト變セシムルトニ問ハス、時効ハ中斷セラル、占有者カ、其所持ヲ奪ハレタルトキ亦同シ(一六四)但シ此場合ニ於テ、占有者カ占有回收ノ訴(二〇〇)ヲ提起シ、其物ヲ回復シタルトキハ、中斷ヲ生セサリシコトト爲ル(二〇三)

二、所有權以外ノ財產權ノ取得時効

一、所有權以外ノ財產權ハ、取得時効ハ、一定ノ期間、自己ノ爲メニスル

意思ヲ以テ、權利ヲ行使スルノ事實ヲ謂フ(二〇六三)、平穩且公然ニ其準占
有ヲ爲スコトヲ要ス、其準占有ノ繼續スヘキ期間ニハ長期短期ノ區別
アリ、準占有ノ始、善意ニシテ且過失ナカリシトキハ十年(動産上ニ權利
合ニハ適用)然ラサルトキハ二十年トス(一六三) 故ニ吾民法上權利ニ
アラサレハ取得時効ノ適用ナシ、且ツ又財産權ニアラサレハ此時効ノ
適用ナシ、

二 左ノ財産權ニ付テハ取得時効ノ適用ナシ、

(1) 不繼續又ハ不表現ノ地役(二八三)

(2) 一回ノ行使ニテ消滅スヘキ權利、自己ノ爲メニスル意思ヲ以テ、
財産權ヲ行使スルトハ、自己ヲ權利者ナリトシテ、其權利ノ行使ニ
相當スル行爲ヲ爲スコトヲ意味ス、自己ヲ以テ權利者ト信スルコ
トヲ必要トセサルハ勿論ナリ、此行使ヲ一定ノ期間繼續スル事カ
必要ナリ故ニ、只一回ノ行使ニ因リテ消滅スヘキ權利ニ付キテハ、

此時効ノ適用ナシ、取消權、解除權、選擇權等ハ時効ニ罹ラス、同一ノ
理由ニ依リテ動産質權ニハ全ク此時効ノ適用ナキモノト信ス質
權ノ行使ハ他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受クルコト
ニ存シ、質物ノ占有ハ質權ノ行使ニアラサルハ勿論、一般ニ如何ナ
ル權利ノ行使トモ稱スルコトヲ得サルカ故ナリ、抵當權モ、亦此時
効ニ罹ラス、留置權(二九五)先取特權(三〇三)モ亦同シ、此時効モ亦
自己ノ爲メニスル意思ヲ拋棄シ又ハ權利ヲ行使スルコトヲ廢シ
平穩又ハ公然ノ準占有ヲ變シタルトキハ中斷セラル(一六六四、
一六六五)

第二目 消滅時効

一 消滅時効ハ、行使シ得ヘキ權利ヲ、一定ノ期間行使セサル事實ヲ謂
フ、之ニ因リテ其權利ノ消滅ヲ來ス、權利ノ不行使ハ、權利ノ正當トス
ル行爲ヲ爲ササルコトヲ意味ス、之ヲ行使セサル所以ハ之ヲ問フヲ要
セス、兎ニ角其永續セル事實ヲ尊重スルノ方法トシテ吾民法ハ、權利ノ

ハ、モ、ハ、ハ、消滅ヲ來サシム、私權ノ消滅ニシテ、訴權ノ消滅ヲ來スニアラ
 ス、訴權トハ、自己ニ利益アル裁判ヲ國家ニ對シテ請求スル權利ナリ、公
 權ナリ、其時効期間ハ、債權ニ付キテハ、原則トシテ十年、債權又ハ所有
 權ニアラサル財産權ニ付キテハ、二十年トス、(一六七)其期間ハ、法律上權
 利ヲ行使スルコトヲ得ル時ヨリ起算ス、(一六六)無期限ノ消費貸借上ノ
 債權ハ、債權成立ノ時ヨリ起算スヘキモノニアラス、貸主カ相當ノ期間
 ヲ定メテ返還ノ催告ヲ爲スハ、(五九一)貸主カ有スル此催告權ノ行使ニ
 シテ、債權ソノモノノ行使ニアラス、債權ハ定メラレタル相當ノ期間ノ
 滿了ニ依リテ行使スルコトヲ得ルニ至ル時効ハ其時ヨリ進行スヘシ、
 始期附又ハ停止條件附權利ハ請求ヲ爲スコトヲ得サル權利又ハ未來
 ノ權利ナリ、現存ノ權利ニハアラス、故ニ消滅時効進行ノ問題ト爲ラス、
 又其未來ニ行使スルコトヲ得ル權利ノ目的物ヲ第三者カ占有スル場
 合ニ於テ其目的物ニ付キテ其占有ノ時ヨリ取得時効ノ進行ヲ妨ケサ

所有權ト
消滅時効ト

ルモ亦當然ナリ、但此場合ニ於テ其未來ニ行使スル事ヲ得ル權利者ハ、
 第三者ノ取得時効ノ爲ニ其未來ニ行使シ得ヘキ權利ヲ得ルコト能ハ
 サルニ至ル虞アリトシテ何時ニテモ占有者ニ對シ其占有物上ノ權利
 ハ、他人ニ屬スル旨ノ承認ヲ爲スヘキ事ヲ請求スル債權ヲ有スルモノ
 トス、(六、²六)之ニ依リテ時効ノ中斷ヲ生セシムルコトヲ強制スルコト
 ヲ得テ其未來ニ行使シ得ヘキ權利ヲ保全スルコトヲ得ベシ、
 二 所有權ニハ消滅時効ノ適用ナシ、所有權ニモ不行使アリ得ヘシ、
 然シ之ヲ行使セサルカ爲メニ時効ニ因リテ消滅スルモノト爲スヲ得
 サルハ當然ナリ、(七、²六)故ニ所有權ニハ只取得時効ノ適用アルノミ、其
 結果トシテ從來ノ所有權ハ消滅スルモ其權利ニ付キテ消滅時効カ適
 用セラレタルニハアラス、然シ所有權ヨリ生スル物上請求權ハ時効ニ
 罹ルコトヲ妨ケス債權ナルカ故ナリ、消滅時効ノ適用アル權利ハ所
 有權ヲ除キタル總テノ財産權ナリトス、(七、²六)故ニ人格權及親族權ハ時

效ニ罹ルコトナシ、離婚、離縁ノ權利又ハ扶養ノ請求權(親族權ノ範圍)ハ時
效ニ罹ルコトキカ如シ、然シ例外ナキニアラス、財産權ト雖モ、此時効ニ
罹ラサルモノアリ、財産權ニアラサルモ此時効ニ罹ルコトアリ、

(1) 抗辯權

(2) 相隣地間ノ權利、隣地ノ使用請求權(二〇九)、隣地通行權(二一〇)等
ノ權利ハ、所有權ノ限界トシテ同一狀態ノ存續スル間ハ存續スヘ
キ權利ナルカ故ナリ、

(3) 共有物分括ノ請求權(二五六)

(4) 擔保權ハ、債務者及ヒ擔保權設定者ニ對シテハ、其擔保スル債權ト
同時ニ非サレハ、時効ニ因リテ消滅セス(三四一、三六)

(5) 夫又ハ妻カ有スル取消權(一ニ〇)、相續回復ノ請求權(九六六)ノ如シ

債權ノ消滅時効ノ期間ハ十年ヲ原則トス、然シ債權ノ性質ニ依リ、
例外トシテ其期間ヲ異ニス、

三 債權ノ消滅時効ノ期間ハ十年ヲ原則トス、然シ債權ノ性質ニ依リ、
例外トシテ其期間ヲ異ニス、

定期金債權ノ時効

(一) 定期金債權ハ、第一回ノ辨濟期ヨリ二十年、最後ノ辨濟期ヨリ十年
之ヲ行ハサルトキハ消滅ス、定期金債權ハ、一箇ノ債權ニシテ、其
辨濟期カ定期ナルモノヲ謂フ、必スシモ金錢ノ給付ニ限ラス、他ノ
物ノ給付ニテモ可ナリ、定期金ノ辨濟期ヲ、最後ノ辨濟期ト爲スハ
誤ナリ、辨濟期カ定期ナルコトカ、定期金債權ノ本質ナリ、性質上定
期ナルト又特ニ之ヲ定メタルカ故ニ定期ナルトヲ問ハス、賃借料、
小作料ヲ請求スル債權、終身定期金債權(六八九)ノ如キハ勿論、元金
ヲ月賦拂ト爲スヘキコトヲ約シタル場合ニ於テモ、亦定期金債權
ヲ生ス、此債權ハ、各辨濟期ニ於テ、其期ノ給付ヲ請求スル、獨立ノ債
權ヲ生スルモノト見ルヘカラス、即チ定期金債權ハ、幹債權ニシテ、
各期ニ於テ枝債權カ別ニ生スルモノトセサル事ヲ正當トス、其各
期ニ於ケル請求ハ、其一箇ノ定期金債權ノ請求ニ外ナラサルナリ、
定期金債權ノ時効ハ、第一回ノ辨濟期ヨリ進行スルハ當然ナリ、其

時ニ於テ其債權ヲ行使スルコトヲ得ルカ故ナリ、(一六六)第一回ノ辨濟期トハ、支拂ナキ最初ノ定期金ノ辨濟期ニハアラス、第一回ノ辨濟期ヨリ絶對ニ時効ハ進行ス、其時ニ於テ辨濟ヲ爲ストキハ、債權者ハ其權利ヲ行使シタルカ故ニ時効ノ進行ヲ爲ササルハ當然ノ事理ニ屬ス、此場合ニ於テハ、第二回ノ辨濟期カ到來スルニアラサレハ、時効進行セス、其時マテハ權利ヲ行使スルコトヲ得サルカ故ナリ、若シ一日ニテモ第一回ノ辨濟ニ遅ルルトキハ、時効ハ其進行ヲ始メ、辨濟アレハ承認トナルカ故ニ、中斷セラル、其時ヨリ第二回ノ辨濟期マテハ、時効進行スルコト能ハス、權利ヲ行使スルコトヲ得サルカ故ナリ、定期金債權ノ時効期間ヲ二十年ト爲シタルハ其債權ヲ辨濟シ終ルマテニハ、數十年ニ亘ルヲ例トスルカ故ナリ、然シ又十年未滿ニテ、辨濟シ終ルモノナシトセス、故ニ最後ノ辨濟期ヨリ、十年ヲ經過スルモ猶ホ二十年ノ時効カ完成セサルコト

例外二五
年ノ時効
期間

ナキニ非ス、然ラハ普通ノ時効(七、一六)ニ對シ甚タ長キニ失ス、故ニ最後ノ辨濟期ヨリ十年ヲ經過スルトキハ、其債權ハ時効ニ因リテ消滅スルモノトス、(一六八、末段) 定期金債權者ハ債務者ニ對シテ其承認書ノ交付ヲ請求スルコトヲ得、(一六六)此請求權ニ基キ債權者ハ、時効中斷ノ證ヲ握ルコトヲ得、從テ永キ年限ヲ經タル後、債務者カ主張スル時効ニ對シ、反證ヲ舉グルコトヲ得ヘシ、承認書ハ中斷ノ證ト爲ルコトヲ得ヘキモノニ限ル、故ニ時効カ進行セサル間ニ於テ、之ヲ求ムルモ益ナシ、債權者カ交付シタル每期ノ辨濟受領證書ノ返リ證ヲ、承認書トシテ請求スルハ、何時ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得ヘシ、

(二) 五年ノ時効期間、此期間内ニ於テ、時効ニ罹ルモノハ、年(一年)又ハ之ヨリ短キ時期ヲ以テ定メタル、金錢其他ノ物ノ給付ヲ目的トスル債權ナリ、(二六九)即チ(一)ノ場合ハ、定期金債權ノ全部ニ付キテハ、

時効期間ヲ定メ、此場合ハ定期金債權ハ一部ノ時効期間ナリ、換言スレハ各辨濟期ニ於テ請求スルコトヲ得ル範圍ニ於ケル、定期金債權ノ時効期間ナリ、各期ニ於テ獨立ノ技債權カ分出シ、其債權ノ時効期間ヲ定メタルモノト説明スヘカラス、此特別ノ時効期間アルカ故ニ、定期金全部カ、最後ノ辨濟期ヨリ十年ニテ時効ニ罹ル場合ハ(一八六)一年以上ノ期間ヲ以テ、定期金債權ノ辨濟期ヲ定メタルニ場合ニ生スヘシ、

(三) 三年ノ時効期間、此時効期間ニ於テ、時効ニ罹ルモノハ左ノ債權ニ限ル(一七〇)

- (1) 醫師及ヒ藥劑師ノ治術、勤勞及ヒ調劑ニ關スル債權、
- (2) 技師、棟梁及ヒ請負人ノ工事ニ關スル債權、此場合ニ於テ其時効期間ハ、工事滿了ノ時ヨリ起算ス、
- (3) 辯護士、公證人及ヒ執達吏カ其職務ニ關シテ、受取タル(何人ヨリ受取ルヲ問ハス)

別外三三年ノ時効期間

別外四二年ノ時効期間

書類ノ返還ヲ請求スル債權(物上請求權亦契約上ノ返還ノ請求權トヲ包含ス) 其時効期間ハ、辯護士ニ付キテハ、事件ノ終了シタル時、公證人、執達吏ニ付キテハ、其職務執行ノ時ヨリ之ヲ起算ス(一七一)、此債權カ時効ニ因リテ消滅スルコトアルモ、其書類ノ所有權カ消滅スルニハアラス、故ニ其書類カ他人ノ手ニ在ルトキハ、其者ニ對シテ其返還ヲ請求スルコトヲ妨クルモノニアラス、然シナカラ時効ノ利益ヲ得タル者ハ、其結果トシテ、其書類ヲ紛失シ又ハ之ヲ毀損スルコトアルモ、其損害ヲ賠償スルニ及ハサルモノトス、書類ニ付キテ其責ヲ免ルトハ、此複雑ナル意味ヲ有スルモノト解ス、

(四) 二年ノ時効期間、此期間ニ於テ、時効ニ罹ルモノハ左ノ債權ニ限ル、

- (1) 辯護士、公證人及ヒ執達吏カ其職務ニ關シテ、有スル債權(一七二) 其期間ノ起算點ハ、其債權發生ノ原因タル、事件ノ終了シタル時

ヲ以テス、但シ其事件中ノ各事項ニ關スル債權ハ、ソノ各事項ノ終了ノ時ヨリ、五年ヲ經過スルトキハ時効ニ因リテ消滅ス(二、七、末)

(2) 生産者卸賣商人及ヒ小賣商人カ賣却シタル產物及ヒ商品ノ代價ヲ請求スル債權(一七三)

(3) 居職人及ヒ製造人ノ仕事ニ關スル債權、

(4) 生徒及ヒ習業者ノ教育衣食及ヒ止宿ノ代料ニ關スル校主、塾主、教師及ヒ師匠ノ債權(一七三)

(五) 一年ノ時効期間、此期間ニ於テ、時効ニ罹ルモノハ、左ノ債權ニ限ル(一七四)

(1) 月一箇月又ハ之ヨリ短キ時期ヲ以テ定メタル、傭人ノ給料ノ債權、各期ニ於テ請求スルコトヲ得ルニ至リタル丈ノ範圍ニ於ケル、給料ノ債權ヲ意味ス、

例外五、
一年ノ時
効期間

(2) 勞力者及ヒ藝人ノ賃金、並ニ其供給シタル物ノ代價ノ債權、

(3) 運送賃、

(4) 旅店、料理店、貸席及ヒ娛樂場ノ宿泊料、飲食料、席料、木戸錢、消費物代價、並ニ立替金ノ債權、

(5) 動産ノ損料ノ債權、

以上ノ短期時効ハ、債權者カ多クノ場合ニ於テ、早ク其權利ヲ行使スルコトヲ通例トス、故ニ比較的短キ期間權利ノ不行使カ繼續スルトキハ、之ニ因リテ權利ヲ消滅セシムル必要アルモノトス、猶ホ民法ニ於テモ特別ノ權利ニ付キテ、短期時効ナキニアラス、(二、四、七、五、九、七、一〇、九、三、八、三、二、九、三、五、六、四、四、三、等)

第五章 時

一 時ハ、事實發生ノ前後ヲ測定スル尺度ナリ、故ニソレ自身ニ於テ、

場合ヲ問ハス、特ニ期間計算ノ方法ヲ定ムルコトヲ妨ケス、其特別ノ定メナ合キ場合ニ於テ、民法ハ補充的ニ其計算法ヲ定ム(一三、一四、一五)

期間ノ計
算法
自然の計
算法

三、期間ノ計算法ニ二種アリ、自然的計算法、曆法の計算法是ナリ、自然的計算法ハ、或事實ノ發生シタル瞬時ヨリ起算シ、一定ノ時間數ヲ計算シテ、其期間數ヲ充ス方法ナリ、故ニ其計算ハ時ヲ其最小限度ニマテ細分シテ、年、月、日、週等ヲ精算スヘキモノトス、本月一日午前十時ヨリ、二十日間ト云フトキハ、二十一日午前十時ヲ滿期トシ、二週間ト云ヘハ、八日午前十時ヲ滿期トスルカ如シ、吾民法上時ヲ以テ、期間ヲ定メタル場合ニ於テ、此計算法ニ則リ、即時ヨリ起算スヘキモノトス(一三、一四、一五)例ハ本日一時二十分ヨリ、三時間ト云フトキハ、四時二十分ニ期間滿了ト爲ルカ如シ、當然ノ規定ナリ、

曆法の計
算法

曆法の計算法ハ、曆ニ定マル所ニ從ヒテ、計算スル方法ヲ謂フ、曆ハ太陽曆ニ依ル、一日ハ午前零時ヨリ午後十二時ニ至ル間ヲ謂ヒ、月ハ一日ヨ

曆ニ於ケル末日マテノ間ヲ謂ヒ、一年ハ一月一日ヨリ曆ニ於ケル末日マテノ間ヲ謂ヒ、一週ハ月曜日午前零時ヨリ土曜日ニ至ルマテノ間ヲ謂フ、月ニ大小ノ區別アリ、年ニ平閏ノ差異アルモ、全ク曆ノ示ス所ニ從フモノトス、故ニ月、又ハ年ヲ以テ期間ヲ定メタルトキハ、月ノ大小、年ノ平閏ニ依リテ、其中ニ包含セラルル日數ニ差違アルヘシ、自然的計算法ト大ニ異ナルノ點ナリ、吾民法ハ時ヲ以テ期間ヲ定ムル場合ノ外ハ、此計算法ニ依ルモノトス(三、一、一四) 曆法の計算法ニ依ル場合ニ於テ、曆日ノ中途ヨリ期間ヲ定ムルトキハ(本、三、三、日、午、後、一、時、ニ、於、テ、三、日、間、三、月、日、ノ、中、途、ヨ、リ、期、間、ヲ、定、ム、ル、ト、キ、ハ、同、三、年、間、又、ハ、一、週、間、ト、云、フ、カ、如、シ、)其期間ノ初日ハ之ヲ算入セス、翌日午前零時ヲ起算點トス(一四、〇)但シ其期間カ午前零時ヨリ始マルトキハ、其初日ヲ起算點トス、本月三日午前八時ヨリ何日、何週、何月、何年ト云フトキハ、翌四日ヨリ起算シ、三日午前零時ヨリスルトキハ、三日ヲ起算日トスルカ如シ、起算日ヨリ曆ニ從ヒテ計算シ、最後ノ週、月、又ハ年ニ於テ、其起算日ニ應當スル日ヲ求メ、其

週リテ期
スルヲ計
場合

日ノ前日ヲ以テ期間ノ末日トス、明治四十五年三月十日ヨリ三年間ト云フ時ハ十一日カ起算日ト爲リ、四十八年三月十日カ末日ト爲ルカ如シ、月又ハ年ヲ以テ期間ヲ定メタル場合ニ於テハ、最後ノ月ニ應當日ナキコトアリ、年ニ平閏ノ別アリ、月ニ大小ノ差アルカ故ナリ、例ハ閏年二月二十八日ヨリ、一年ト云フトキハ、二十九日カ起算日ト爲ル、其翌年二月ハ二十八日ナルカ故ニ應當日ナシ、一月二十九日ニ於テ、一箇月間ト云フトキハ、二月ニ應當日ナキカ如シ、此場合ニ於テハ、最後ノ月ノ末日ヲ滿期トス、^(一四)前例ニ於テ二月二十八日カ滿期日ト爲ルカ如シ、之ヲ期間ノ末日トス、而シテ期間ハ、其末日ノ初メニ於テ滿了スルニアラス、其末日ノ終了ヲ以テ滿了スルモノトス、^(一四)但シ其末日カ大祭日、日曜日、其他ノ休日ニ當ルトキハ、其日ニ取引ヲ爲ササル慣習アル場合ニ限り、其翌日カ期間ノ末日ト爲ルヘシ、^(一四)一定ノ日ヨリ期間ヲ週リテ計算スヘキ場合ニ於テハ、^(六三)曆法的計算法ニ依リテ計算セ

ハ、其一定ノ日カ期間ノ末日トナル様ニ過去ノ日ヲ算出シ、其日ト一定ノ日トノ間カ期間ト爲ルモノト思惟ス、

日本民法總論完

條文索引

(太數字ハ條數
其他ノ數字ハ頁數)

頁數

民法

民法

一	三六	二八	五七、六〇
二	三九	一九	五八、五九、六〇、六一、六一、一八一
三	四三	二〇	六二
四	四四、一六九	二一	六二
五	四五	二二	六二
六	四七、一八三、二七五	二三	六五
七	四八、五二、一五七、一六二	二四	六五
八	四九	二五	二、六六、六七、六八、一六二、二七五
九	四九	二六	六八
一〇	四八	二七	六八、七〇
一一	五〇、五四、一五七	二八	六九、七〇、二三五
一二	五一	二九	七一
一三	五三、一八八	三〇	七二、七三、七四、一五七、一六二
一四	五一、五二、五四	三一	三七、七四、七五
一五	五五、五六	三二	二、七五、七六、七七、二七五
一六	五六	三三	八一
一七	五七	三四	八五、九四
一八	五六	三五	八三
一九	五七	三六	一二九、一三〇
二〇	五六	三七	八八、八九、一一一、一一三

三八	八九、九八、一八、二〇六	五八	一七〇、一七八
三九	八六、一六八	五九	一一〇
四〇	九二	六〇	一一六、一一七
四一	九二	六一	一一六、一六一
四二	九四、九五、一〇一	六二	一一六、一六〇
四三	一〇〇	六三	一一四、一一五
四四	一〇四、一二三	六四	一一七
四五	三三、九七	六五	一一八、二〇六
四六	九七、九八、一三〇	六六	一一八
四七	九八	六七	一一八、一一九
四八	三三、九八	六八	一一九
四九	一三〇	六九	一一一
五〇	九九	七〇	一一〇
五一	九九	七一	一一八、二七五
五二	一〇五、一〇七、一〇八	七二	一一二、一二七
五三	一〇七、一〇八、一四	七三	一一九、一二二、一二三
五四	一〇八	七四	一一三
五五	一〇九	七五	一一三
五六	一〇九	七六	一一三
五七	一〇七、一一〇	七七	九八、一二四

七八	一一三、二三五	九七	一七〇、一七八
七九	三三、一三五、一六一	九八	一七六
八〇	一一五	九九	二二六
八一	一一七	一〇〇	二二〇
八二	一一八	一〇一	二二二
八三	一一八	一〇二	二二二
八四	九六、九九、一一一、一二四、一二七	一〇三	二二二
八五	一三二	一〇四	二二六
八六	一四一、一四二、一四三	一〇五	二二九
八七	一四四	一〇六	二四〇
八八	一四七、一四九	一〇七	二四〇
八九	一四七、一四九	一〇八	二三八
九〇	一三四、一五八、一九九、二〇三、二〇五	一〇九	七二、二二六、二二七
九一	二〇六	一一〇	一六〇、二四一
九二	二〇七	一一一	二四二
九三	一五八、一六五、一六六、二〇八、二〇八	一一二	二四二
九四	二〇九、二一〇、二一一、二二五	一一三	二四〇
九五	一五八、二一〇、二一一、二二五	一一四	一六二、一六九、一八七、二四四、二四五
九六	二〇八、二一四、二一七、二三一	一一五	一六一、二四五
九七	一五八、一九九、二二〇、二二二	一一六	二四六
九八	二二四、二二五、二三一、二七八	一一七	二四六

一三七	二四七
一三八	一六〇、二四九
一三九	二七五
一四〇	二四、一五六、二三三、二七六
一四一	二七八
一四二	二七九
一四三	一六八、一六九
一四四	四九、二七七、二七九
一四五	一六六、二八〇
一四六	二八一
一四七	二〇六、二六二
一四八	二六〇
一四九	二五九
一五〇	二六一
一五一	二七三
一五二	二〇五、二六四
一五三	二六四
一五四	二五七
一五五	二七〇
一五六	二七一
一三七	二七二
一三八	三一八
一三九	三一八
一四〇	三一九
一四一	三二〇
一四二	三二〇
一四三	三一九、三二〇
一四四	二八四、二八五
一四五	二八四、二八五
一四六	二八七
一四七	一六〇、二九〇、二九四
一四八	一五六、二九六
一四九	二九〇
一五〇	二九一
一五一	二九二、二九三
一五二	二九三
一五三	二九三
一五四	二九四
一五五	二九四
一五六	二九五

一五七	二九五
一五八	二九七
一五九	二九八
一六〇	二九八
一六一	二九九
一六二	一五五、二八四、三〇二
一六三	三〇四
一六四	三〇三
一六五	三〇五
一六六	三〇六、三〇七
一六七	三〇四、三〇六
一六八	三〇九
一六九	三一〇
一七〇	三一〇
一七一	三一三
一七二	三一三
一七三	三一三
一七四	三一四
一七五	三一四
一七六	一九三
一七七	一四三
一七八	一四三
一七九	一五四
一八〇	三〇一
一八四	二二六
一八六	一七六、三〇一
一八九	一四九
一九二	一五五、二七八、二八四
一九七	二
二〇〇	三〇三
二〇三	三〇三
二〇五	三〇四
二〇九	三〇三
二二二	三〇三
二二三	三〇三
二二三	三〇、一〇三
二二三	一〇三
二三九	一三四、一五五、一五九
二四一	一五九
二四二	一五九
二四五	一五九
二五六	三〇八

二六五	一九三	四一四	四
二六八	二〇六	四一五	一五九
二七〇	三三、一四九、一九三	四二〇	一七六
二八〇	一九三	四二四	二四、三一
二八三	三〇四	四三二	一〇四
三四一	三四一	四三四	二九六
三四二	一九三	四四三	一六〇
三五六	一四九	四四六	五二
三六一	三〇三	四五二	二五
三六二	二二	四五三	二五
三六四	一六〇	四六二	一六二
三六九	二二、一九三	四六六	一九四
三九七	三〇三	四六七	一六〇
四〇一	二〇二	四七四	一六二
四〇五	二四	四八四	六四
四〇六	二四、二〇二	四八九	二〇二
四〇七	一六九	四九三	一六二
四〇八	一六一	四九四	一六二
四一一	二六六	四九五	一六九
四一三	一六一	五〇六	一六八、二五五

五〇八	二八三	六〇二	五三
五二二	二〇二	六〇三	二三四
五一九	四五、一六八、一六九、一九四、二五五	六四六	七一
五二二	一六〇、一八一	六四七	七一
五二六	一七〇、一八一	六五〇	七一
五二七	一八一	六五一	二四〇
五二八	一六二	六五三	二四〇
五三三	二五	六五七	一八七
五四〇	一六八	六六六	五二
五四九	五二	六七四	一七六
五五〇	九二、一七四	六八〇	一六〇
五五一	五三、一六〇	六八九	三〇九
五五四	七五	六九五	五二
五五七	一九三、一九五	六九七	一五九
五六八	一六〇	六九九	一六〇
五六九	一六〇、一七六	七〇二	一六二
五八七	五二、一八七	七〇三	七八、一九七
五九〇	一六〇	七〇九	一〇三、一五八、二二五
五九一	二五、二九、三〇六	七一四	四三
六〇一	一四九	七〇五	一〇四

民法

七二〇	二四、三〇二	八八四	四四、四六、二三五
七二一	三七	八八八	四四、五九
七四一	一六二	八九二	五九
七四九	二六	九〇二	四九、五四
七五〇	二六	九〇三	四九、五四
七五六	四六	九〇四	五四
七五七	一六二	九〇五	五四
七六五	四六	九〇八	四一
七七五	一六二	九〇九	四一、五四
七七九	五〇	九一六	四一
七八七	二七五	九二一	四七
七九八	二六、一四九	九三三	四四、四九、二三五
八〇四	二二九	九二九	六〇
八二三	二四、二六、三一	九六五	六四
八一四	一六一、一六二	九六八	二八、三七
八二七	二四、四六、五〇	九八二	二七
八四三	二三〇	九八五	二七
八五一	五〇	九九〇	四一
八五九	二七五	九九三	二八、三七、六四
八六六	二四、二六、三一	一〇一七	二四、二三〇

八

商法

一〇一一	二九九	一〇七二	一六〇
一〇一三	五二、一七一	一〇七九	一六〇
一〇一五	五二、二一五	一〇八七	一八七
一〇二六	一六九	一〇九二	五四
一〇三〇	一六九	一一〇四	五三
一〇三一	一六	一一三四	九三、一八一
一〇三二	一六	二	
一〇三八	一六九、二一五	二	
一〇三九	五二、二九九	五	八二
一〇四〇	二九九	六	四六
一〇五一	八七	四一	四七
一〇五二	二九九	四二	八二、八三、八四
一〇六〇	一七一	一五六	一八一
一〇六一	四六	二五〇乃至二五八	一三一
一〇六二	五〇、五七	二五八	二九
一〇六四	五三	二七〇	一八一
一〇六五	三七	二七一	一八一
一〇六八	一七一	二七八	六四
一〇六九	一六〇、一七三	二八六	一八一
一〇七〇	一七三	二八八	一八一

商法

九

民事訴訟法 人事訴訟手續法

四四五

民事訴訟法

一七三

一〇.....六四

一一.....一三六

一二.....一四三

一三.....一四三

一九八.....二九〇

三七八.....二九〇

三八二.....二九一

三八七乃至三九一.....二九二

六六〇.....一四四

七三七.....二九四

七五五.....二九四

七五八.....二九四

七六〇.....二九四

七六五乃至七七五.....七四

人事訴訟手續法

.....六四

一〇

二七.....六四

四〇.....六四

四〇乃至六九.....四八、五〇

六七.....五二

七〇.....六四、七四

七〇乃至八〇.....七六

非訟事件手續法

.....六四

三四.....六四、九二

三五.....一一〇

三八.....六四

四〇.....六七

四一.....七〇

四三.....七一、一〇九

四四.....七〇

四六.....七〇

五五乃至五七.....六七

五八.....六九

九〇.....六四

二二五.....	九六
二四二.....	九六
一六六.....	四六
一六八.....	四七
二〇七.....	一三一
二〇八.....	一三一

非訟事件手續法

一一

用語索引

(数字示ハス)

v

遺言	四六、五〇、五七、九二
一般法	三
異議	二四
意思能力	四二
隱居	四六
意思能力ナキ未成年者ノ行爲	四六
意圖人	四四
意見ヲ陳述スル權利	八〇
違法ノ決議	一一二
一箇體	一一七
一筆ト爲シタル土地	一三二
未タ分離セサル頭髮ノ賣却	一三三
移轉的承繼取得	一三四
一般承繼	一五三
一般承繼人	一五四
一般承繼ノ結果	一五五
違法行爲	一五八
意思表示	一六三

1

意思ノ表示行爲	一六三
意思表示ト自信	一六五
意思表示ノ成立ト内部ノ意思	一六六
意ニ表示スル方法	一七二
意ニ表示ノ解釋	一七四
意ニ表示ノ效力發生期	一七六
意思表示ノ完成後ニ於ケル取消	一八一
意思表示ノ受領能力	一八二
一時受領能力ヲ有セサル場合	一八三
意思的法律行爲	一八四
意思表示ト法律行爲トノ關係	一八六
意思表示ノ合致	一八九
一方的法律行爲	一九〇
意思表示ト真意ノ一致	二〇八
意思主義	二〇八
遺言執行者ト代理	二一九
委任狀	二四三
意思表示ノ瑕疵	二七六
一般中斷事由	二八九
一般中斷事由ニ因ル中斷ノ效力	二九六

ろはにほ

隠秘ノ占有.....三〇二
一回ノ行使ニ因リテ消滅スヘキ權利.....三〇四
一年ノ時効期間.....三一四

ろ

毀者.....五一
浪費者.....五一
論理上ノ意義ニ於ケル不能.....一九九

は

排他的權利.....二一
配遇者.....四八、五二
破産.....一二〇
破産主義.....一七九
追害行為.....二二二
惣方代理.....二二六
破産ノ宣告ト期限.....二七二
破産手續参加.....二九三
日本人.....三九

二

日本人カ外國人トナル效果.....四一
任意住所.....六三
人間.....八〇
日本社団法人ノ成立要件.....八七
日本法人.....一二八
人間ノ身體.....一三三
任意法規.....一七五、二〇六
任意代理.....二三五
任意の制限.....二五〇
任意出頭.....二九二
二年ノ時効期間.....三一三

は

法律行為.....四四
法定代理人.....四四、五七
包括的同意.....四五、五四
保佐人.....四八、五三
保證.....五二
法定ノ住所.....六三
本籍地.....六三

法律ノ支配.....七

法律ノ適用.....八

法律.....八、一一、一五〇

法律上ノ状態.....一四

法定代理人.....六六

法律上ノ擬制.....七四

法律上ノ確定推測.....七四、七五

法律上ノ推測.....七四

法人ノ本質.....七九

法人.....七九、九〇

法律上ノ效力.....八〇、一五〇

法人ハ法律ノ擬制ニアラス.....八〇

法人擬制説.....八〇

法人實在説.....八一、一〇二

法人組織體説.....八一

法人組織體.....八一

法人ノ目的.....八九、九三

法人設立行為.....九一

法人ノ目的ノ變更.....八九、九三

法人登記.....九六

法人ノ住所.....九九

法人ノ財産目錄.....九九

法人ノ權利能力.....一〇〇

法人ノ意志.....一〇二

法人ノ行為.....一〇二

法人ノ機關.....一〇五

法人ノ一部.....一〇七

法人ト理事トノ利益相反スル事項.....一〇七

法人ノ事務.....一〇七

法律ト理事トノ法律關係.....一〇九

法人ノ消滅.....一一九

法人ノ解散.....一一九

法律上ノ處分.....一四九

法定果實.....一四九

法律上ノ效力發現ノ形式.....一五一

包括承繼.....一五四

包括遺贈.....一五四

保證人ト承繼人.....一五六

法律事實.....一五六

法律事實ノ處分.....一五七

〜と

方式	一七三
法律行為	一八四
法律行為ノ意義	一八四
法律行為上ノ效力	一八五
法律行為ト訴訟行為	一八七
法律行為ノ一般有效要件	一九七
法律行為ノ有效要件	一九八
法律行為ノ内容	一九八
法律行為ノ目的	一九九
法律行為ノ動機	一九九
法律上ノ意義ニ於ケル不能	二〇〇
法律の不能	二〇〇
法律問題	二〇五
補充法規	二〇六
法規存在ノ理由	二〇六
法律ノ錯誤	二一三
法律行為ノ要素	二一五
法律行為ノ性質、目的、物ノ種類、品質ノ錯誤	二一六
本人	二二六
本人ト現存人	二二六

本人説	二二八
本人代理人共同説	二二八
法定代理	二三五
法定代理人	二三五
保存行為	二三六
法の條件	二五二
法律行為ノ有效	二七三
法律行為ノ無効	二七三
法律行為ノ無効ト不成立	二七三
法定ノ追認	二八〇
法律行為ノ效力未定	二八一

歸還ノ業	四六
兵營	六二
變更登記	九六、九八
平穩ノ占有	三〇一
辨済受領證書ノ返リ證	三一

と

同意	四四
同意ノ效力	四四
取消シ得ヘキコト	五三、四四、四八
特定ノ人ニ對スル請求權	二〇
獨專權	二一
取捨權	二三、二四
特別法	三
特別期間	七三
特別法人	八一、八七
登記事項	九七
當事者能力	一〇一
特別代理人	一一〇
特別財産	一三八
取引能力	一三八
土地	一四一
動産	一四二
動産、不動産ノ區別ノ實益	一四三
特別承繼	一五四
特別承繼人	一五四
動作ノ意圖	一五八

獨立ノ意思表示	一六八
特定ノ人ニ對スル意思表示	一六九、一七七
特定ノ人ニ對セサル意思表示	一七〇、一八一
當事者ノ特約ニ因ル要式的意思表示	一七四
到達	一七八
到達主義	一八〇
動機	一九九
道徳心	二〇三
道徳	二〇三
道徳ト法律	二〇三
動機カ公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スル場合	二〇三
動機ノ錯誤	二〇五
當事者ノ人ノ錯誤	二一四
當初ノ無効	二一七
取消シ得ヘキコト	二七四
取消權ノ原因	二七五
取消權者	二七六
取消權ト代理人	二七六
取消權ノ承繼	二七七

八

解散法人債務清算ノ方法……………一二四

外國法人……………一二八

外國法人ノ權利能力……………一二九

過料……………一三一

果實……………一四六

果實收取權利者……………一四八

觀念表示……………一五九

過去ノ事實ノ通知……………一六〇

感情表示……………一六一

解釋規定……………一七五

隔地者ニ對スル意思表示……………一七八

可能……………一九九

確定シ得ヘキコト……………二〇一

慣習ト任意法規……………二〇七

慣習法……………二〇七

慣習……………二〇七

間接代理……………二二九

改良行爲……………二三六

解除條件……………二五三

假裝條件……………二六三

八

過去條件……………二六三

確定期限……………二六八

暇疵アル意思表示……………二七六

確認ノ訴……………二九〇

假處分……………二九三

假差押……………二九四

係争物……………二九四

各種ノ時效……………三〇〇

解除權……………三〇五

幹債權……………三〇九

よ

欲望表示……………一六一

要式的意思表示……………一七三

要物行爲ト意思表示……………一八六

要物行爲……………一八六

要式行爲……………一九一

要因行爲……………一九四

養子縁組ト代理……………二三〇

豫定期間……………三一七

七

單ニ權利ヲ得ル行爲……………四五

單ニ義務ヲ免ルヘキ行爲……………四五

臺灣……………九

胎兒……………二七

胎兒ノ法律關係……………二七、二八

代理權……………六九

擔保供與ノ義務……………七〇

代表者……………九四

他人……………九七

代表行爲……………一〇三

代理ノ觀念……………一〇六

單獨代表……………一〇八

代理表決……………一一七

他人ハ成立ヲ否認スルコトヲ得……………一三〇

大洋……………一三二

堆積物……………一三三、一三七

單一物……………一三七

立木……………一四二

九

對話者……………一七七

對話者ニ對スル意思表示……………一七七

單獨行爲……………一九〇

脫法行爲……………二〇七

第三者ニ對抗スルコトヲ得ス……………二一一

擔保ノ目的ニテ所有權、債權ノ讓渡……………二一三

代理ノ意義……………二二六

代理ト意思表示……………二二六

代理ノ本質……………二二六

代理人……………四九、二二六

代理意思……………二二七

爲メニスル……………二二七

代理意思ト効力意思トノ關係……………二二七

代理意思の表示……………二二八

代理ニ於ケル表意者及ヒ受者……………二二八

代理人說……………二二八

代理セラルヘキ行爲……………二三〇

代理ノ效果……………二三一

代理人ト能力……………二三一

代理權……………二三三

代理權ノ發生……………二二三
代理權授與……………二二三
代理權限……………一〇七、二三五
代理權限ノ制限……………二三六
代理權ノ消滅……………二四〇
代理權ノ消滅ト第三者……………二四一
代理權ナクシテ代理ノ效果ヲ生スル場合……………二四一
代理權アルト同一視セラルヘキ場合……………二四一
代理權ヲ與ヘタル旨ノ表示……………二四一
代理人ノ權限踰越……………二四二
代理人ニ對スル追認拒絕……………二四五
代理權ナクシテ爲ス事ニ同意……………二四九
代理權アリト稱スル……………二四九
單獨行爲ト條件……………二五四
擔保ノ要損減少ト期限……………二七二
短期時效……………三〇二
第一回ノ辨濟期……………三一〇
連給規定……………一一、一二

れ

例外……………三
連帶債務……………一〇四
連帶……………一〇四
曆法の計算法……………三一八
曆……………三一八
訴訟能力……………四六
贈與……………五二
相續ノ拋棄……………五二
相續ノ承認……………五二
相殺權……………二四
相當ノ擔保……………一八
相續ノ開始……………七〇
相續財產ノ處分……………七五
總會ニ出席スル權利……………七七
總會ノ開催……………一一一
總會ノ開催……………一一六
總會ノ一般權限……………一一四
相續財產……………一三五、一三八

訴訟物……………一三六
領或物……………一三六
相續權……………一三八
相續ノ單純承認……………一七一
訴訟行爲……………五二、一八七
相對無效……………二二一、二七四
相殺ト條件……………二五五
相續人ノ確定……………二九七
訴權……………三〇六
相續回復ノ請求權……………三〇八
追認ノ催告權……………五八
過當總會……………一六
築山……………一四一
過謀……………二一〇
妻ト代理……………二二九
追認……………四五、二四四、二七八
追認ノ週及力……………二四四
追認カ其效力ヲ生スル要件……………二四四

つ

つむ

追認ノ相手方……………二四四
追認拒絕ノ權利……………二四五
追認拒絕……………二四五
隨意條件……………二五六
追認ノ效力ノ週及……………二七九
無形財產權……………二三
無能力……………四三
無形人……………八〇
無主物……………一三四、一三六
無記名債權……………一四三
無記名ノ手形……………一四三
無効ノ意思表示……………一六七
無効ノ法律行爲モ亦法律行爲ナリ……………一八五
無權代理ト追認……………二四三
無權代理……………二四三
無權代理人ノ契約……………二四三
無權代理人ニ對スル追認……………二四五
無權代理人ノ相手方……………二四五

む

無權代理人カ單獨行爲ヲ爲シタルトキ……………二四九
 無權代理人ニ對シテ爲サレタル意思表示……………二五〇
 無條件ノ購買……………二五一
 無効ノ行爲ノ追認……………二七三
 無能力者ト取消ノ效果……………二七五
 無期限ノ消費貸借上ノ債權……………三〇六

受方代理……………二二六
 訴ノ取下……………二九〇
 訴ノ却下……………二九〇

國……………一二九
 國ノ行政區劃……………一二九
 偶成條件……………二五五

満期日……………三二〇
 満期……………三二〇

満期ノ末日……………三二〇
 末日ノ初……………三二〇
 末日ノ終了……………三二〇

け

檢事……………四八、五二、六八
 元本……………五二
 憲法……………二
 刑法……………二
 原則……………三
 權利ノ本體……………一四
 權利質……………二二、二三
 權利ノ行使……………二九、三〇
 權利ノ實現……………三一
 權利ノ主張……………三一、三二
 權利ト義務トノ關係……………三三
 權利能力……………三四
 權利能力ノ範圍……………三八
 權利能力ノ發生期……………三五、三六
 權利ノ濫用……………三〇

下宿屋……………六一
 現ニ利益ヲ受クル限度……………七七
 權利能力……………七五、七九
 權利能力ヲ有スルモノ……………八〇
 原告……………一〇一
 決議能力……………一〇一
 權利ノ集合……………一三六
 元物ノ一部……………一三七
 權利ノ發生……………一四八
 權利ノ消滅……………一五一
 權利ノ變更……………一五一
 權利ノ取得……………一五二
 權利ノ喪失……………一五二
 權利ノ設定……………一五三
 權利ノ承繼……………一五三
 權利ノ承繼……………一五四
 原始的取得……………一五五
 現在ノ事實ノ通知……………一六〇
 契約ノ申込……………一八六
 契約……………一八八
 原因ノ種類……………一九五

よ

原因……………一九五
 權利能力ノ拋棄……………二〇七
 原因ニ關スル錯誤……………二一四
 契約ノ取消權……………二四六
 契約ノ履行又ハ損害賠償ノ請求……………二四七
 現在及ヒ過去ノ事實……………二五二
 現在條件……………二六三
 權利ノ條件の取得消滅……………二八四
 權利ノ絶對的取得消滅……………二八四
 權利拘束……………二九一
 權利ト取得時効……………三〇四
 權利ノ不行使……………三〇五

物……………一三二
 物ノ能力……………一三八
 物ノ權利能力……………一三八
 物ノ取引能力……………一三八
 物ノ用方……………一三八
 扶養請求權……………二七、三〇八

普通法.....三
 不特定人ニ對スル請求權.....一九
 不作爲ノ請求權.....二〇
 物上請求權.....二〇
 不動產.....五二
 不在.....六六
 不在者.....六六
 普通期間.....七二
 不當利得.....七八
 不法行爲.....一〇三
 複數代表.....一〇八
 複代理人.....一〇九、二三七
 不融通物.....一三九
 墳墓.....一四一
 不動產.....一四一
 不法行爲ト意思表示.....一六四
 不要式的意思表示.....一七三
 不獨立ノ意思表示.....一六八、一七六
 不要式行爲.....一九一
 物權的行爲.....一九二

不要因行爲.....一九六
 不能.....一九九
 不慮ノ不合.....二〇八
 複代理人ノ選任權.....二三七
 複代理人ト本人トノ關係.....二三八
 不法條件.....二六四
 不能條件.....二六四
 不確定期限.....二六九
 不繼續又ハ不表現ノ地役.....三〇四
 不變期間.....三一七

乙

戶主.....四八、五二
 後見人.....四九、四八、四四、五二
 國籍法.....二
 工場財團.....二二
 礦業財團.....二二
 公解釋.....二二
 抗辯權.....二四
 公法の規定.....二四

乙

一四

個人權.....二三
 公權.....一八
 交代住所.....六三
 公法.....一
 婚姻ノ解消.....七五
 婚姻.....四六、五〇、七七
 公法人.....八一
 國家.....八一
 公共組合.....八一
 公益法人.....八二
 合名會社.....八三
 合資會社.....八三
 公益社團法人.....八四
 公益ニ關スル法人.....八五
 口頭ノ協定.....八八
 行爲能力.....一〇一、一〇二
 公物.....一三九
 公物ノ管理.....一三八
 行爲.....一三八
 效力ト意思.....一六三

元

一五

行爲意識.....一六三
 效力要件.....一八六
 故意ノ不合.....二〇八
 效力發生ノ否認.....二七五
 效力未定.....二八一
 公然ノ占有.....三〇二
 五年ノ時效期間.....三一

乙

營業.....四六
 營業ノ許可.....四六
 營業許可ノ效力.....四六
 營業許可ノ取消、制限.....四七
 營利法人.....八二
 營利社團法人.....八三
 營利事業.....八二
 營利社團.....八三
 永小作權設定契約.....一九三
 緣由.....一九九

手續法……………四

鐵道財團……………二二

定款……………八八

定款ノ草案……………八八

定款ニ記載スヘキ事項……………八八

定款ノ變更……………八九

停止條件附債權……………一二六

電氣……………一三二

定著物……………一四一

天然果實……………一四六

通法行爲……………一五八

停止條件……………二五三

停止條件附意思表示……………二五四

停止ノ原因……………二九七

天災其他避クヘカラサル事變……………二九九

天災……………二九九

抵當權……………三〇五

定期金債權……………三〇九

定期金債權ノ本質……………三〇九

一六

あ

啞者……………五一

暗黙ノ意思表示……………一六一

相手方ノ所在不明……………一八〇

さ

妻無能ノ範圍……………五五

妻ニ對スル營業ノ許可……………五六

債務歸論ノ場所……………六四

裁判籍……………六四

作爲ノ請求權……………二〇

財產權ノ意義……………二五

債權……………三

妻……………五五、六六

財產管理人……………六六、六七

財產ノ封印……………六七

財產目錄ノ調制……………六九

財團法人……………八一、八六

財團法人ノ成立要件……………九〇

財團法人設立行爲……………九一

財產提供行爲……………九一

財產歸屬ノ狀態……………九五

財產目錄ノ作製……………九九

最高機關……………一〇四

債務超過……………一二〇

殘餘財產ノ歸屬權利者……………一二六

殘餘財產……………一二六

裁判所ノ監督……………一二八

財物……………一三六

財產……………一三八

財產目錄……………一三八

祭具……………一四一

債權證券……………一四三

產出物……………一四七

積極的行爲……………一五八

債務的行爲……………一九二

債權取立ノ爲メニ其債權ノ讓渡……………二一二

錯誤……………二二三

錯誤ノ效果……………二二七、二二〇

詐欺……………二一八、三二〇

詐欺ノ意思……………二二〇

詐欺ニ因ル意思表示……………二二〇

詐欺ト不法行爲……………二二一

催告權……………二四五

債權者ノ純隨意條件……………二五七

債務者ノ純隨意條件……………二五七

債務履行ノ時期……………二六六

債務履行ノ時期ト期限……………二六六

創設ノ訴……………二九〇

裁判上ノ請求……………二九〇

催告……………二九三

差押……………二九三

財產權ト時効……………三〇四

債權ノ時効……………三〇六

債權ノ消滅時効……………三〇八

三年ノ時効期間……………三一二

禁治産者……………四七
 禁治産宣告ノ請求權……………四八
 禁治産者ノ無能力ノ範圍……………四八
 禁治産者ニ對スル同意……………四八
 禁治産者ト後見人……………四九
 禁治産ノ取消……………五〇
 許可……………一六、五六
 許可ノ取消……………五七
 寄留地……………六四
 居所……………六四
 行政法……………六四
 舊民法……………五
 義務……………三二
 居所……………六二
 寄宿舍……………六二
 居所……………六六
 禁治産者……………六六
 擬制……………八〇
 寄附行為……………八六、九一
 寄附行為中ニ定ムヘキ事項……………九一

寄附行為者數人アルトキ……………九二
 寄附行為ノ變更……………九三
 寄附財産ノ法人ニ歸屬スル時期……………九四
 歸屬權利者ノ權利ノ性質……………一二七
 供與ノ原因……………一九五
 供與行為ノ原因……………一九五
 客觀的不能……………二〇〇
 金錢的利益……………二〇四
 強行法規ニ反セサルコト……………二〇六
 強行法規……………二〇六
 虛偽ノ意思表示……………二一〇
 欺罔行為……………二一九
 強迫……………二二二
 強迫意思……………二二二、二二四
 強迫ト不當……………二二三
 強迫ニ因ル意思表示……………二二四
 強迫ノ效果……………二二五
 強迫ニ因ル意思表示ト心裡留保……………二二五
 強迫ト不法行為……………二二五
 共同代理……………二二七

期待權……………二五八、二六九
 期限附法律行為……………二六五
 期限ノ意義……………二六五
 期限……………二六五
 期限附賣買……………二六六
 期限ト意思表示……………二六六
 期限事實……………二六六
 期限ノ種類……………二六七
 期限ノ附セラルル法律行為……………二六八
 期限事實ノ定方……………二六八
 期日……………二六八
 期間……………二六八
 期限ノ未到來……………二六九
 期待權……………二六九
 期限ノ到來……………二七〇
 期限ノ利益ノ推定……………二七〇
 期限ノ利益ノ拋棄……………二七一
 給付ノ訴……………二九〇
 強暴ノ占有……………三〇一
 期日……………三一五

期間……………三一六
 期間ノ計算法……………三一八
 期間ノ初日……………三一八
 起算日……………三一九
 期間ヲ過リテ計算スヘキ場合……………三二〇
 協定行為……………一八九
 協定……………八七
 協定規則……………八八
 有體性……………一三二
 有效……………二七三
 名譽……………二二
 免除……………四五
 命令……………一六
 名譽權……………一〇〇
 明示……………一六八
 免除ト條件……………二五五

み

- 未成年者ノ無能力ノ範圍……………四四
- 未成年者ノ禁治産者……………四九
- 未成年者ノ夫ノ許可……………五七
- 民法上ノ權利……………一四
- 民法……………二
- 民法ノ沿革……………一
- 民法ノ編別……………五
- 民法ノ解釋……………七
- 民法法典……………一
- 未成年者……………一
- 未成年ノ債權……………四三、六六
- 看做ス……………七一
- 民事上ノ公制裁……………七四
- 民法上ノ物……………一三一
- 民法上ノ詐欺ト刑法上ノ詐欺トノ併存……………一三二
- 未來ノ權利義務……………二二一
- 未來ノ債權ノ讓渡……………二五九

未來ノ權利……………三〇六

シ

- 親權者……………四四
- 私生子ノ認知……………四六、五〇、二四
- 商業……………四六
- 心神喪失ノ常況……………四七
- 親族……………四八、五二
- 禁治産者……………五二
- 心神耗弱者……………五一
- 禁治産者ノ無能力ノ範圍……………五一
- 借財……………五一
- 重要ナル動産……………五二
- 禁治産ノ取消……………五四
- 住所……………六二
- 住所ノ廢止……………六三
- 住所ノ設定……………六三
- 出生……………三六
- 實體法……………四
- 涉外的法律關係……………九、一〇

私解釋……………一二

- 準用……………一三
- 事實上ノ狀態……………一四
- 死亡……………三七、三八
- 親族法上ノ請求權……………二一
- 支配權……………二一
- 身體……………二二
- 自由……………二二
- 氏名稱……………二二
- 純正當權……………二三
- 人格權……………二三
- 親族權……………二六
- 收益權……………二六
- 主體アル權利……………二七
- 主體ナキ權利……………二七
- 出生、死亡ノ推測……………三八
- 所有權……………三八
- 私權……………一八
- 住所ノ知レサル場合……………六五
- 住所ノ有無不明……………六五

住所……………六六

- 處分請求權者……………六七
- 失踪……………三七、七二
- 失踪者……………七二
- 失踪制度……………七二
- 失踪期間……………七二
- 失踪宣告ノ效力……………七二
- 死因贈與……………七四
- 失踪ノ取消……………七五
- 失踪者ノ生存……………七五
- 失踪者ノ宣告ヲ取消シタル效果……………七六
- 時效……………七六
- 自然人……………七八
- 私法人……………七九
- 市町村……………八一
- 社團法人……………八一
- 商事社團……………八二
- 商行爲……………八三
- 主務官廳ノ許可……………八三
- 主務官廳……………九〇、九四

主たる事務所……………九九
社員名簿……………九九
信用権……………一〇〇
社員總會……………一一一、一一四
社員……………一一一
社員ノ地位……………一一一
社員ノ地位ノ取得要件……………一一一
社員ノ權利義務ノ移轉……………一一三
社員ノ地位ノ喪失要件……………一一三
招集……………一一六
招集權……………一一六
書面表決……………一一七
主務官廳ノ監督……………一一八
社員ノ缺亡……………一二二
除斥公告……………一二四
始期附債權……………一二六
商事會社……………一二九
身體ノ構成部分……………一三三
身體ヨリ分離シタル部分……………一三四
身體ノ人工的ノ部分……………一三四

死體……………一三四、一四〇
死體ノ所有權……………一三五
聚合物……………一三七
死體ニ對スル處分……………一四〇
品物切手……………一四三
從物……………一四四
主物……………一四四
處分……………一四五
主物ノ處分ニ從フ……………一四六
收益……………一四九
自然の規則……………一五〇
承繼の取得……………一五三
承繼人……………一五四
狀況……………一五七
事件……………一五七
身體ノ動靜……………一五八
消極的行爲……………一五八
心裡表示……………一五八
純觀念ノ表示……………一五九
事實ノ主張……………一六〇

し

二二

事實ノ通知……………一六〇
將來ノ事實ノ通知……………一六〇
事實上ノ欲望表示……………一六一
私法上ノ效力ノ欲望表示……………一六二
所有權ノ拋棄ト意思表示……………一六四
自筆證書ニ依ル遺言……………一七一
使者……………一七九、二二八
受信主義……………一八〇
受領無能力者ニ對スル意思表示……………一八二
所有權ノ拋棄……………一八四
質權設定契約……………一八六
承諾……………一八六
準法律行爲……………一八七
死後行爲……………一九一
死因贈與……………一九一
準物權的行爲……………一九四
主觀の不能……………二〇〇
事實の不能……………二〇〇
事實問題……………二〇五
上告……………二〇五

真意ト意思表示ノ不合……………二〇八
心裡留保……………二〇九
信託行爲……………二一二
事實ノ錯誤……………二一三
重大ナル過失……………二一七
使者……………二二八
條件附法律行爲……………二五〇
條件ノ意義……………二五〇
條件……………二五〇
條件附賣買……………二五一
條件事實……………二五二
條件附加ノ目的……………二五二
條件事實不確定ノ意義……………二五三
條件ト二方面ノ制限……………二五三
條件ヲ附セラルヘキ法律行爲……………二五四
條件事實ノ種類……………二五五
純隨意條件……………二五六
純隨意條件附法律行爲ノ效力……………二五七
條件ノ成否未定中ノ效力……………二五八
條件附權利義務……………二五九

し

二二

二四

條件ノ成否ノ決定……………二六一

條件ノ成就……………二六一

條件ノ不成就……………二六一

條件ヲ成就シタルモノト看做スコトヲ得……………二六一

條件成就ノ效力……………二六二

條件成就ト遲及効……………二六二

條件不成就ノ效力……………二六三

始期……………二六三

始期ト債務的法律行為……………二六七

終期……………二六七

終期附讓後……………二六七

始期附行為……………二六九

終期附行為……………二六九

事後ノ無効……………二七四

時効ノ制度……………二八二

時効制度ノ目的……………二八二

時効制度ノ基礎……………二八二

時効ノ本質……………二八三

取得時効……………二八四

消滅時効……………二八四

時効期間……………二八四

時効ノ適用……………二八六

時効ノ當事者……………二八七

時効ノ利益ノ拋棄……………二八七

時効ノ利益……………二八七

時効完成後ニ於ケル時効ノ拋棄……………二八八

時効ノ效力ノ遲及……………二八八

時効ノ起算日……………二八八

時効ノ進行……………二八八

時効ノ中斷……………二八九

支拂命令ノ申請……………二九一

支拂命令……………二九一

承認……………二九四

自然中斷……………二九五

新時効……………二九五

自然中斷ノ效力……………二九六

時効ノ停止……………二九六

事變……………二九九

時効期間ノ伸長、短縮……………三〇〇

所有權ノ取得時効……………三〇一

三〇一

所有ノ意思……………三〇一

所有ノ信念……………三〇一

所持……………三〇三

所有權以外ノ財產權ノ取得時効……………三〇三

準占有……………三〇四

質物ノ占有……………三〇五

消滅時効……………三〇五

所有權ノ行使……………三〇七

人格權……………三〇七

親族權……………三〇七

債權……………三〇九

承認書……………三一〇

債權ノ分出……………三一〇

書類ニ付キテ其實ヲ免ル……………三一三

除斥期間……………三一七

自然の計算法……………三一八

ウ

人……………三五、三六

飛行機……………三〇

二五

病院……………六二

必要ナル處分……………六七

非營利的ノ目的……………八四

被告……………一〇一

表決ヲ爲スノ權利……………一〇一

表決權……………一〇一

表決……………一〇四

表決權ノ平等……………一〇八

非表示行為……………一〇九

表示行為……………一〇九

表示意思……………一〇九

表示的法律行為……………一〇九

表示主義……………一〇八

表示方法ノ意義解釋……………一〇八

表示方法ノ不慮ノ誤用……………一〇八

表示方法ノ誤用……………一〇八

盲者……………一〇八

文字解釋……………一〇八

黙示……………一六八
 目的……………一九五
 黙示ノ追認……………二八〇

セ

成年者……………四三
 請求權……………一八
 請求權ノ相對權ノ關係……………二〇
 絕對權……………二一
 占有權……………二一
 生命……………二二
 正當防衛權……………二二、二四
 選擇權……………二四
 生活ノ本據……………六二
 生死不明……………六六、七二
 戰時失踪……………七三
 生命保險金ノ請求……………七五
 設立者ノ協定……………八七
 設立者……………八八、九〇
 赤十字社……………九〇

二六

生前行爲……………九二
 設立登記……………九五
 設立登記ノ效力……………九七
 設立許可ノ取消……………一二〇
 清算人……………一二三
 先占者……………一三六
 泉水……………一四一
 設定の承継取得……………一五三
 先占ノ意思表示……………一六四
 占有ノ取得行爲……………一六四
 絕對の表示行爲……………一七二
 先占……………一八四
 成立要件……………一八六
 生前行爲……………一九〇
 善良ノ風俗ニ反スル……………一九一
 善良ノ風俗ニ反スル場合……………二〇三
 絕對無効……………二〇四
 潛伏行爲……………二一〇
 占有ノ代理……………二二二
 占有……………二二六

占有ノ意思表示……………二二六
 責任任ス……………二四二
 選擇權……………二四七
 絕對無効……………二七四
 請求……………二九〇
 占有……………三〇一
 正當防衛……………三〇二
 占有回收ノ訴……………三〇三
 選擇權……………三〇五
 先取特權……………三〇五
 責務……………二五八

シ

數個ノ住所……………六三
 推定……………一七六

明治四十五年三月二十日初版發行
大正元年九月二十日訂正再版

民法總論與付
正價金貳圓

著者 川名兼四郎

發行者 金刺源次

印刷者 中島丑之助

印刷所 東京國文社



發行所

東京市神田區今川小路一丁目
五番地 (電話本局七六六番)
東京市牛込區香町卅二番地
(接替貯金口座二八九九番)

金刺芳流堂
武田芳進堂

東京市京橋區宗十郎町十五番地
(接替貯金口座八四二四番)

336
92

終

